

佐野工
百年史





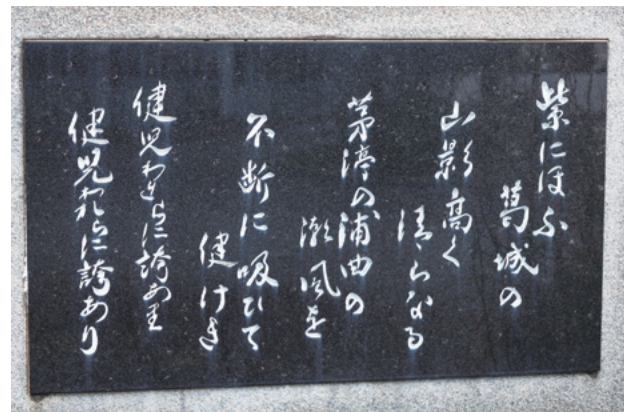
校内点描





校内点描





校旗



職工学校時の校旗



工業高校時の校旗



工科高校の校旗

歌碑



校訓

誠実・剛毅

まじめに、勇気をもって行動する。

自主・創造

自主的に学び、工夫創造する。

敬愛・協力

互いに敬愛し、協力する。

校歌

校歌

紫にはふ葛城の
山影高く清うなる
茅渚の浦曲の潮風を
不断に吸ひて健けき、
健児われうに誇あり
健児われうに誇あり
ベルトの音の絶え間なく
車輪の調たゆみなく
いそむ隙も人として
踏む可き道を忘れざる
健児われうに節あり
健児われうに節あり

作詞 横越兼重
作曲 永井幸次

目次

校内点描	4
校旗・歌碑・校訓・校歌	8
挨拶・祝辞	10

100年の歩み	15
回想	66

現在の佐野工

特色	72
産業創造系	74
電気系	77
機械系	80
学校行事	82
学校生活	84
クラブ活動	86
不登校支援	92
ラーケーション	93
定時制の今	94
PTA 活動	96
佐工会	98

資料

進路状況	102
教育課程の変遷	104
校務分掌図	108
校舎配置図	109
生徒数の推移	111
歴任教職員一覧	112
現職員全日制	124
現職員定時制	125
創立100周年記念事業	126
創立100周年記念事業実行委員会・編集後記	128

創立100周年を迎えて

校長

橋本 敏和



本校は大正14（1925）年に、西野田・今宮に次ぐ第3番目の職工学校「大阪府立佐野職工学校」として開校。その後、昭和16（1941）年に校名を「大阪府立佐野工業学校」、昭和23（1948）年に「佐野工業高等学校」と改め、平成17（2005）年に「大阪府立佐野工科高等学校」と改称してから20年目の現在、「産業創造系」・「機械系」・「電気系」の3系で組織されています。

「『地域の宝』となれ!」「社会人基礎力の向上・優れた工業技術や創造性を有する人材の育成」というスローガンを掲げ、地域社会のリーダーとなる人格を兼ね備えた「ものづくりのスペシャリスト」を輩出しています。「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」といった社会人としての大切な資質です。「就職に強い学校」として、専門知識・スキルの修得に向けて、手厚い指導を綿々と継承してきた歴史があります。代々、泉佐野市を中心とした地域自治体や地元企業と協力をして、様々な取り組みを行ってまいりましたが、今回の100周年記念行事では、「株式会社北海鉄工所」様・「カナメ造園土木」様の協力・技術指導のもと、校舎入り口に鐵庭（TETU-NIWA）と題した100周年記念モニュメントの作成に取り組んでいます。

昨今の教育状況は少子高齢化や私学無償化の影響を受け、府立高校においては多数の高校が定員割れとなり、統合し閉校になる高校が年々増えている現状があります。工科高校でも機能統合の名のもと2年後に西野田工科が今宮工科に統合される予定です。また城東工科・布施工科が合併し、今年から新たに「東大阪みらい工科高校」が誕生しています。本校が次の100年を迎えるにあたり、今後新たな工業教育の在り方を考えていかねばならないと実感しております。私自身、機械科教員時代より、工業教育の原点は「ものづくりは人づくり」にあると考えています。良いものを作るためには、それを支える「人」を育てることが重要であるという考え方ですが、単に技術や技能を修得させるだけでなく、授業や実習それ自体が「人づくり」そのものであります。授業や実習のなかでこそ「思考力」「問題解決能力」「責任感」などの「人間性」を涵養し育成することができると思うのです。その原点をぶれずに受け継いでいくことが本校の発展・繁栄に自ずとつながると信じております。

本校がこうして本年100周年を迎えられましたのも、卒業生並びに佐工会、PTA、地域自治体や地元企業、教職員をはじめ関係者の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。次の100年に向け、今後ともご支援・ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

挨拶

創立100周年を迎えて

准校長 前校長

松野 良彦



本校定時制の課程は、昭和24年に「大阪府立佐野工業高等学校・定時制の課程」として紡績科、商業科が設立されました。その後、平成17年に社会の多様なニーズに応えるべく「大阪府立佐野工科高等学校・定時制の課程・総合学科」に改編し現在に至っております。

本校定時制の課程は、大阪府の夜間定時制再編整備により定時制高校が半減する中、泉州地域で唯一の定時制高校として、地域から信頼される学校づくりに取り組んでまいりました。卒業された多くの先輩方は、府内はもちろんのこと全国においてもご活躍されており、私どもの誇りでございます。

本校は、互いの人権を認め合い、他者を尊重する心を育むことを大切にし、生徒一人ひとりの夢を実現するために、次の3つのことに重きを置いて教育に取り組んでおります。

1つめは、学ぶことの喜びを通して確かな学力を育成すること、2つめは、基本的な生活習慣を育成するとともに地域連携を活用したキャリア教育を推進すること、3つめは、ものづくり教育を通して創造する力を高め、日常の問題を解決し、地域社会に貢献する創造的人材を育成することです。学校生活において、これらのことをしっかりと身につけ、卒業後に地域社会で活躍できる人材の育成を行っております。

生成 AI や DX 等、技術の変化が著しい現代社会を生き抜くために、これからの佐野工科高校生に必要なこととして、本田宗一郎さんの言葉を思い起こします。本田宗一郎さんは、「チャレンジしての失敗を恐れるな。何もしないことを恐れる。失敗が人間を成長させると私は考えている。失敗のない人なんて本当に気の毒に思う。困れ。困らなきゃ何もできない。自分の力の足りなさを自覚し、知恵や力を貸してくれる他人の存在を知るのもいい経験である」とおっしゃっております。

失敗を経験するということは、勇気をもってチャレンジした証です。この経験は、自分の夢を叶えるための大切なステップとなります。これからも、本校はチャレンジする生徒を応援する「生徒の夢を叶える学校」として、邁進してまいります。

今後とも本校の発展に向けて、ご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

挨拶

創立100周年 を迎えて

創立100周年記念事業実行委員会委員長
同窓会 佐工会会長

田脇 光浩



創立100周年おめでとうございます。

1925年（大正14年）創立以来、本年100周年の記念すべき大きな節目を迎えました。

これまでにご指導いただいた、歴代の校長先生をはじめ教職員の方々に対し衷心より御礼を申し上げます。

また、この記念すべく記念式典、祝賀会、記念誌、記念品その他各種イベントなど企画立案し、本日の100周年記念事業を準備されました、実行委員会の先生方に厚く御礼申し上げます。

本校は職業専門高校としてその使命を期待され、近年は地域のスーパー高等学校として期待され、スペシャリストを育成し、工業高校としての特色ある教育方針のもと全日制および定時制課程においても数々の成果を発表し、文部科学省をはじめ経済産業省ほか多数の表彰を受ける等成果を認められています。

卒業生の諸先輩は先の大戦中の混乱期や、復興期そして高度成長期と歴史が大きく変遷する時代背景や幾多の困難や災難等の中にあっても、努力を積み重ねられ、伝統と歴史を絶やすことなく100年の礎を築いてくれました。改めて敬意を表します。

卒業生は地域産業や工業に密着したエキスパートとして機械、繊維、電気、自動車等の科目を学び卒業後は、それぞれの業界で活躍され評価を得ていることは言うまでもなく、行政、教育、医療、福祉、芸術や各種サービス業へと業種の垣根をこえ、また国内にとどまらず、国際社会で活躍されるなど、各方面から信頼と高い評価を得ています。

佐工会はこのような多才な卒業生を擁し、交流や在校生の活動の支援をして参りました。これからも多くの卒業生が活躍できるよう支援を続けてまいります。

佐野工科高校のこれまでの歴史と伝統を絶やすことなく、卒業生で構成される佐工会としても世代をこえた交流を続け切磋琢磨しながら、次の100年に向けてしっかりとバトンを繋いで行きたいと思っています。

今後とも佐野工科高等学校並びに佐工会へのご支援とご指導をよろしくお願いいたします。

挨拶

ご挨拶

PTA 会長
大阪 PTA 協議会副会長

山本 真



創立100周年という大きな節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。この記念すべき年に PTA 会長として関わらせていただいていることを、大変光栄に感じております。

大阪府立佐野工科高等学校は、工科教育の拠点として地域に根ざしながら、多くの優秀な技術者を世に送り出してこられた歴史ある学び舎です。社会の変化に対応しながら、「ものづくり」の精神と実践的な教育を大切に、生徒一人ひとりの可能性を引き出す教育を続け、多くの若者たちがこの学び舎から、新たな世界へ羽ばたいていったことを思うと、保護者の一人として、また PTA の立場としても、言葉では尽くせない感慨があります。

長きにわたり本校の発展にご尽力くださった歴代の校長先生をはじめ、教職員の皆さま、卒業生の皆さま、地域の皆さまに、PTA を代表して深く感謝申し上げます。

また、学校と家庭が連携しながら生徒を支える PTA の存在も、本校の発展に大きく寄与してきたと自負しております。保護者として、生徒たちが安心して学び、挑戦し、成長できる環境づくりに貢献することは、私たちにとっての大切な使命です。近年では、時代の変化に伴い、PTA のあり方も多様化しておりますが「子どもたちの未来のために」という想いは、これまでも、これからも変わることはありません。

次の100年に向け、本校がさらに発展し、地域社会や産業界に貢献できる人材を育成し続けることを、校長先生をはじめ、教職員・学校関係者の皆さまと共に、保護者の一人として、また PTA の一員として支え続けていきたいと思っています。

改めて、これまで本校を支えてこられたすべての方々に感謝申し上げるとともに、在校生・卒業生の皆さまのご活躍と、大阪府立佐野工科高等学校のさらなるご発展をお祈り申し上げ、挨拶といたします。

祝 辞

祝 辞

第24代校長

山本 好男

(日根野高等学校校長)



佐野工科高等学校創立100周年おめでとうございます。この泉南の地で工業教育にかかわり、長きにわたり産業人の人材輩出に貢献をしてこられた全ての皆様に心より敬意を申し上げます。

私は、本校がまだ佐野工業高校と呼ばれていた平成18年に保健体育科の教員として勤務させていただく機会を得、4年間お世話になりました。その後、縁あって平成29年4月に校長として再び戻ってくることができ、様々な経験をさせていただきました。本校は私にとって決して忘れることのできない、大切な学校となります。

特に校長として勤務をさせていただいた4年間は、まさに工業教育の転換点ともいえる時期であり、府下にある全ての実業系の高校が志願者の減少を食い止めることに悪戦苦闘をし、様々な改革を行った時期でもありました。

本校においても、地域から選ばれる学校をめざし、不登校や支援の必要な生徒に対しては、丁寧に細やかな対応をすることで信頼を得、一方興味・関心のある生徒には、コンテストや大会で受賞をすることで成長を促し、その魅力を発信していきました。そして何より授業改善を行い、探究的な学習を具現化し、社会にイノベーションをもたらす力の育成に取り組むなど、多くのチャレンジを行った時期でもありました。

そこには、それぞれに熱意をもって取り組んだ教職員と、そのことに理解を示し、温かなサポートをしていた保護者、PTA、同窓会の皆様方のご支援があったことは決して忘れることができません。結果として、まさに地域から愛される高校へと成長をしていったように記憶をしています。ここにかかわった全ての方々に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

佐野工科高校が、いつまでも末永く地域から愛され、本校を卒業していった多くの卒業生が帰る場所として存続し続けることを願い、そしてこれまでとこれからの本校にかかわる全ての方々のご活躍をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞

創立100周年
を迎えて

第5代准校長

山田 啓次

(大阪産業大学教授、本校運営協議会会長)



新任で赴任したのが1994年ですから、もう31年前ですね。はじめて4階校舎に上がったときは、右を向けば山、左を向けば海が見えました。あれから20年、文化祭や遠足、発明くふう展や技術アイデアコンテスト、木製EVや高速炭化炉づくりなど、生徒とともにがむしゃらに走り続けた日々でした。また、1トンの豆腐や25mのホットドッグ等でギネスに挑戦し、東日本大震災が起こった年には、生徒と作った廃材燃料給湯器を陸前高田や石巻まで何回も運びました。数えればきりがなほどのモノづくりを生徒と一緒に苦労を重ね、生徒と一緒に楽しんだことばかりを思い出します。

突然、府教委に召還され、2年間の役所勤めから戻ってきたのは定時制でした。これまた准校長として濃厚な2年間を過ごし、再び召還されるタイミングで府職員の職を辞し大阪産業大学へ移って8年目となりました。通算22年、佐野工で体験した教員の魅力を学生達に伝えています。

さて、今は学校運営協議会委員として、外から佐野工をみています。創立100周年、少子化により近隣の高校が閉校していく中で、変化する時代のニーズに対応することで存在感を高めてくれた結果であり、私もその一員として関わったことに誇らしさを感じます。

ICTの発達で、少し前には存在しなかったAI、IoT、ビックデータという新たな技術を生み出し、働き方、ライフスタイル、コミュニケーションの形態等が劇的に変化しました。従来通りの知識やスキルだけでは通用しない予測不能な時代の到来です。これまで学校で重視されてきた学力は、知識の量、記憶力、計算の速さなどでした。しかし何が起るかわからない予測不能な時代で不可欠になる力は、情報活用能力、課題発見・解決能力、コミュニケーション能力等です。さらに何よりも重要なのは、目の前の困難を乗り越えるための“創造性”と変化の激しい時代に対応するための“自ら学び続ける力”です。佐野工のこれからの100年に期待するものは、これらの力を身に付けた創造的人材の育成です。

挨拶

創立100周年 を迎えて

生徒会長（全日制）

山中 凰



佐野工科高等学校が創立100周年を迎えられたことを、生徒を代表して心よりお祝い申し上げます。

入学してから今日までの学校生活を振り返ると、毎日の授業や実習での学びはもちろん、文化祭や体育祭といった行事、そして日々の部活動など、多くの場面で仲間たちと過ごした時間が思い出されます。クラスや部活動の仲間と協力し合い、時には意見がぶつかることもありました。それらを乗り越えるたびにお互いの絆は深まり、私自身も大きく成長できたと感じています。

本校は機械系・電気系・産業創造系という3つの学系を通じて、ものづくりの基礎から応用までを幅広く学ぶことができます。実習では初めて触れる機械や工具の扱いに戸惑うこともありましたが、先生方や先輩方が一つひとつ丁寧に教えてくださり、少しずつ自信を持って作業できるようになりました。失敗を重ねながらも作品を完成させたときの達成感は、きっとこの先も忘れることはないと思います。

また、放課後の教室や実習室で仲間と残って作業をした日々、行事の準備で遅くまで協力し合った時間など、何気ない一瞬一瞬が私にとってかけがえのない宝物です。そうした時間を過ごせたのは、100年という長い歴史の中で築かれてきた本校の温かな雰囲気と、支えてくださる地域の方々、そして常に寄り添ってくださる先生方のおかげだと心から感じています。

この記念すべき100周年を迎えられたことは、多くの先輩方が努力を重ね、伝統と技術を守り続けてくださった証です。私たち在校生も、その誇りを胸に刻み、これからの佐野工科高等学校の新しい歴史を創っていきけるよう、日々の学びに励んでまいります。

挨拶

創立100周年 を迎えて

生徒会長（定時制）

三上 輝太

皆さんこんにちは。大阪府立佐野工科高等学校が創立100周年を迎えるにあたり生徒を代表して心からお祝いを申し上げます。

長きにわたる教育への貢献と輝かしいご発展に敬意を表します。

今後、ますますのご発展と、生徒、学生の皆様のご活躍を心より祈念いたします。



2025年度の文化祭は100周年を記念して全日制・定時制の生徒会が協力して入退場門の製作をしました。

100年の歩み

SANO TECHNOLOGY HIGH SCHOOL
100TH ANNIVERSARY



1925 (大正14)年度

- 3月4日 文部省告示第97号により設立認可される。
- 3月10日 佐藤秀也先生、校長事務取扱い
- | | |
|-------|---------|
| 小山平治 | 主事 |
| 山田 庸 | 紡織科長 |
| 佐藤辰雄 | 紡織科職員 |
| 小田羽吉郎 | 紡織科工場主任 |
| 小橋正義 | 機械科長 |
| 佛性栄治 | 機械科職員 |
| 三枝留蔵 | 機械科工場主任 |
| 天見源太郎 | 書記 |
| 高田秀正 | 嘱託 |
- 4月1日 大阪府立佐野職工学校として泉南農学校の校舎の一部を使用して開校する。紡織科35名、機械科35名。

〈世の中の出来事〉

- 3月22日 大阪府立浪速高等学校設立。(7年制)
- 普通選挙法可決。
 - ラジオ普及、東京13万、大阪4万8千人。
 - 小樽高商事件。

1926 (昭和元)年度

- 7月7日 小山平治校長就任。(初代)

〈世の中の出来事〉

- 6月30日 府下の郡役所廃止。
- 7月1日 青年教育にも軍事教育色が入り始める。
- 11月7日 大阪府庁舎落成。
- 12月25日 昭和と改元。
- 2月26日 大阪市に初めて市営バス走る。
阿倍野～平野間 6 銭
- 3月31日 大阪市電開業。

- この年大学 37校 学生 31,287人
- 専門学校 139校 73,888人
- 高校 31校 高等科16,584人



初代校長 小山平治



校長事務引継の日

1927 (昭和2)年度

- 9月25日 校長事務引継の日第1回卒業式
2月 寺田甚与茂氏来校。
3月14日 旧講堂（2階は製図室）の建築落成式と第1回卒業式が盛大に行われた。

〈世の中の出来事〉

- 5月17日 大阪府第20代知事に田辺治通氏。
7月24日 芥川龍之介自殺。
9月25日 普通選挙による初めての大阪府議会議員。(65人)
3月16日 大阪高等商業学校から大阪商科大学に昇格。
●金融恐慌はじまる。



第1回卒業式

思い出

創立時代の回顧

小山 平治

回顧すれば第1回入学式は佐野女子小学校の東側にある小校舎で举行されたが、当時学校の門には大阪府立泉南農学校と大阪府立佐野職工学校との2校の看板が掲げられて居た。そこに容易ならぬ苦勞の因縁が存在していたのである。

農学校は岸和田市寺田利吉氏の寄附により泉南郡立として設置されたが、経営難を來たして府立に移管された。其後は生徒募集を停止し大正14年度限りで廃校と決定された。

然るに建物と基本金があるので寄附者の篤志に対しても出来れば学校を置いて是に報いたいという考えから運動が起って実習工場を新たに建築し紡織及機械の職工学校を設置して農学校に替える事になった。

そこで大正14年度は其過渡期として農学校長が管理権を持った学校、然かも普通教室3、理科教室1のとても手狭な所に教職員、生徒は2部別個に授業をするというすこぶる無理な開校であった。

翌昭和元年には全財産を引継ぎ単独の学校となり生徒数も増加したので工業学校相応な校舎設備の申請をした所が大阪府会は「学校設置の当初比の経費を増額要求してはならぬという条件付きで議決しているから駄目だ。府会議事録がある限り其要求は受難い」と厳しい御挨拶で交渉を重ねても重ねても涙を吞んで引きさがるの外はなかった。

然しながら府当局にも異動があり府会議員選挙があれば議員諸公の顔ぶれも違って参り議事録問題が次第にほかされ入学志願者は毎年に増加して工業教育特有の設備が段々と認められる様になり講堂、製図教室、紡織実習工場と僅かながら増築を見たのである。けれども之等は応急措置に過ぎずもとより満足すべきものでなかったから、更にもっと根本的な移転新築を計画して毎年申請を継続したのである。

阪間氏(後の大阪市長)の内務部長時代に地元が熱意を示さなくては予算に組みぬと言われたので敷地の寄附があれば予算計上出来ますかと念を押して、左様されれば可能性があるとの言質を得

たので府会議員古妻氏、町村長会長藤本氏等を歴訪して協力を求め其後府会議員、町村長会幹事の会合となり、或は佐野町側への折衝となり或は町村長会の会議となり各方面の協議が重ねられて敷地5千坪の寄附申合せが出来、其候補地検分のため学務課長の出張となる迄に進歩した。

其後もいろいろ曲折があったが、現在地に機械及紡織の実習工場が鉄骨鉄筋コンクリートの近代建造で竣工した。

是全く地方選出の府会議員、郡内町村長、佐野町有志各位の協力一致、理解ある御援助並に生徒保護者方の熱烈なる促進運動の賜物として厚く感謝したのであります。

本館の建築は多額の経費を要したが比較的順調に進み昭和10年度には移転新築全く竣工し所期の目的が達成せられ本校の発達を阻んだ条件付き決議は事実上完全に抹消された訳であって、感慨無量なものがあつた。

今一つの問題は乙種程度の3年制を甲種程度に改め高級科を設置して5ヶ年の課程とする事である。是亦第2回卒業生を出す頃から毎年提案したが学務の査定さへ通らぬ始末であった。昭和10年大阪府へ化学工業学校の設置を建築した所、時の鈴木学務部長が喜んで直ちに採択され、そこで赤間課長(後年大阪府知事)指示の許に化学工業学校と機械工業学校の新設案が提案されたのである。

之に関連して学務部予算の知事査定が行われると云うことで部長から臨時説明員として知事官邸へ出頭する様急報で呼出を受けた。当日は部内各課の重要予算採否決定の査定であるから各課長以下係員は非常に緊張した会議で議事は晝間一杯続行されたが尚終らず遂に夜中になってまだ終わらない。

特に新規事業は尚更容易に決定に至らず午前3時頃化学工業学校の案が査定されたが佐野工業の高等科設置案は絶望となった。そこで新設学校化学工業設立の建案という余計な世話をしたために自分の学校の多年の懸案が通らないという案状となり如何にも面目なく進退きわまるに至った。

私は瞥え様のない気持ちで府庁を出た。かくて夜間寝静まった街道を徒歩難波駅につき一番電車を待って乗車したが、安心と睡さで居眠して和歌山駅迄乗越してしまった。(70周年記念誌より)

1928 (昭和3)年度

〈世の中の出来事〉

- 5月25日 第21代知事に力石雄一郎氏。
7月28日～8月12日
第9回オリンピック、アムステルダム大会。



昭和3年 御真影奉戴

1929 (昭和4)年度

12月1日 校舎裏114坪買収。紡績工場一棟建築予定。

〈世の中の出来事〉

- 4月1日 大阪高等工業が大阪工業大学に昇格。
7月5日 第22代知事に柴田善三郎氏。
7月18日 阪和電気鉄道、天王寺～府中間開業。
10月24日 世界大恐慌により大阪の経済も打撃。
11月22日 花園ラグビー場開設。
1月29日 大阪の地下鉄工事始まる。



昭和4年当時の全職員・生徒



昭和4年頃 旧校門

1930 (昭和5)年度

- 5月24日 逓商工大臣、本校へ来校。
10月24日 大阪府立4職工学校（西野田、今宮、城東、佐野）連合運動会が初めて住之江新設グラウンドにて開催された。本校小山校長の提案による。
11月23日 同窓会発足。
3月11日 寺田甚与茂氏来校、講演。

〈世の中の出来事〉

- 6月16日 阪和電気鉄道 府中～東和歌山開業。
11月14日 浜口雄幸首相、東京駅で撃たれる。
(昭和6月8月26日死去)

- 昭和恐慌。
- ロングスカート流行。
- この年、自動車生産台数、437台。



逓商工大臣来校

思い出

創立期の思い出

三草 留蔵

大正14年2月頃当時の今職校長佐藤秀也先生が佐野の農学校が来年限で廃校と決定したので之れに代る職工学校を4月より設置する事に大府の方針が決定し、其の準備に着手し校舎の方は旧農学校の建物を利用し得るが紡織科と機械科両工場の建築を要するので其の建築図は已に出来て目下建築中だが附随する原動装置並に機械類を設計製図して居る事との話で図面を示され職員の方も一二を残して凡決定し居る君も其の方に行って貰いたいから今より其のつもりで居る様にとの内命がありました。

当時今職としても来年度より精密機械科の増設が決定して居り其の方にも職員が入用故新設の学校に本校の職員を態々派遣する必要はないとの反対意見の方もありましたので発令まで内密にして居る様にとの事でした。

3月に入り学期試験も終了し当時職員間で相談して居た別府温泉行きが決行されるに際し、同行を見合せよとの事でした。3月末、明日佐野に行く職員が全部本校に集合する故に少し早めに出勤して呉れとのこと故登校し居

ると朝より山田、小橋、佛性、小田の諸先生が来校され小山先生と佐藤辰雄先生は都合で不参佐藤校長以下計6名が辻野君の運転する今職の古自動車に同乗初めての行程なので約2時間を要し佐野農学校に到着した頃は正午前でした。

両工場の外観は大部分完成に近づき居りましたが床張りなど未完成で土間のままで内部の仕事は盛んに工事中でした。何分正式の設置認可が3月4日本校の現在創立記念日でしたので入学生の募集、其他受入態勢は何等着手されていなかったので小憩後、各自仕事に着手する事になりましたが何分諸先生共教職関係は初めての人多く佛性先生が小学校の経験がある位で工場方面より来任された方ばかりなので佐藤校長の指図で各々分担を決め働きました。以上の関係で入学試験等も他校より遅れ4月に入ってから、行われました。

入学式も勿論、講堂等ありませんので工場の未完成の土間で行われました。第1回生として紡機各35名宛計70名が入学しました。之れに対して旧農学生は3年生のみ15名位が居残りました。

(70周年記念誌より)



寺田基與茂氏講演



昭和5年 運動会

1931 (昭和6)年度

〈世の中の出来事〉

- 9月18日 満州事変おきる。
- 11月 7日 大阪城天守閣落成。
- 3月18日 大阪国防婦人会発足。
- 3月29日 官鉄、天王寺～京橋間開業。



昭和6年 旧玄関

1932 (昭和7)年度

- 5月15日 同窓会臨時総会を開き、会則決定。
- 12月 本校改案府会を通過する。佐野町より5,000坪の敷地提供される。

〈世の中の出来事〉

- 5月15日 犬養毅首相、殺される。
- 6月28日 第24代知事に県忍氏。
- 7月15日 高島屋南海店オープン。
- 3月27日 日本・国際連盟脱退。



旧校舎全景

1933 (昭和8)年度

- 4月15日 新校舎建築地 (現、高松東1丁目3-50) の地鎮祭が行われる。当日ははじめ雨、強風、天幕も倒れるあり様であったが、しだいに回復し、陽光をみる。

当日の来賓島田学務課長、営繕課 (村上技師、池田技手、久保田技手)、府会議員 (黒崎友次郎、川端政義、辻利平)、大門町村長会副会長、番匠谷町長、佐野町敷地買収委員 (野出相三、車野安蔵、内原要)、佐野町敷地買収尽力者 (青井、大引、宇賀、北井江の各氏)、菊父兄会長、北川同窓会総代、奥請負師一統。

- 10月 機械科、紡織科の工場が外郭の威容を示す。佐野町での鉄筋の初め。草茫々の敷地も生徒の手で整地され、運動場もできてきた。

- 3月28日 本館着工の起債認可された。

〈世の中の出来事〉

- 4月22日 滝川事件 (京大)
- 5月20日 大阪地下鉄、梅田～心斎橋間開通。
- 6月17日 ゴー・ストップ事件。
- 2月 1日 大阪でタクシー料金メーター制始まる。2キロまで30銭。800m 増すごと10銭。
- 玩具ヨーヨー流行。



改築敷地標柱建立



工場配電器



本館の建築足場

思い出

創立期

横超 乗雲

大正14年、本校は泉南農学校の同居で開校した。新入生の一人が「あんな処に柿がなっている」と不思議そうに呟いていた。トマトが普及していなかった時代である。その実習農園をも、踏まねば遊ぶ場所がない。両校の生徒間にトラブルは止むを得なかった。

大正15年、農学校の生徒は残らず卒業した。それを機に、校長事務取扱の佐藤先生からバトンを受けて小山先生が初代校長に就任された。先生は意欲に燃えておられた。早速、講堂（木造、2階は製図室）の建設に着手され、昭和2年の年内には、もう完成した。お蔭で、第1回の卒業生は昭和3年の3月新講堂から花々しく門出することが出来た。

昭和5年には早くも同窓会を設立。「母校の将来は諸君の双肩にある。佐野戦魂でお互いに頑張ろう」小山新会長の挨拶だった。前年の轍を踏んではならぬ。師弟同じ思いだった。「それにしても母校はちいちゃいなー」誰もがそう思った。第一運動場がない。隣の小学校を借りたり、駄目なら裏の田んぼで教練もやった。勿論校地拡張の陳情はした。進まない。志願者の増加こそ先決だと判って、生徒の募集には初期から奇抜な方法で力を入れた。即ち

小学校を訪問して説明の際、同時に御自慢の教練を見て貰ったのである。次に出身生が進み出して、母校校長先生にごあいさつ。志願者は増えて行った。

一方、卒業生に対しては就職先を巡回して激励した。校訓「学校らしき学校となすに非ず…」で、鍛えられていただけに何処でも評判が良かった。この実績を踏まえて、父兄と同窓生を両翼に学校の陳情運動は展開した。来客も頻繁となり学校の中古自動車が、送迎に活躍する。俵商工大臣もこの車で来校された。こうして機は徐々に熟し当時の合言葉「臥薪嘗胆」にも結実の秋が訪れた。

昭和7年、地元のご好意と各界のご支援によって四千坪の土地買収成立。同時に府当局、議会其他のご英断によって全校舎改築が決定した。急転直下の朗報だった。

昭和9年、9月台風襲来、旧工場倒壊。

昭和10年、3月本校の入試競争率は遂に近隣校を抜いた。時の利はあったにせよ、乙種工業で、この高率は本校の将来性が認識された結果である。隔世の感なきを得ない。

昭和10年、7月いよいよ待望の新校舎に移る。白亜の殿堂は笑って我等を歓迎しているようだ。職員も生徒も嬉々として備品を搬入した。憶えば、この日の為の苦節10年であった。

(70周年記念誌より)

1934 (昭和9)年度

- 6月27日 本館は入札の結果、岸和田市中筋組の請負となる。
- 9月21日 室戸台風襲来。瞬間風速60mを記録し、紡織工場の屋根は飛ばされ、機械工場もペシャンコになった。すでに鉄筋の新工場を建築中であつたのであきらめはついたものの後始末は大方、職員生徒で行った。



室戸台風で崩れた校舎

- 9月26日 佐野高等実践女学校のために講堂を貸与。倒壊のため。
- 10月4日 同じく紡織工場も貸与した。
- 3月25日 本校の入学競争率、紡織科、受験者91名、入学許可31名。機械科、受験者203名、入学許可39名。紡織科工場、機械科工場、本館、体育館の工事竣工。

〈世の中の出来事〉

- 9月21日 第一室戸台風、全国死者の6割は大坂。
- 11月17日 大阪帝国大学湯川秀樹講師が中間子論を発表。
- 1月15日 第25代知事に安井英二氏。



本館建設中

1935 (昭和10)年度

- 7月18日 新校舎に移転。
- 7月20日 新校舎で初授業。



両工場竣工当時

- 9月1日 坂井索米先生は自動車に興味を持ち、自ら免許をとって、佛性先生は自動車に関する著書オートリストをものにし、田中先生も免許をとるに及んで、地域の人のため自動車講習を始めた。4ヵ月ごとに、毎日午後2時より運転、夜6時から講義。
- 11月 高級科設置決定、通算5年制。
- 1月 地場産業に協力して、織物講習を開始。
- 3月4日 山田庸校長就任(第2代)。(小山校長は第5職工堺工へ栄転)

〈世の中の出来事〉

- 10月1日 第4回国勢調査。大阪府429万人、大阪市298万人。
- 10月30日 地下鉄心斎橋～難波間開業。
- 2月26日 2・26事件おきる。



第2代校長 山田 庸

1936 (昭和11)年度

4月1日 高級科を設置する。



高級科生徒

9月 創立10周年を記念して校歌を制定する
作詞国語科 横超乗雲氏、作曲大阪音楽学
校長 永井幸次氏。

11月7日 校舎落成祝賀会を行う。
前日は準備のため職員一同徹夜。学校長の
式辞、長官告辞、府会議長祝辞、営繕課長
工事報告、町村長祝辞、町長、中学校長、
小学校長、同窓会、講習会、在校生祝辞、
その他祝電。運動場に天幕を張り盛大な宴
会を行い、来賓には「落成までの歴史」を
語るというアルバムと記念品を、生徒には
紅白の祝餅を頒った。

〈世の中の出来事〉

- 5月1日 大阪市立美術館開く。
- 7月11日 大阪府は、中学校の入試科目を国史だけとする。
- 8月1日～16日
第11回オリンピック、ベルリン大会。
- 10月30日 教育塔竣工。
- 3月13日 大阪市立電気科学館開校。
プラネタリウム人気をよぶ。

●アルマイト製弁当箱全盛。

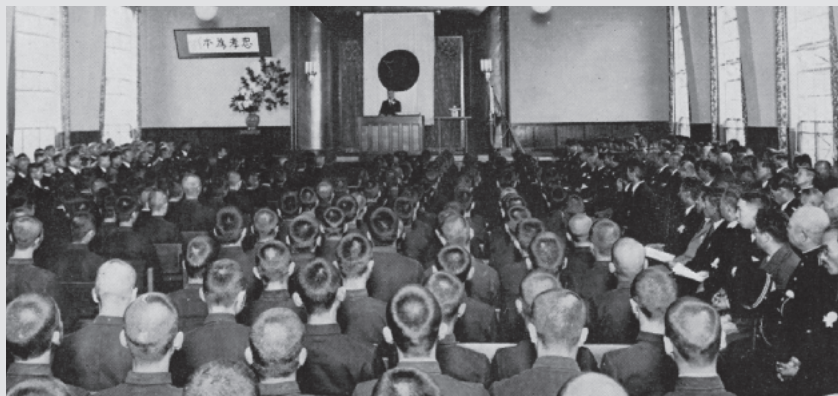
校歌
紫にはふ萬城の
山影高く清うなる
第濤の浦曲の潮風を
不斷に吸ひて健けき
健児われうに誇あり
健児われうに誇あり
ベルトの音の絶え間なく
車輪の調たゆみなく
いそむ隙も人として
踏む可き道を忘れざる
健児われうに節あり
健児われうに節あり

作詞 横超乗雲
作曲 永井幸次

(旧校歌 二節目)
豊かさ昇る 日の本の
富強を築く 工業の
業を磨くは 我がつとめ
知識を練るも 我がつとめ
健児われらに力あり
健児われらに力あり



10周年記念展示



落成式

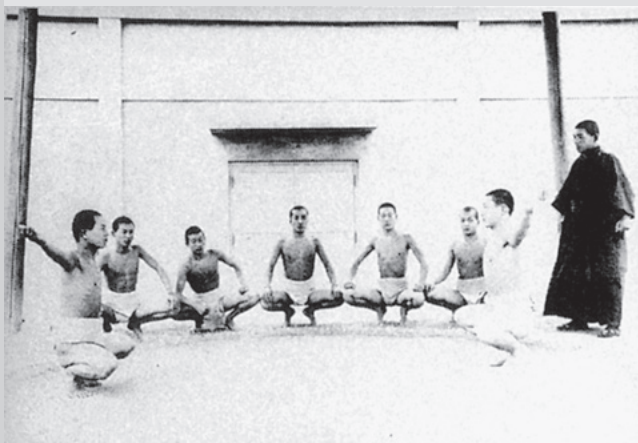
1937 (昭和12)年度

- 8月28日 機械科第二部を開設する。中学卒業生を6ヵ月間で速成教育する。
- 11月16日 土俵開きの行事をおこなう。屋根葺きの土俵は、卒業生田出谷氏 (旧姓大木) の寄贈になる。相撲部創られる。
- 1月29日 剣道大会開く。
- 2月14日 弁論大会開く。
- 3月14日 高級科第1回卒業生。

〈世の中の出来事〉

- 6月5日 第26代知事に池田清氏。
- 7月7日 日中戦争始まる。
- 9月24日 国民精神総動員大阪実行委員会結成。
- 12月13日 南京占領。千人針、慰問袋さかんとなる。防空電球が発売される。

●普通乗用車5万台を突破



土俵開き



田出谷氏

1938 (昭和13)年度

- 4月16日 砂川方面に強行軍。
- 4月30日 和歌山方面に強行軍をなし深山連隊を見学する。
- 5月14日 弓道部創られる。矢場の修祓式ならびに矢渡式。
- 5月21日 犬鳴山へ強行軍。
- 5月31日 佐野駅、鶴原駅において悲しき遺骨の出迎をなす。
- 6月12日 4年・5年生は関東方面の修学旅行に出発する。
- 7月29日 佛性先生、実業教育協会の主催でフィリピン視察。

〈世の中の出来事〉

- 4月1日 国家総動員法公布。
- 4月10日 灯火管制実施。
- 4月21日 地下鉄難波～天王寺間開業。
- 5月1日 ガソリン切符制。
- 8月 大阪府戦時市民生活運動が始まる。
- 1月20日 大阪市産業報国会結成。
- 3月1日 枚方陸軍火薬庫爆発。696人死傷。



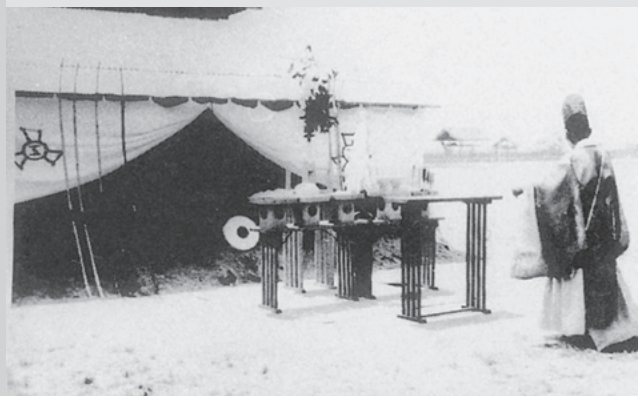
知事来校

1939 (昭和14)年度

- 5月6日 土丸城跡へ強行軍。
現行将校の学校配属令制定15周年記念御親閲式に、校長、高田、山本両教諭ならびに生徒10名参列する。
- 6月10日 第3学年滝ノ池方面野外演習実施する。
- 6月20日 第3学年海岸寺山へ野外演習実施する。
- 12月4日 岸和田職業紹介所補導講習を本校にて開く。

〈世の中の出来事〉

- 5月 ノモンハン事件おきる。
- 5月31日 大阪府に総動員課もうける。
- 7月1日 政府は金の調査、金歯やキセルの口金まで申告させる。
- 9月1日 酒・たばこも売らず。
- 9月5日 第27代知事に半井清氏。
- 9月28日 文部省、中等学校の入学者選抜に筆記試験をやめ内申書と口頭試問、身体検査とする。
- 10月 大阪市営バスに薪車走り始める。
- 12月1日 白米禁止。門松全廃。
- 3月18日 大阪府産業報国連合会結成。



矢渡式

1940 (昭和15)年度

- 4月18日 壇婆羅山に行軍。
- 5月15日 4・5年生東京方面へ修学旅行に出発。
- 5月31日 午前9時30分より海軍特務中尉坂本氏の講演を開く。
- 6月7日 横超教諭、生徒2名と共に馬糧草売上代金国防献金のため第4師団指令部を訪問する。
- 7月6日 「日支事変」3周年記念式。式後、砂川、笠山、お菊山へ行軍。堺分院を慰問。
- 7月22日 午前8時より二色浜にて水泳開始。29日まで。
- 7月31日 紡織科生徒一同、雄信達村男神社に勤労奉仕する。

- 8月1日 機械科生徒一同、雄信達村男神社に勤労奉仕する。
- 10月8日 全校生徒土丸城跡に行軍する。
- 10月12日 午後1時半より二色浜でグライダー訓練を見学する。
- 10月30日 教育勅語頒布50周年記念式典。
- 11月7日 創立15周年記念式典を行う。山田校長の式辞、半井清大阪府知事の告辞、大阪府会議長高木正明氏、中等学校長総代田中良一氏、泉南郡小学校長代表采女賢一氏、佐野町長内原要氏、同窓会総代北川三郎氏、在校生総代岩瀬弘治氏の各祝辞。10年以上現職員表彰、山田庸、福田祐治、小橋正義、阪本伊三郎、高田秀正、石橋富栄、三枝留蔵、北川三郎、横超乗雲、内匠クラ、10年以上旧職員、小山平治、田中壽雄、佛性栄治、坂井索米、小田羽吉郎。



創立15周年記念祝賀会

- 11月10日 奉祝2600年式。

〈世の中の出来事〉

- 6月5日 マッチ・砂糖の配給制。
- 9月27日 日独伊3国同盟結成。
- 10月1日 第5回国勢調査。
大阪府479万人、大阪市325万人。
- 10月6日 モンペ奨励の大行進。
- 11月1日 カーキ色の国民服制定。
- 11月3日 厚生省、産めよふやせよ、
10人以上の子どもをもつ家を表彰。
- 11月11日 紀元2600年記念式典。
- 1月7日 第28代知事に三辺長治氏。

1941 (昭和16)年度

- 4月1日 校名を大阪府立佐野工業学校と改める。文部省告示762号。3月専修科(1年制)を設置する。設置科、施工科、仕上科、製図科。
- 5月3日 全校生徒、淡輪へ強行軍。
- 5月5日 大阪護国神社奉納武道大会で若狭豊顕、剣道で優勝。
- 6月21日 校庭の空地に甘藷を植える。
- 7月22日 グライダー訓練開始、二色浜。
- 7月25日 北川教諭、再応召の壮行会。
- 8月1日 犬鳴山草刈勤労奉仕。
- 9月2日 平野、六尾両教諭の壮行会。
- 9月20日 グライダー部員大阪第2飛行場に出場。
- 11月18～19日 府下中学校連合野外演習に参加。
- 11月26日 新校旗入魂式、春日神社。
- 3月13日 機械科第2部を廃止する。

〈世の中の出来事〉

- 4月1日 小学校が国民学校となる。
米の配給。中等学校制服、男子は国民服に戦闘帽、女子は襟が右前へチマ型となりセーラー服の廃止。
- 9月1日 金属類の回収はじまる。
- 10月18日 東條内閣成立。
- 11月1日 大学・高校・専門学校修業期限を3ヵ月短縮。
- 11月22日 国民勤労報国協力令公布。
男子14～40才、女子14～25才、勤労奉仕義務づけ。
- 12月8日 太平洋戦争始まる。
- 1月1日 大阪府内政部に軍事課が設けられる。
- 2月1日 衣料品は点数制、みそ、しょうゆ通知制。



平野先生 戦没慰霊祭

1942 (昭和17)年度

- 4月10日 第2本科(機械科)を開設する。専修科(機械科)を開設する。
- 5月11日 代数の平野政行先生フィリピン戦没慰霊祭を挙行。

〈世の中の出来事〉

- 4月18日 造幣局、桜の通り抜け中止。
- 4月18日 米軍機、神戸、名古屋、東京を初空襲。
- 6月18日 道頓堀のすずらん灯消える。
- 7月12日 全国中等学校野球大会中止を発表。
- 8月7日 ガダルカナル島で、米軍反攻開始。
- 8月14日 隣組、大政翼賛会の下に編入。
- 11月15日 関門トンネル下り線開業。
- 3月 大阪商科大学で左翼学生運動激化。

1943 (昭和18)年度

- 10月1日 工業技術訓練所を開設。三重県の陸軍明野の分校として、泉佐野飛行場造成始まる。
- 3月31日 第二工業学校設置され、入学許可者を発表。

〈世の中の出来事〉

- 7月1日 第29代知事に河原田稼吉氏。
- 8月1日 大阪など7大都市で、満州大豆の混食の配給はじまる。
- 10月21日 東京、学徒出陣、神宮外苑。
野球用語ストライクはよし1本、アウトはひけ。
- 10月28日 甲子園球場の大鉄傘取去られる。
- 11月16日 文科系大学、高専の学徒、中之島公園で出陣壮行会。
- 1月19日 大阪府に都市疎開実行本部もうけられる。
人員疎開はじめる。
- 2月21日 大阪、第一次建物疎開始まる。
- 2月22日 人口調査。大阪府441万人、大阪市283万人。
- 3月1日 歌舞伎座、決戦非常措置により休場。
- 3月4日 宝塚大劇場も最終日。



昭和18年8月 修練所

1944 (昭和19)年度

- 4月28日 山田校長退職との発表あり、4月29日あいさつ。
- 5月3日 諸熊壮一校長就任。(第3代)
- 5月16日 第二工業学校最初の専任教諭として西田亮哉先生赴任せられた。機械科定員80名のところ第一次募集では不足し、第二次募集を5月に行い、定員を突破。年内には警戒警報程度で、かろうじて授業は出来たが、昭和20年になると、生徒の登校も月に3回と決め、しかも夜間は灯火のもれるのを案じて、昼間授業としたこともある。
- 7月5日 この頃から戦争は苛烈となり、学校の夜間宿直を大增員した。
- 10月 学校の運動場を耕し、農耕を行う。
- 10月20日 養成科を設置し、入学式を行った。諸熊校長馬糧草づくり馬糧草納入式工業技術訓練所開所式
- 3月4日 創立20周年記念式を、時局がら内輪で質素に行った。

〈世の中の出来事〉

- 6月1日 南海線みさき公園～多奈川間開業。
- 8月1日 第30代知事に池田清氏。
- 8月28日 大阪市第一次学童疎開。
- 12月19日 大阪府下初空襲。(瓜破村)
- 3月20日 人口調査、大阪市内、2月に211万8000人、3月171万7000人。



馬糧草納入式



工業技術訓練所開所式



第3代校長 諸熊壮一



馬糧草づくり



昭和19年



昭和19年



昭和20年

1945 (昭和20)年度

5月21日 前校長山田先生逝去。
7月30日 空襲で授業中止、生徒退避。
11月6日 学校に配給班制が出来る。



昭和20年 職員写真

〈世の中の出来事〉

4月21日 第31代知事に安井英二氏。
6月10日 第32代知事に新居善太郎氏。
6月～8月 大阪空襲
8月6日 広島に原爆投下される。
8月9日 長崎に原爆投下される。
8月15日 終戦。
9月1日 大阪歌舞伎座開場。
9月5日 大阪部隊の復員始まる。
9月10日 大阪府、進駐軍受入れ連絡委員会を設ける。
9月20日 疎開児童引き揚げ始まる。11月6日完了。やみ市現れる。
11月1日 人口調査、大阪府280万人、大阪市107万人。
1月25日 第33代知事に松井春生氏。

思い出

昭和11年から20年迄

広瀬 義雄

私の担当の昭和11年から20年迄はほとんど支那事変から第2次世界大戦の終結迄暗い不幸な出来ごとの連続でした。

初代校長として本校の基礎づくりと校風の樹立に精進された小山平治先生が昭和11年3月鉄筋コンクリート造の建物としては泉南では初めてという校舎、実習工場の竣工を置土産に、更に第五職工学校(現堺工高)創設の大任を負って本校を去られ、教頭の山田庸先生が第2代校長としてバトンを引き継がれました。

この年に高級科が新設され、5年制の工業学校の仲間に入り、卒業生の就職も次第に全国的に拡がってゆきました。この頃から府立職工学校の卒業生の間で校名を工業学校に変更して欲しいという声が盛んになって来ました。校長会でもその意のある所を汲みとり、府当局への要請もあり、昭和16年9月から、既に工業を名のっていた航空工業学校(現布施工高)と同様に府立各職工学校は工業学校となりました。事変が拡大するにつれて卒業生の就職も国の統制する所となりその割当によって重点的に配置される迄に至りました。昭和16年12月8日には遂に第2次世界大戦に入り、学校も非常事態となり、戦争が烈しくなると共に勤労奉仕から勤労働員に進展し、3年生以

上は軍需工場で、2年生は学校の工場で夫々軍需品の製造に従事し、正規の授業は1年生のみとなりました。卒業の時期も昭和18年卒の者から3ヶ月繰り上げられ前年の12月に卒業するという状態が終戦迄続きました。昭和19年4月山田庸校長先生は長年に亘る御心労のため体調をくずされ御退職になりました。この戦争末期の困難な時期に府の工業教育主事をされていた諸熊壮一先生が第3代校長として赴任になりました。先生は特に職員生徒の健康に留意せられ、動員先の工場の労働管理についても、厳しく指導されるという風でした。又、紡織科は平和産業向の学科だから廃止するようにとの府からの勧奨があった時も、先生はこれに対して、紡織科の卒業生が製械廠、被服廠等に於て、技術職員、技術将校として活躍している点を力説し反対されたので、他校では廃科になった所もありましたが、本校では事なきを得たという一齣もありました。

かくて昭和20年8月15日動員中の生徒は夫々の工場で、在校生は校庭で終戦の詔勅をお聞きし、一同これでホッとした思いでした。9月からは不備ながらも授業が始まり、予科練に行っていた生徒も2人3人と帰校し、何もかも不自由な中でも久し振りに職員生徒一同、心豊かな毎日を送り、翌21年3月には4年生、5年生共に、特に思い出深い母校を巣立って行きました。

(70周年記念誌より)

1946 (昭和21)年度

3月3日 第二部本科および専修科廃止される。

〈世の中の出来事〉

- 5月1日 メーデー復活。
- 6月8日 第34代知事に田中広太郎氏。
- 11月3日 日本国憲法公布。
- 12月21日 南海地震 (M8) 1330人死亡。
- 1月31日 GHQ ゼネスト中止命令。
- 3月11日 第35代知事に高辻武邦氏、最後の官選知事。

1947 (昭和22)年度

- 12月4日 PTA 発足する。
- 1月9日 工場後援会発足する。
- 3月11日 自治会発足する。

〈世の中の出来事〉

- 4月1日 国民学校が小学校となる。新制中学校発足。6・3制。
- 4月12日 第36代知事に赤間文三氏、最初の公選知事。
- 5月3日 日本国憲法施行。
- 6月8日 岸和田で演芸大会開催中に屋根が落ち、死傷者。
- 10月1日 第6回国勢調査。大阪府333万人、大阪市155万人。
- 10月8日 電球が1世帯1個ずつ配給。
- 1月1日 大阪府下に29の保健所発足。

1948 (昭和23)年度

4月 本校職員委員会発足する。大阪府立佐野工業高等学校と改称。

5月15～16日 記念祭。

7月17日 現在の校章を決定。

9月19日 定時制高校発足する。

3月5日 工業高等学校第1回卒業生を出す。

〈世の中の出来事〉

- 4月1日 泉佐野市誕生。
- 6月13日 太宰治入水心中。
- 10月5日 公選の教育委員。
- 11月1日 大阪府教育委員会発足。
- 11月12日 極東国際軍事裁判、有罪判決。
- 1月26日 法隆寺金堂焼失。



職工時代の校章



現校章



昭和23年当時の玄関 (正面より)



昭和23年当時のグラウンド



昭和23年当時の玄関



第4代校長
千葉修三



本館廊下

1949 (昭和24) 年度

- 4月1日 定時制課程に紡織科ならびに商業科を開
設する。
- 4月8日 紡織科第1学年(高等学校)に新中卒業生
を一部入学させる。
- 5月22日 第2回記念祭
- 9月23日 講堂の舞台拡張工事竣工し、祝賀芸能祭を
催し、地元の町民の多数来会する。
- 9月30日 本学年より二学期制を採用し、本日を以て
一学期終了。
- 10月6日 諸熊壮一校長、今宮工業へ栄転。
- 10月8日 千葉修三校長就任。(第4代)
- 11月 放送教育指定校となる。
- 12月6日 宣伝班を組織し、2~3ヵ月の予定で泉
南・泉北郡の中学校を歴訪し、工業教育宣
伝に乗り出す。本校自動車班活躍。
- 2月 食堂開設。

〈世の中の出来事〉

- 5月31日 大阪大学新発足。
大阪外国語大学新発足。
大阪学芸大学新発足。
- 7月5日 下山事件。
- 7月15日 三鷹事件。
- 8月16日 ロサンゼルスで古橋広之進1500mに18分19秒。優
勝
- 8月17日 松川事件。
- 9月16日 教育危機打開市民大会、中之島公会堂で開かれた。
- 11月3日 湯川秀樹氏にノーベル物理学賞。

1950 (昭和25)年度

- 4月19日 学校教育法一部改正により夜間課程および定時制課程を併せて2定時制課程と称する。
- 5月20日 本校創立25周年記念式典を行う。
- 3月31日 定時制課程の商業科を廃止、在籍生徒36名を佐野高等学校定時制へ移管する。

〈世の中の出来事〉

- 6月25日 朝鮮戦争。平均寿命男58才、女61.4才。
- 7月28日 レッドパージはじまる。
- 8月14日 大阪プール扇町にオープン。
- 9月3日 ジェーン台風大阪全域に被害。
- 9月12日 大阪球場開く。
- 10月1日 第7回国勢調査。大阪府385万人、大阪市195万人。



展示



招待試合



創立25周年記念式典

1951 (昭和26)年度

- 4月1日 定時制の分校を泉南郡岬町立中学校内に設置。普通科と家庭科。
- 2月22日 木造2階建8教室の普通教室増築工事竣工。(739.37㎡)

〈世の中の出来事〉

- 4月 甲子園にジェラルミンの鉄傘。
- 4月11日 マッカーサー元帥解任。
- 5月2日 第37代知事に赤間文三氏。
- 6月3日 テレビ実験放送、後楽園。
- 7月20日 この日から50日間天気。
- 9月8日 日米安全保障条約調印。
結核による死亡、初めて2位に下る。



木造校舎増築

1952 (昭和27)年度

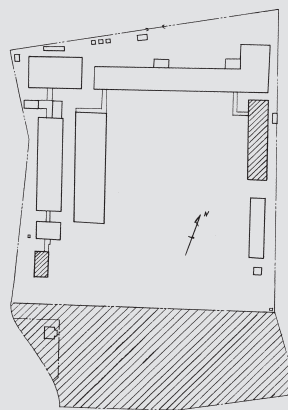
- 2月28日 岬分校の家庭科募集停止。

〈世の中の出来事〉

- 4月1日 大阪府育英会発足。砂糖の統制撤廃。
- 4月9日 日航機木星号三原山に墜落。
- 5月1日 メーデー事件。
- 7月19日 第15回オリンピック、ヘルシンキ大会。
- 2月1日 NHKテレビ放送開始(東京)月200円。



創立25周年記念誌



昭和27年当時の校舎配置図

1953 (昭和28)年度

- 4月1日 広瀬義雄校長就任。(第5代)
- 5月11日 施設設備の管理優秀につき府教育委員会より表彰。
- 12月10日 運動場拡張のため現敷地の東南の隣接地を買収する。

〈世の中の出来事〉

- 4月20日 ポストン・マラソンに山田選手優勝。
- 5月6日 大阪で全同教結成総会開かれる。
- 7月27日 朝鮮休戦協定。
- 8月28日 日本テレビ、民放初の本放送開始。
- 12月25日 奄美大島復帰。
- 3月1日 ビキニ環礁で第5福竜丸被爆。



第5代校長
広瀬義雄

思い出

定時制の創設から

船勢 武久

私が貴校にお世話になりましたのは昭和16年4月からでありました。その当時は府立佐野職工学校と言われていました。

それより22年の間お世話になりました。そのうちに日米関係の悪化の一路を辿る時でありましたので大変な時代となり佐野の飛行場建設の奉仕をしたり多奈川の造船所に学徒動員されたり、泉大津市の軍需工場に動員されて教師も生徒と一緒に工場に入ったものでした。従って学校としても大きく変動して学校の機能は失われ教育の場は失われたと思い日本の将来を考えずにはいらませんでした。ただ一刻でも早く戦争がおさまり平和のおとずれることを神仏に祈願するばかりでありました。

昭和23年4月より府立佐野工業高等学校と改称せられ、定時制が設置されましたので、24年に私が定時制主事を命ぜられました。私は晩学であり苦学をした経験もありますので昼間それぞれの職場で働き、疲れた体で夜間勉学する生徒諸君の気持もよく判り、若者の健康問題、生活指導のあり方に就ては特に心を配ったつもりです。全日制と同じ教室、設備を使用したのも、清掃用具の使用法、教材の後始末等についても何かとスムーズに行かぬ点もあり、これも生活指導教育の大切な一環として重視せずにはいられない事でありました。兎も角職員生徒一

丸となってがんばってくれました。

昭和26年4月より佐野工業高校定時制課程の分校が泉南郡淡輪村の岬中学校の中に設置され科目は普通科と家庭科でした。分校への出張授業であり、地元側の要望分校生徒の本校での機械実習の機械作業を志望する者一週一回だけでも機械を使って実習させたい気持や地元との協力色々な点で地元との交渉、積極的な協力の点で苦勞をし努力をしてみました、良い方法も見出せないまま、又生徒の通学距離の点で大変苦勞を重ねてまいりました。スクールバス等について考えたこともありました。生徒の職場がまちまちであり、田舎だけに就業時刻もまちまちでしたので定時制の分校教育には授業そのものより、経営の面で行詰まりとなり、生徒の向学心と授業の形態とで困りました。遂に昭和28年廃止の方向になり在校生は本校に吸収され分校の新しい募集は中止の止むなきに至りました。設置する時の職員生徒のはり切った気持、期待と廃止する時の気持を考えると実に感無量なものでありました。地元の熱心に協力して下さった方々にも誠に申訳ない次第でありました。其の後私は昭和38年三国丘高校に転任いたしました、42年退職致しました。尚私は定時制勤務の傍ら支障のない範囲で大阪家裁岸和田支部調停委員を頼まれまして、参与委員・家事相談委員を兼ね離縁遺産相続等の解決に取り組み社会的勉強をさせていただいたことを深謝いたしております。

(70周年記念誌より)

1954 (昭和29)年度

〈世の中の出来事〉

- 4月10日 日本初の国際見本市大阪で開かれる。
- 5月 大阪城の修復工事完了。
- 6月4日 近江絹糸労組、スト突入。
- 7月1日 陸・海・空3軍の自衛隊発足。
- 7月30日 黄変米問題。
- 9月26日 洞爺丸遭難、1155人死亡。

〈世の中の出来事〉

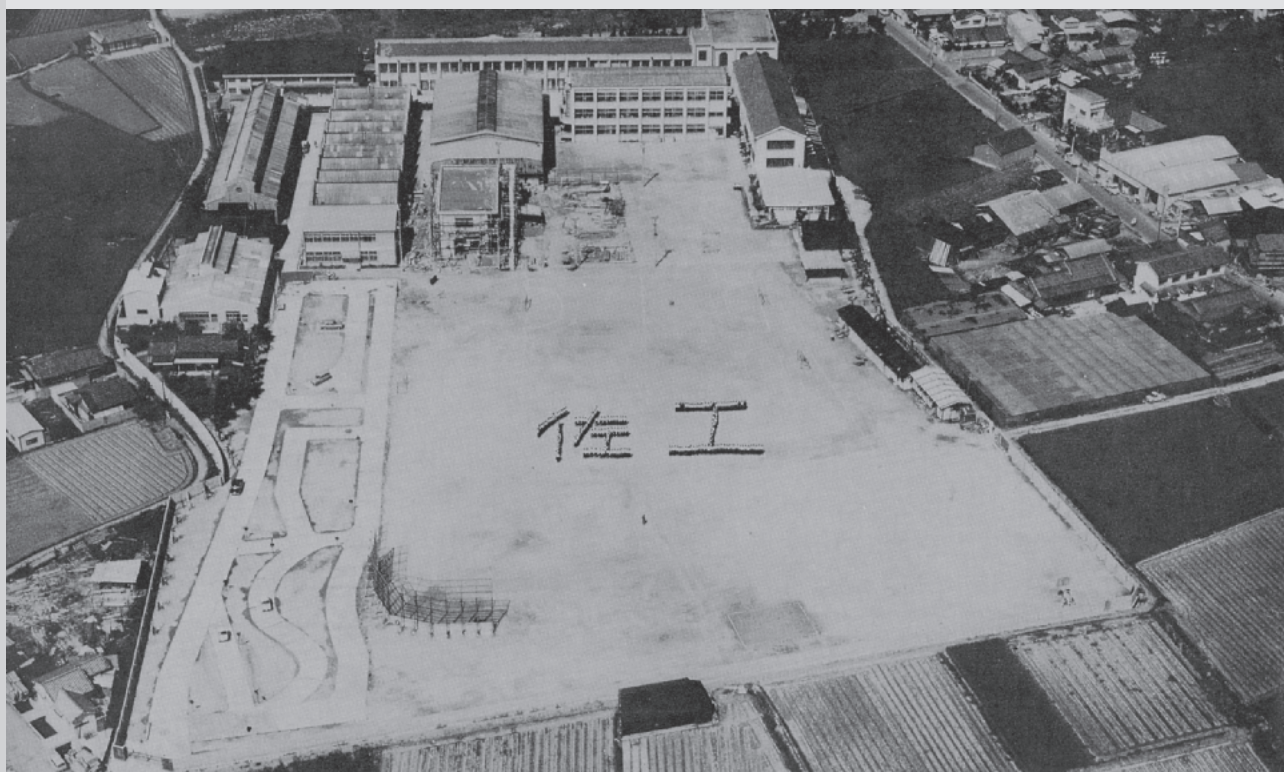
- 4月3日 堺臨海工業地帯の造成始まる。
- 4月25日 第38代知事に赤間文三氏。
- 8月24日 森永ミルク中毒事件。電気釜発売。
- 10月1日 第8回国勢調査。
大阪府461万人、大阪市254万人。
- 10月31日 大阪府教育会館完成。
- 3月19日 日本初の団地入居者募集、堺金岡団地。

1955 (昭和30)年度

- 6月20日 運動場拡張工事竣工。
- 10月28日 創立30周年記念式典を行う。
- 3月20日 機械科鑄造工場竣工。(工場40坪、廊下4.3坪)
- 3月31日 定時制課程の岬分校を廃止。分校に在学した31名の生徒を本校定時制課程に編入する。



創立30周年記念式典



昭和30年代校舎全景

1956 (昭和31)年度

〈世の中の出来事〉

- 5月9日 フィリピン賠償協定調印
日本隊マナスル登頂成功
- 9月28日 文部省、初の全国学力調査実施
- 10月11日 延暦寺講堂焼失
- 11月8日 日本南極観測隊出発
- 11月22日～12月8日
第16回オリンピック、メルボルン大会。
- 12月18日 なんば地下街完成、のち拡張してなんなんタウン。
- 水俣病の発生が確認される。



旧泉佐野駅 朝 昭和32年当時

1957 (昭和32)年度

〈世の中の出来事〉

- 4月 みさき公園開園。
- 6月26日 台風5号、集中豪雨。
- なべ底不況。



弁論大会

1958 (昭和33)年度

- 4月1日 稲葉達雄校長就任。(第6代)
 3月31日 鑄造工場に木型工場および電気・原動機実験室を増築。(70.5坪)

〈世の中の出来事〉

- 5月 大阪府人口500万を超える。
 8月15日 総評、和歌山で勤評反対、民主教育を守る国民大会開く。
 10月30日 新歌舞伎座開館。
 ●フラフープ流行。



第6代校長 稲葉達雄

1959 (昭和34)年度

〈世の中の出来事〉

- 4月25日 第39代知事に左藤義詮氏。
 9月26日 伊勢湾台風。
 ●カミナリ族横行。



音楽会



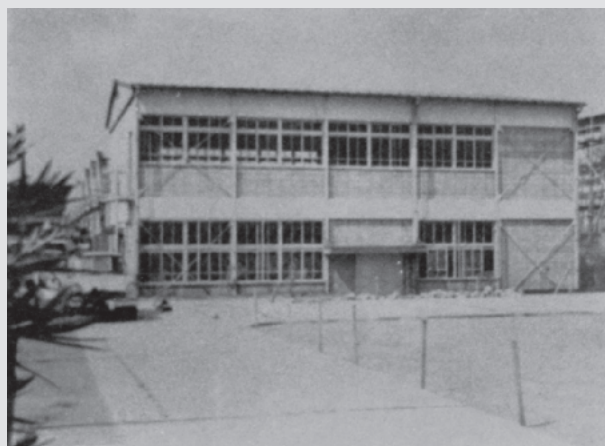
記念タオル

1960 (昭和35)年度

- 5月31日 戦後のベビーブーム期の生徒の急増対策として、校舎鉄筋3階および保健室の増築工事竣工。1階は機械科実験室、2・3階は普通教室。
 8月15日 体育館竣工。(223.56坪)
 8月31日 剣道場竣工。(47坪)
 10月3日 紡織科実習工場竣工。(96.68坪)
 3月31日 運動場拡張のため東南の隣接地を1942坪買収する。

〈世の中の出来事〉

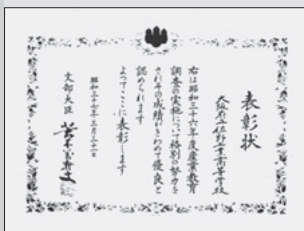
- 4月1日 日本学校安全会大阪支部発足。
 6月4日 全国商工団体連合会加盟の2万店、安保条約に反対リスト。
 8月25日～9月11日 第17回オリンピック、ローマ大会。
 10月1日 第9回国勢調査。大阪府550万人、大阪市301万人。
 2月15日 岸和田北港臨海工業地帯埋め立て始める。
 ●即席ラーメンなどインスタント時代。



体育館

1961 (昭和36)年度

- 4月1日 内田禮次郎校長就任。(第7代)
3月31日 産業教育優良校として文部大臣より表彰される。



第7代校長 内田禮次郎

〈世の中の出来事〉

- 4月25日 大阪環状線全線開通。
8月1日 西成区で群衆2000人と警官隊衝突。
9月16日 第2室戸台風、風速50.6m/s。
スキー客100万突破。



中庭保健室

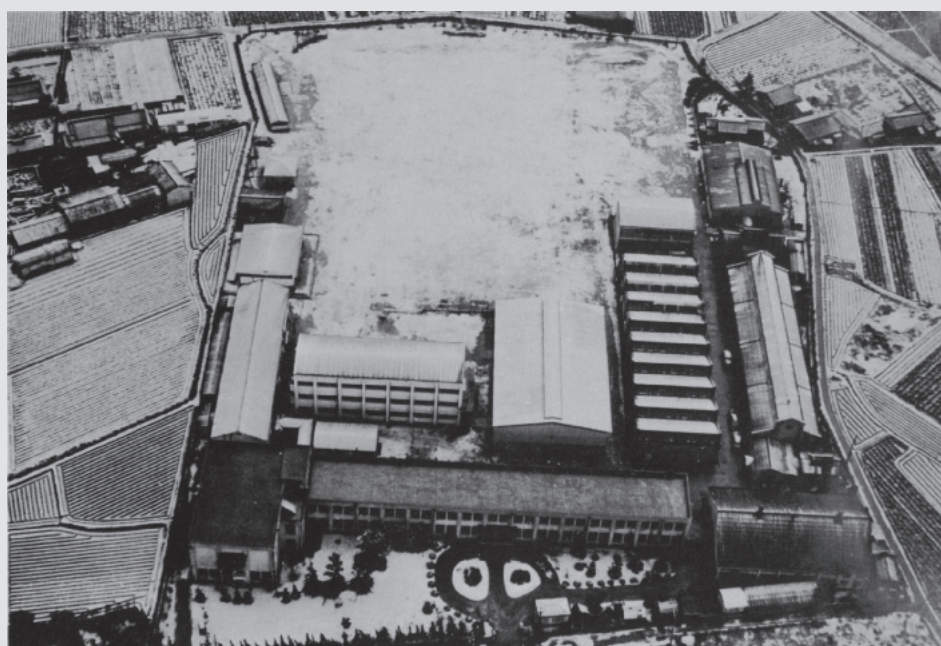
1962 (昭和37)年度

〈世の中の出来事〉

- 5月24日 ソ連宇宙飛行士ガガーリン大阪プールに来る。
10月 キューバ危機。
11月2日 千里ニュータウンまちびらき。
1月29日 大阪府スモッグ情報第1号。
●ツイスト流行。



剣道場



1963 (昭和38)年度

4月1日 大阪府教育委員会規則の改正により紡織科を繊維工業科と改称する。

繊維工業科1学級増で3学級となる。

2月22日 運動場内の民有地を買収する。

2月29日 便所70.3㎡、渡り廊下122㎡竣工。

3月31日 鑄造実習工場21.1坪竣工。

〈世の中の出来事〉

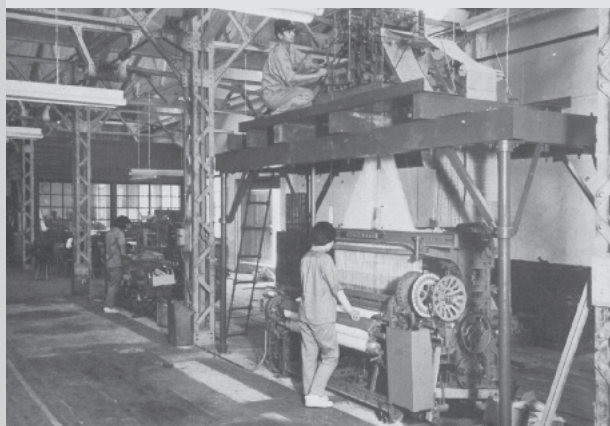
4月1日 大阪府立工業専門学校開校。

4月23日 第40代知事に左藤義詮氏。

11月9日 三池炭鉱ガス爆発458人死。

プロパンガス利用家庭、都市ガスを上回る。

11月29日 梅田の地下センター開業。



紋タオル織機



電気計測実験

1964 (昭和39)年度

4月1日 杉本公文校長就任。(第8代)

〈世の中の出来事〉

6月20日 大阪駅前から市電消える。

7月8日 長居陸上競技場完成。京大熊取原子炉開所。

10月1日 東海道新幹線開通。

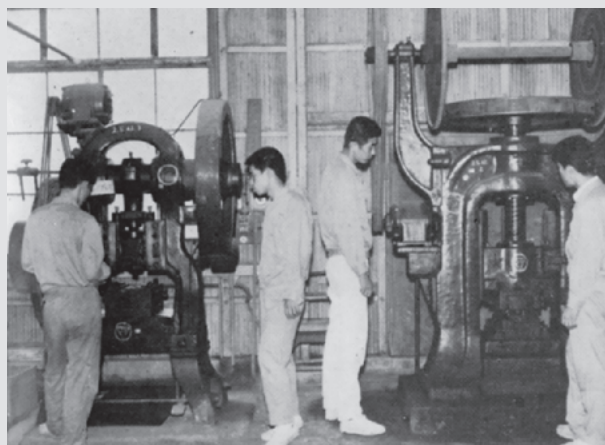
10月10日～24日

第18回オリンピック、東京大会。

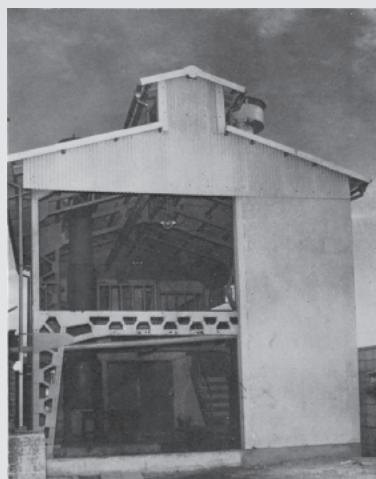
2月7日 アメリカ、北爆本格化。



第8代校長 杉本公文



鑄造実習



鑄造工場

1965 (昭和40)年度

11月13日 佐工会館竣工。(291.99㎡)

11月18日 創立40周年記念式典を行う。

〈世の中の出来事〉

6月12日 家永三郎教授、教科書訴訟おこす。

10月 1日 第10回国勢調査。府665万人、市315万人。

10月21日 朝永振一郎氏にノーベル物理学賞。

11月19日 戦後初の国債発行。

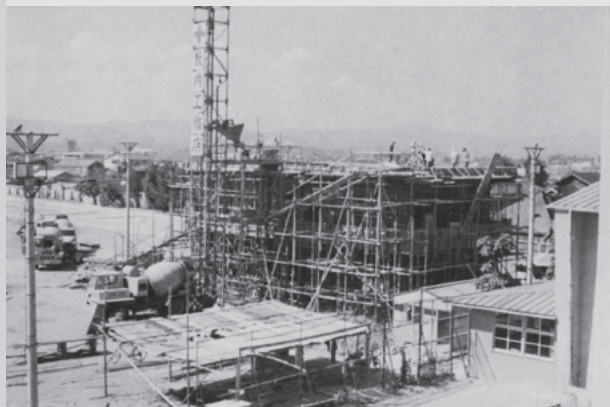
この年、中卒者のうち高校進学70%をこえる。

3月31日 泉北ニュータウン着工。

●日本の人口1億人を超える。



佐工会館地鎮祭



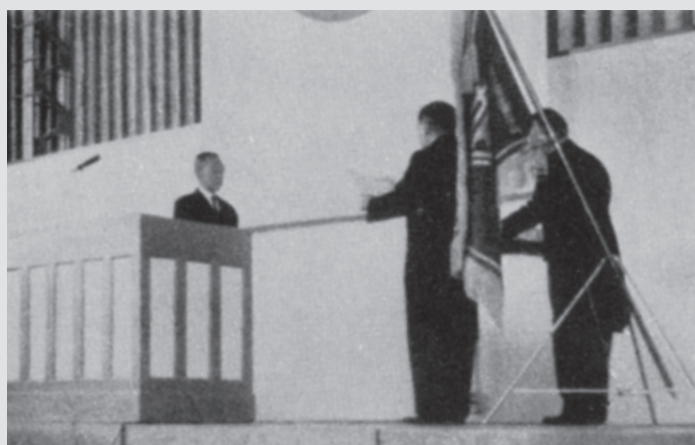
工事中の佐工会館



佐工会館竣工



創立40周年記念誌



創立40周年記念式典

1966 (昭和41)年度

- 4月1日 丸山賢三校長就任。(第9代)
12月30日 ハンドボール世界選手権大会に青木義男
教諭参加する。ルーマニア、フィンラン
ド、フランス等を転戦。

〈世の中の出来事〉

- 5月28日 西成区で5000人の群衆さわぐ。
6月21日 再び1500人の群衆さわぐ。
10月10日 第1回体育の日。ひのえうま、出生136万人。
3月15日 万国博覧会の会場起工式。



第9代校長 丸山賢三

1967 (昭和42)年度

- 4月1日 定時制に自動車科を設置する。
5月20日 プール竣工。

〈世の中の出来事〉

- 4月1日 南海線トラックと衝突、5人死亡、196人負傷。
4月15日 東京都知事に美濃部亮吉氏。
GNPでアメリカ・西ドイツについて第3位となる。
4月23日 第41代知事に左藤義詮氏。
7月24日 南海線箱作駅で列車衝突、93人負傷。
1月18日 南海線天下茶屋駅で列車衝突、239人負傷。
●ミニスカート流行。



自動車科

1968 (昭和43)年度

〈世の中の出来事〉

- 4月12日 霞ヶ関ビル完成。
10月12日～27日 第19回オリンピック、メキシコ大会。
10月17日 川端康成氏にノーベル文学賞。
12月10日 東京府中で3億円強奪。この年116の大学で紛争。
1月19日 安田講堂の封鎖を解除。
3月31日 大阪市電が完全に消える。
●ラジカセ商品化。



施工したプール



定時制



機械実習室

1969 (昭和44)年度

- 11月20日 定時制自動車科実習工場竣工。
3月28日 機械科実習工場竣工。(782.1㎡)

〈世の中の出来事〉

- 7月20日 人類初めて月に立つ、アポロ11号。
1月11日 大阪市内の主な道路一方通行。
3月6日 虹の町開業。
3月15日 万国博開催、77ヵ国参加6421万の観客。
近鉄、なんば乗り入れ。
●2ドア冷凍冷蔵庫発売。

1970 (昭和45)年度

- 3月17日 機械科実習室第2期工事竣工。(1064.3㎡)
4月1日 芳本利次校長就任。(第10代)
3月10日 第3期工事機械科、繊維工業科実習室竣工する。

〈世の中の出来事〉

- 4月8日 天神橋筋6丁目ガス爆発79人死亡、420人負傷。
10月1日 第11回国勢調査、府762万人 市298万人。
泉北ニュータウン完成。
11月25日 三島由紀夫自殺。
2月12日 大阪駅前第1ビル完成。
●マイカー4世帯に1台。



第10代校長 芳本利次



地鎮祭



実験棟建設中

1971 (昭和46)年度

〈世の中の出来事〉

- 4月23日 第42代知事に黒田了一氏。
8月9日 羽衣学園で光化学スモッグ。
8月28日 円が変動相場制となる。
●ボウリング人口1000万人。
3月15日 山陽新幹線開業。
3月15日 エキスポランド開園。
3月21日 高松塚古墳壁画発見。

1972 (昭和47)年度

〈世の中の出来事〉

- 4月16日 川端康成氏自殺。
5月13日 千日前デパート火災118人死亡。
8月26日～9月10日 第20回オリンピック、ミュンヘン大会。
9月29日 日中国交回復。
10月28日 上野動物園へパンダ2頭。
●列島改造 土地ブーム。



登校風景



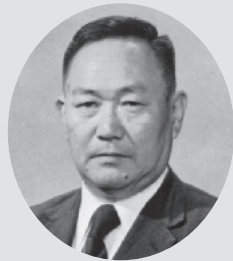
食堂風景

1973 (昭和48)年度

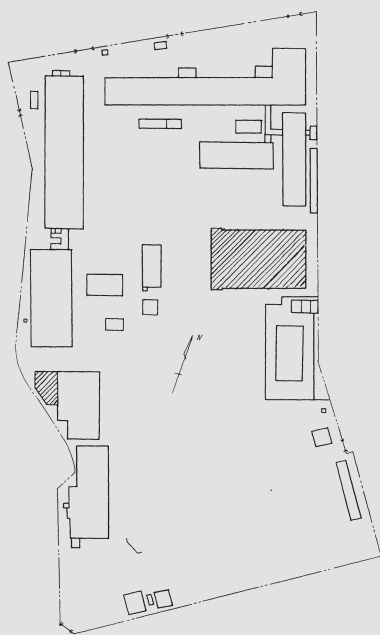
- 4月1日 岡川正一校長就任。(第11代)
必修クラブ始まる。
7限授業完全に廃止。
- 10月1日 ガス溶接技能講習指定教習機関として、大阪労働基準局長より指定を受ける。以後、毎年講習を実施、S59年度までに1054名受講。
- 3月30日 自動車実習室(シャシ実習室)増築工事竣工。

〈世の中の出来事〉

- 8月 琵琶湖40年ぶりの渇水、浜寺プール閉鎖。
8月8日 金大中事件。
10月17日 石油危機が強まる。洗剤、トイレトペーパー買い占め。
10月23日 江崎玲於奈氏にノーベル物理学賞。
●書店の大型化。



第11代校長 岡川正一



昭和48年当時の校舎配置図

1974 (昭和49)年度

- 9月15日 新体育館竣工。(2304.4㎡)

〈世の中の出来事〉

- 8月13日 関西新空港は、泉州沖が望ましいとの答申出る。
10月25日 阪和自動車道開通。(阪南～海南)
3月10日 新幹線岡山～博多間開業。
●内ゲバ深刻化。



体育館外観



バレーボール招待試合

1975 (昭和50)年度

10月13日 仮設体育倉庫10.0㎡、自転車置き場82.4㎡
竣工。

10月14日 4階校舎1781.29㎡、渡り廊下91.98㎡竣工。

11月7日 50周年記念式典。

〈世の中の出来事〉

4月23日 第43代知事に黒田一氏。

10月1日 第12回国勢調査、府827万人 市277万人。

11月27日 大阪高裁夜9時以降の発着を禁止、判決。
大学生200万人突破進学率34.2%。

2月4日 ロッキード事件あかるみに出る。

3月22日 大阪市公安局認定患者1万人こえる。



4階校舎



50周年記念式典



創立50周年記念誌



1976 (昭和51)年度

4月1日 若狹豊顕校長就任。(第12代)

8月31日 特別教室棟竣工。

〈世の中の出来事〉

7月17日～8月1日

第21回オリンピック、モントリオール大会。

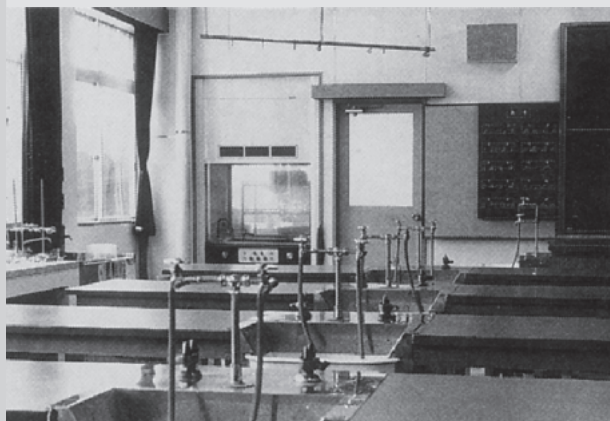
7月27日 田中角栄前首相を逮捕。

●戦後生まれ 人口の過半数。

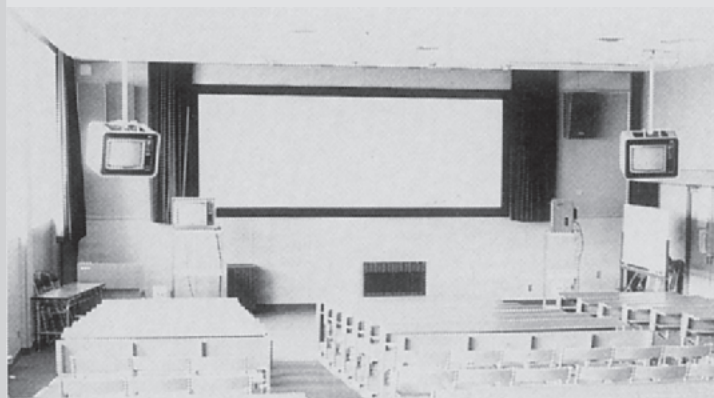
●女子パートタイマー 192万 1980年 256万。



第12代校長 若狹豊顕



視聴覚教室



化学実験室

1977 (昭和52)年度

7月9日 教職員泉南支部バレーボール大会で優勝。

3月31日 本館1階改修工事竣工。

〈世の中の出来事〉

6月6日 泉州沖に観測塔着工。

9月3日 王貞治選手756号ホームラン。

11月15日 千里に国立民族学博物館完成。

●平均寿命 男72.69才 女77.95才。

1978 (昭和53)年度

8月6日 教職員ハンドボールチーム深日発→小松島→高知→宮崎へ遠征

8月9日 宮崎市で山梨県チームを29対25で破る。

〈世の中の出来事〉

4月6日 サンシャイン60池袋に完成、60階240m。

11月 なんば CITY 開業。

1月13日 国公立大学共通一次テスト初めて行われる。

●円高ピーク、1ドル175円。



校舎配置図

1979 (昭和54)年度

- 4月1日 定時制課程、機械科と繊維工業科のくくり募集となる。
- 6月29日 集中豪雨で南海線泉佐野～尾崎間不通のため休校。
- 7月8日 教職員組合泉南支部バレーボール大会優勝。
- 9月1日 府教委に電気科設置の上申書提出。
- 10月19日 台風20号白浜付近に上陸、休校。
- 1月9日～13日 2年生修学旅行。これまで九州や東北地方の観光であったものを信州志賀高原熊ノ湯でのスキーに変える。
- 3月28日 プール濾過設備改修、実習棟前の便所竣工。

〈世の中の出来事〉

- 4月8日 大阪府知事選挙 岸179万 黒田167万。
- 5月10日 新空港のアセスメント開始。
- 9月1日 第2阪和国道、岸和田ルート開通。
- 口裂け女の流行語。インベーダーゲーム。

1980 (昭和55)年度

- 7月6日 教職員組合泉南支部バレーボール大会で優勝。
- 11月9日 教職員組合大阪府バレーボール大会で準優勝。
- 2月2日 教頭岡本勝之氏死去、後任、綿田哲雄氏就任。
- 3月31日 本館2階改修工事竣工。

〈世の中の出来事〉

- 7月19日～8月3日 第22回オリンピック、モスクワ大会。アメリカ・日本は不参加。
- 10月1日 第13回国勢調査 府847万 市264万人。
- 10月5日 山口百恵、芸能界を引退。
- 11月4日 王貞治選手現役引退。
- 2月23日 ローマ法王ヨハネ＝パウロ2世が初来日。



2年生修学旅行 熊ノ湯ゲレンデ

上 申 書 昭和54年9月 日 大阪府教育委員会教育長 樹 居 学 殿 大阪府立佐野工業高等学校 学 校 長 若 扶 豊 願 電気科設置についての上申 大阪府ならびに大阪府教育委員会御当局におかれましては、かねてより本校の教育環境の整備充実について格別の御尽力を賜わり深く感謝いたしております。 さて本校は、大正14年4月開校になる創立以来54年の輝かしい歴史をもつ府立第3番目の工業高校であり、設置学科は全日制に繊維工業科と機械科、定時制に繊維工業科、機械科、自動車科があります。この54年間に泉州の地は勿論のこと、全国各地に10,000有余名の卒業生を送り出してあり、各分野で存分に活躍しております。	しかし近年職業高校の基盤も変わり、社会的変化により爆発的な教育熱、高校進学率の高まりの渦中で、本校への進学希望者も年々増加の傾向にあり、また志望学科の多様化の兆しがみられます。 先に述べましたとおり、本校全日制は繊維工業科と機械科の2科しかなく、潜在的な多様な学科志望に応じきれない状況となっております。特に全日制の電気科設置について、地元中学校側は勿論、産業界、同窓会等からの強い要望が相ついであります。 これらの地元の要望に応え、本校における工業教育の同一層の充実発展のために下記事情を御覧察の上、全日制の電気科設置について格段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。 記 1. 才9学区には工業高校は本校1校であります。特に電気	科志望の地元中学卒業生は、遠く才8学区、才6学区の工業高校に進学している実情であり、中学校からの電気科設置の要望も高まっております。 2. 地元産業界は勿論、府下一円の本校への求人会社等からも電気科卒業生の求人希望が多い実情であります。 3. 卒業生の進路状況をみても、多様化の傾向にあり、電気関係職種への就職者も可成りあります。 4. 本校卒業生の同窓会組織である佐工会から、かねてより電気科設置について強い要望があります。 5. 全国的に工業高校の設置学科をみても殆どどの学校に電気科は設置されています。 6. 将来展望としてみた場合、この南部泉州地方には、巨大プロジェクトの計画もあり、このことに関連して地元泉州地方の飛躍的發展が予想されます。これに伴い工業高校卒業生なかんづく電気技術者の需用も大いに期待できる明るい見通しがあります。
---	---	---

電気科上申書

1981 (昭和56)年度

5月6日 春の遠足、神戸ポートピア。



神戸ポートピア

〈世の中の出来事〉

- 7月21日 千代の富士関が横綱昇進。
- 8月22日 台湾旅客機が墜落、日本人18人死亡。
- 10月16日 北炭夕張新鉱ガス惨事、93人犠牲に。
- 10月19日 福井謙一氏にノーベル化学賞。

●死因の1位、ガン。



工事中の電気科棟

1982 (昭和57)年度

7月11日 教職員組合泉南支部 バレーボール大会
優勝。

9月24日 雨のため体育祭27日延期。

11月3日 石田健一氏剣道 (S41卒) 日本一。

2月28日 電気科実習棟竣工。

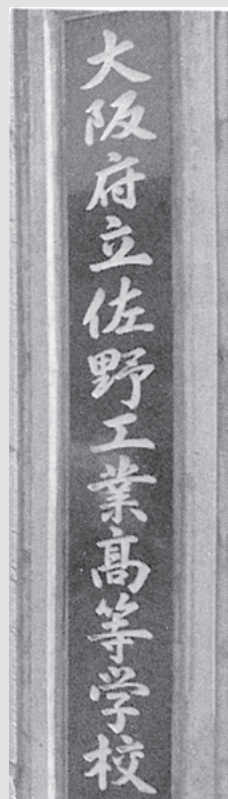
〈世の中の出来事〉

- 8月 侵略の記述をめぐり、教科書問題表面化する。
- 8月2日 台風10号、集中豪雨。
- 8月20日 ダイセル爆発事故。
- 11月15日 上越新幹線が開業。
- 2月8日 ホテル・ニュージャパン火災惨事。
- 2月9日 羽田沖で日航機墜落。

●パンツ・ルック流行。



朝日新聞より



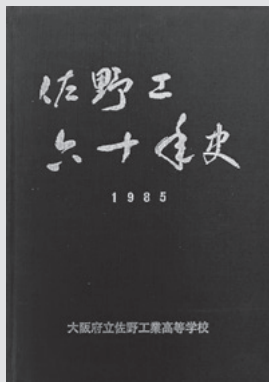
吉田静二氏筆

1984 (昭和59)年度

1月19～23日 2年生修学旅行スキー。

〈世の中の出来事〉

- 5月 NHK 衛星テレビ放送試験開始。
- 7月 第23回ロサンゼルスオリンピック日本金10獲得。
- 11月1日 新札発行。
- 2月12日 植村直己、マッキンリー登頂後に消息絶つ。
- 3月18日 江崎グリコ社長誘拐事件。
- 3月 科学万博9月まで。



創立60周年記念誌

1985 (昭和60)年度

- 4月1日 定時制課程繊維工業科募集停止。
T科2、M科4、E科2、3学年24学級となる。
- 7月7日 教職員バレー泉南支部で優勝。
- 11月8日 本校創立60周年記念式典行われる。
- 3月31日 定時制課程繊維工業科廃止。

〈世の中の出来事〉

- 4月1日 NTT・日本たばこ産業発足。
- 6月 淡路島鳴門間に大鳴門橋開通1629メートル。
臨時教育審議会第1次答申日。
- 8月 初の日本人宇宙飛行士毛利衛氏選ばれる。
- 8月12日 日航機123便墜落死者520人。
- 9月 メキシコで大地震 M8.1 死者9500人以上。
- 9月1日 タイタニック号発見。
- 9月11日 ロス疑惑の三浦容疑者逮捕。
- 9月28日 TBS テレビ「8時だヨ！全員集合」が終了。
- 10月 文部省初の「いじめ」全国調査、急増判明。



創立60周年記念式典



1986 (昭和61)年度

4月1日 昭和62・63年度文部省高等学校教育課程研究指定校に指定される。

〈世の中の出来事〉

- 4月 ソ連チェルノブイリ原子力発電所で大規模な事故発生。
- 4月1日 男女雇用機会均等法施行。
- 6月19日 ベトナムの二重体児、治療のため来日。
- 9月 社会党委員長に土井たか子氏当選、初の女性党首。
- 11月21日 三原山、209年ぶり大噴火。

1987 (昭和62)年度

〈世の中の出来事〉

- 4月1日 新生JRスタート。
- 6月13日 衣笠祥雄、連続出場世界新記録樹立。
- 7月17日 石原裕次郎氏死去。
- 10月 米マサチューセッツ工科大学教授の利根川進、ノーベル生理学・医学賞受賞。
- 12月 東京外為市場1ドル=122円。
- 3月 世界最長青函トンネル開業、青函連絡船終わる。

1988 (昭和63)年度

4月1日 小林謙三校長就任。(第14代)

〈世の中の出来事〉

- 4月10日 瀬戸大橋開通。
- 6月18日 リクルート事件発覚。
- 6月20日 牛肉・オレンジの輸入自由化が決定。
- 9月17日～10月2日。第24回オリンピック、ソウル大会。
- 1月 昭和天皇崩御87歳。昭和天皇大喪の礼。
- 2月22日 吉野ヶ里に環濠集落跡。
- 3月 フィギュアスケート世界選手権で伊藤みどり金メダル。



第14代校長 小林謙三

1989 (平成元) 年度

11月23日 昭和62・63年度文部省高等学校教育課程研究発表会本校で実施。

〈世の中の出来事〉

- 4月1日 消費税スタート。
- 6月24日 美空ひばりさん死去。
- 9月29日 千代の富士関に国民栄誉賞。
- 11月9日 ベルリンの壁崩壊。
- 1月13日 第1回大学入試センター試験実施。



文部省研究発表資料集

1990 (平成2) 年度

4月 特別実習装置 LAN システムが電気科実習棟に設置。全国高校初繊維工業科島精機製ジャガード編機設置。

7月21日 中学生1日体験入学実施。

〈世の中の出来事〉

- 10月 東西ドイツ統一。
- 11月 90年の海外渡航者1000万人突破。
- 12月 91年度政府予算案総額70兆3474億円。
- 3月 日本高野連神奈川朝鮮中高級学校申請で公式試合参加を認める。



LAN 実習室

1991 (平成3) 年度

4月1日 繊維工業科をテキスタイル工学科に改編。全国工業高校初テキスタイル工学科島精機製コンピューターグラフィック装置設置。

テキスタイル工学科学園祭でファッションショー開く。

7月21日 中学生1日体験入学実施。

〈世の中の出来事〉

- 5月14日 滋賀県信楽高原鉄道普通列車と JR 西日本快速列車衝突42人死亡。
- 6月 長崎県雲仙普賢岳大規模な火砕流発生。
- 12月 衆議院本会議 PKO 協力法案可決。
- 1月 大学入試センター試験始まる。



校内ファッションショー

1992 (平成4)年度

- 4月1日 重森治校長就任。(第15代)
- 7月21日 中学生1日体験入学実施。
- 9月 機械科 CAD システム実習装置設置。
- 10月10日 テキスタイル工学科 '92朝日ソーラーカーラリー初出場。
- 11月28日 第1回大阪府立実業高等学校生徒作品発表大会全定全科参加出品。
- 3月 全国工業高校初テキスタイル工学科電子ジャガード付エアージェット織機設置。
- 3月31日 定時制繊維工業科を廃止。

〈世の中の出来事〉

- 6月 環境と開発に関する国連会議(地球サミット)リオデジャネイロで開幕。
- 7月25日～8月9日 第25回オリンピック、バルセロナ大会。
水泳200メートル平泳ぎ岩崎恭子金メダル。



ソーラーカー



機械科 CAD システム実習

- 9月12日 宇宙飛行士毛利衛を乗せたスペースシャトル(エンデバー) 打上げ。
学校週5日制 月1回実施。
- 1月 山形県新庄市の中学1年生、体育用マットの中で死んでいるのを発見される。
- 2月 文部省事務次官通達「中学校から業者テストを排除するよう」



第15代校長 重森 治



生徒作品発表大会



電気科実習

1993 (平成5) 年度

- 4月1日 定時制課程定通併修による3年制導入。
- 7月 大阪府立実業高等学校総合体育大会定時制の部総合優勝。
- 7月21日 中学生1日体験入学実施。
- 9月23日 テキスタイル工学科エコエナジー OSAKA '93ソーラーカーレースに出場。



定時制ソーラーカー

定時制自動車科デザイン賞受賞。

- 11月 第3回全国産業教育フェア富山テキスタイル工学科ソーラーカー展示。
- 12月4日 第1回大阪府産業教育フェア。学園祭で生徒によるファッションショーを行う。
- 1月 機械科空気圧自動制御実習装置設置。
- 2月 機械科レーザ加工機実習装置設置。
- 3月 機械科CNC旋盤実習装置設置。

〈世の中の出来事〉

- 12月 世界遺産委員会が、屋久島、白神山地(青森・秋田)、法隆寺地域の仏教建造物、姫路城を世界遺産に決定。



平成5年 文化祭

産業教育は今

②

スベチャリストを夢見て (1)

感性豊かなデザインが目玉の佐野工高オリジナル・ファッションショー。

女子生徒は負けず、男子生徒も頑張った。苦手なミンがけだつて慣れれば簡単、「チルだつて僕たちにまかせよう」。

恒例、秋の文化祭メインイベントの一つである。府立佐野工業高校(般島優治校長)は、繊維産業の町・泉佐野市に立地する伝統校。同校・紡織科の歴史は古く、これまで多くの織物・編物技術者を輩出してきた。

現在は「テキスタイル工学科」と名称を改めて、織物技術から新素材・エレクトロニクス技術、アパレルデザインまで、幅広く繊維産業全般を学習している。

ファッションショーは同学科の課題研究として、およそ八力月かけて準備を行い、昨年十一月に催された。もう五回目を数える。四月、スタイル画と呼ばれ

男子もがんばる

オリジナル ファッションショー

多デザインを描くころからスタートした。生徒たちは最初、イメージ通りの服を作れたらうかと不安だったよつです」と、同学科の普通科教師、確かに出はたいへんだった。

工業系の同校は男生徒が圧倒的に多い。だからファッションショーも、制作者人のうち三人は男子。女の子の

楽しい制作風景が目に浮かぶ。普通科教師は作る喜びを実感してくれたのでは……と。そしてショーは大成功。奇抜なラッパボンや袖がシ

スルになった白のドレスなど。男女生徒自らモデルとして舞台上がり、総数二五名の個性あふれるファッションがスポットライトをあびた。

男の子も堂々とステージへ(佐野工高)

六番も制作した吉田和美さんは「普段でも着られる服をデザインしました。作るのが好きなので……」と話す。グリーンのワンピース、襟元にあしらったフアアがとてもかわいい。春から、某織物会社で働く予定。やりたい仕事ができる、笑顔を見せた。

亀崎順くんはまる花を散りばめたような可憐なドレスを制作。このほかにもパンツやスーツ等四点、器用な男の子である。同学科で学んだことを生かして、彼も卒業後は織物関係の会社へ進み、ショーはたいへんだったと、楽しかった。いつか僕のデザインした服が街で見られるようになれば嬉しい。

佐野工高ファッションショーは、生徒一人ひとりに様々な想いを教えてくれたようだ。

六番も制作した吉田和美さんは「普段でも着られる服をデザインしました。作るのが好きなので……」と話す。グリーンのワンピース、襟元にあしらったフアアがとてもかわいい。春から、某織物会社で働く予定。やりたい仕事ができる、笑顔を見せた。

亀崎順くんはまる花を散りばめたような可憐なドレスを制作。このほかにもパンツやスーツ等四点、器用な男の子である。同学科で学んだことを生かして、彼も卒業後は織物関係の会社へ進み、ショーはたいへんだったと、楽しかった。いつか僕のデザインした服が街で見られるようになれば嬉しい。

佐野工高ファッションショーは、生徒一人ひとりに様々な想いを教えてくれたようだ。

1994 (平成6)年度

- 4月1日 機械科、電子機械科に学科改編。
本館改築工事計画案出来る。(山本事務長
奔走)
- 9月 学校開放講座パソコン入門開講。
- 9月6日 中学生1日体験入学。
- 10月9日 テキスタイル工学科ソーラーカーラリ
出場。
- 11月26日 第2回大阪府産業教育フェア。



ソーラーカー

- 3月31日 仮設校舎着工。

《世の中の出来事》

- 6月 長野県松本市の住宅街で猛毒神経ガス「サリン」中
毒事件発生。
- 7月8日 日本人女性初宇宙飛行士向井千秋が乗ったスペース
シャトル打ち上げ。
- 9月4日 関西国際空港開港。
- 11月 愛知県西尾市中学2年生いじめを苦に自殺、いじめ
問題再び社会問題化。
- 1月17日 阪神淡路大震災死者約6400名。
- 3月20日 都内営団地下鉄、車内でサリン事件発生。



機械科 MC

廃品利用でコストを抑えた愛車
「SANOTEX」と生徒たち

ソーラーカー
鈴鹿を駆ける

□7□

知恵絞り低コスト化

製作費は十数万。研究開
発に十億円かける企業チ
ームがあったり、プライベ
ーターでも数百万円台は普通
という状況の中で、けた違
いに安い。

まずはソーラーパネルとモ
ーターを、別の大会の主催
者から譲り受けた。さらに
ハンドルやシートベルトな
どは自動車から、タイヤは
軽量化には苦労した。壊
れるか、勝てるかのギリギ
リのラインで車体重量は
いる。

1300ccに絞り込んだ、ア
ルミを溶接する技術がな
く、ネジ止めるという原
始的な方法もとった。

指導者の山田啓次監督は
「未知の分野に積極的に挑
み、試行錯誤しながら完成
させる喜びを知ったことが
大きな収穫です」と話して
いる。

大阪府泉佐野市「COSMOクラス

ゆづかんSPORTS

1995 (平成7)年度

- 4月1日 鮫島俊治校長就任。(第16代)
- 5月 狭いグラウンドで体育祭決行。
グラウンド使用クラブ末広公園併用。
- 7月 仮設校舎クーラー入りで授業。
- 7月4日 本館新築工事着工。
- 8月 鈴鹿ソーラーカーレース初出場。
- 9月 中学生1日体験入学。
学校開放講座パソコン入門開講。
- 9月9日 エコ・エナジー OSAKA'95準優勝。
- 9月25日 泉佐野市教育委員会の招待で中国上海徐
区第2中学教育代表団が本校見学。
- 10月28日 第3回大阪産業教育フェア。

〈世の中の出来事〉

- 4月 東京都知事青島幸男氏、大阪府知事横山ノック氏当
選。
学校週5日制 月2回実施。
- 5月1日 環境庁が人工ふ化中のトキの卵5個はふ化の可能性
なしと発表。日本のトキ絶滅が確定。
- 5月16日 オウム真理教の麻原彰晃教祖を地下鉄サリン事件の
殺人容疑で逮捕。
- 6月21日 全日空機ハイジャック。
- 7月 ドジャースの野茂英雄投手米大リーグで活躍。



第16代校長 鮫島俊治



創立70周年記念誌

1996 (平成8)年度

- 4月1日 定時制課程に普通科2クラス設置。
- 7月4日 新本館完成3年生使用。
- 9月 中国上海市から工業技術研修生3名受け
入れ。
- 11月2日 70周年記念式典挙行。
- 3月 電気科 ANC (波形解析) システム実習装置
導入。
定時制課程3年制最初の卒業式。

〈世の中の出来事〉

- 5月31日 2002年サッカーW杯、日韓共同開催決定。
- 7月 堺市でO-157による集団食中毒
- 7月12日 チャールズ英皇太子とダイアナ妃の離婚が正式に発
表。
- 8月17日 国産初の実用H2ロケット打ち上げ成功。
- 9月17日 野茂投手大リーグでノーヒットノーラン。
- 2月23日 英で世界初のクローン羊誕生の成功が判明。



70周年記念式典



1997 (平成9)年度

12月 定時制韓国修学旅行始まる。

〈世の中の出来事〉

- 4月1日 消費税5%スタート。
- 6月28日 神戸の小6男児殺害事件で14才少年逮捕。
- 7月1日 香港が中国に返還。
- 7月29日 ホステス殺人の福田容疑者、時効直前逮捕。
- 8月31日 ダイアナ元英皇太子妃死亡。
- 2月 長野五輪開催、日本「金」5個。

1998 (平成10)年度

- 4月1日 石岡信吾校長就任。(第17代)
- 7月 鈴鹿ドリームカップソーラーカーレース
鈴鹿市長賞・タイムアタック賞。(定時制)
- 8月29日 ソーラーカーエコエナジー OSAKA にて
リサイクル賞受
賞。(テキスタイル
工学科)
- 3月9日 4階校舎棟内部改
修工事竣工。



第17代校長 石岡信吾



ソーラーカー

〈世の中の出来事〉

- 4月5日 明石海峡大橋が開通。
- 5月27日 若乃花、連覇で初の兄弟横綱誕生。
- 7月25日 カレーにヒ素混入、4人死亡。
- 7月30日 小淵内閣が発足。
- 1月1日 欧州で単一通貨ユーロが始動。
- 1月31日 プロレスラー、ジャイアント馬場死去。
- 2月28日 移植法施行後初の脳死移植生体臓器摘出へ。(心臓・
肝臓・腎臓)

1999 (平成11)年度

4月 ものづくり・夢づくり支援事業始まる。



8月 CAD室更新。(電子機械科)

8月30日 仮校舎棟撤去。

〈世の中の出来事〉

- 7月23日 羽田発千歳行き全日空機がハイジャック。
- 8月12日 改正住民基本台帳法が成立。
- 9月30日 茨城県・東海村の核燃料工場で国内初の臨界事故発生。
- 11月22日 沖縄県、米軍普天間基地の移転先を名護市に決定。
- 12月20日 ポルトガル領マカオが中国に返還される。
- 2月6日 大阪府知事選挙 太田房江氏当選。

2000 (平成12)年度

9月24日 第12回全国ロボット相撲近畿大会佐野工業高校で開催。



11月12日 巨大バウムクーヘンに挑戦。(テキスタイル工学科)

2月 旋盤(2台)更新。(電子機械科)

〈世の中の出来事〉

- 7月21日 沖縄サミット。
- 9月24日 シドニーオリンピック女子マラソンで、高橋尚子が金メダル。
- 10月10日 白川秀樹氏、ノーベル化学賞受賞。
- 3月31日 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) 開業。

2001 (平成13)年度

- 4月1日 坪内一秋校長就任。(第18代)
グラウンド・プール・テニスコート・中庭の完成。
- 7月 2年生インターンシップ始まる。
- 11月26日 学校特色づくり学校探検。(つばさ幼稚園)
- 12月9日 巨大豆腐に挑戦。(テキスタイル工学科)
- 2月 フライス盤更新。(電子機械科)
LAN システム実習室更新。(電気科)
出前授業始まる。
- 3月 無製版型多色プリントシステムの導入。
(テキスタイル工学科)

〈世の中の出来事〉

- 9月11日 アメリカで同時多発テロ発生。
- 12月1日 敬宮愛子さまご生誕。
- 1月15日 UFJ 銀行が誕生。



第18代校長 坪内一秋



巨大豆腐



中庭

2002 (平成14)年度

- 4月1日 学校完全週休2日制始まる。
- 8月 サイエンスフェスタにリニアモーターカー出展。(電気科)
親と子のものづくり(手づくり電池)教室。
木製ハイブリッドカー製作。(テキスタイル工学科)
- 10月5日 定時制・通信制秋季発表大会工芸の部知事賞受賞。(定時制)
- 11月29日 ソーラーカー第10回高等学校工業科生徒研究成果発表全国コンクール優良賞。(テキスタイル工学科)
- 12月 親と子のものづくり(手づくり電池)教室。
木製ハイブリッドカー製作。(テキスタイル工学科)

〈世の中の出来事〉

- 8月5日 住民基本台帳ネットワークが稼働。
- 10月8日 小柴昌俊氏、ノーベル物理学賞受賞。
- 10月9日 田中耕一氏、ノーベル化学賞受賞。



ソーラーカー

2003 (平成15)年度

- 4月1日 新カリキュラム始まる。
山脇正隆校長就任。(第19代)
完全週休2日制実施。
- 10月 定時制・通信制秋季発表大会工芸の部定通教育振興会賞受賞。(定時制)
- 1月30日 木製ハイブリッドカー第18回毎日DAS高校生デザイン賞特別賞受賞。

〈世の中の出来事〉

- 4月 SARS が世界的に広がる。
- 7月22日 世界水泳選手権で北島康介選手が100メートル平泳ぎ世界新記録。
- 7月25日 世界水泳選手権で北島康介選手が200メートル平泳ぎ世界新記録。
- 9月15日 阪神タイガースが18年ぶりにリーグ優勝。



第19代校長 山脇正隆



木製ハイブリッドカー製作

2004 (平成16) 年度

4月20日 高校教育 NPO (さこうクラブ) 始まる。



さこうクラブ 柔道教室

6月 ものづくりコンテスト大阪大会電気工事部門第3位。(電気科3年)
第2種電気工事士 2学年全員受験(電気科)～H17年。

7月 HR 教室にクーラー稼働

8月17日 オーストラリア国際交流事業本校生徒職員 13名参加。

10月30日 ロボット相撲全国大会出場。(電子機械科)

10月30～31日 木製バイオマス発電装置製作・エネルギー利用コンテスト中小企業庁官賞受賞。(テキスタイル工学科)

11月20日 第1回佐野工科高校展(佐野フェスタ)始まる。

3月6日 巨大寒天製作に挑戦。(テキスタイル工学科)

3月 単結晶育成装置・製版機・ニットデザインシステムおよびホールガーメントの導入。

〈世の中の出来事〉

5月27日 イラクで取材の日本人ジャーナリスト2名殺害。

8月13日 アテネオリンピック開幕。

10月23日 新潟県中越地震。

2005 (平成17) 年度

4月1日 大阪府立佐野工科高等学校と改称。
定時制佐野工科高校総合学科に改編。



4月 電気系電気技術専科電気主任技術者第3種の認定校になる。

5月13日 オーストラリア国際交流事業生徒職員13名来校。

8月26日 なにわっ子みらい適塾実施。

9月3日 巨大ホットドックに挑戦。(テキスタイル工学科)

10月15日 創立80周年記念式典挙行。



創立80周年記念式典

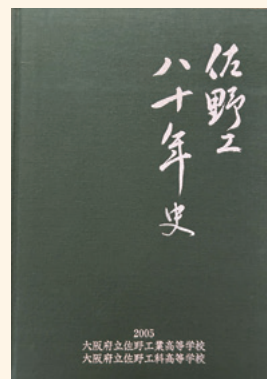
〈世の中の出来事〉

3月25日 2005年日本国際博覧会(愛知万博)「愛・地球博」が開幕。

4月25日 JR 福知山線脱線事故が起こる。運転士含め死者107人・負傷者549人。

7月26日 日本人宇宙飛行士土野口聡一が搭乗したスペースシャトル「デイスカバリー」の打ち上げに成功。

2月10日 トリノ冬季オリンピック開催(イタリア)。



創立80周年記念誌

2006 (平成18)年度

4月1日 竹形英徳校長就任(第20代)

5月9日 平成18年度から平成20年度まで文部科学省「目指セスペシャリスト」に指定される。

7月13日 教室棟竣工する。



第20代校長 竹形英徳

〈世の中の出来事〉

7月5日 北朝鮮が日本海に向けて弾道ミサイル発射。

11月13日 Google がYouTube を買収。



2008 (平成20)年度

4月1日 下野敏幸准校長就任(初代)

11月2日 第18回全国産業教育フェアが大阪で開催

〈世の中の出来事〉

5月12日 中国・四川省で大地震(M7.9)が発生、多数の犠牲者が出る。

6月13・14日 G8財務相会合が大阪で開催。

7月7日 第34回主要国首脳会議(洞爺湖サミット)が北海道で開催。

1月20日 バラク・オバマが第44代米国大統領に就任。



初代准校長 下野敏幸
後に第21代校長

2009 (平成21)年度

4月1日 下野敏幸校長就任(第21代)

上條藤夫准校長就任(第2代)

11月14日 佐野工フェスタ開催

12月4日 おおさかFCV 啓

発キャラバンを
本校で実施

2月12日 出前授業

小学校6年生120

名対象に実施



第2代准校長 上條藤夫
後に第22代校長

〈世の中の出来事〉

5月21日 日本で裁判員制度が正式に開始される。

6月11日 WHO が新型インフルエンザ拡大でパンデミック宣言。

6月25日 マイケル・ジャクソンが急逝。

2010 (平成22)年度

4月1日 上條藤夫校長就任(第22代)

廣實和人准校長就任(第3代)

4月28日 国立水里高級商工職業学校との交流会開催

6月4日 視聴覚行事として古典芸能「カンアミ伝」を鑑賞

7月 2年生を対象にインターンシップ(就業体験)を実施

10月 「ひったくり防止カバー」デザイン提案で地域防犯活動に協力

11月23日 機械系課題研究班によるエコデンレース
充電池部門優勝 バッテリー部門準優勝

12月11日 テキスタイル系課題研究班「プロジェクトT」が特許庁長官賞受賞

2月21日 出前授業(泉佐野市立第二小学校)

〈世の中の出来事〉

6月13日 小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還成功。

9月7日 尖閣諸島付近で中国漁船の衝突事件が発生。日中関係に緊張が走る。

3月11日 東日本大震災が発生(M9.0)。



第3代准校長 廣實和人

2011 (平成23)年度

- 6月3日 視聴覚行事として和太鼓コンサートを鑑賞
- 8月30日 中学生体験入学
- 9～11月 水素化マグネシウムを利用した燃料電池アプリケーションの研究・開発・製作・及び実証実験
- 1月20日 大阪モーターショー出展 (自動車部)

〈世の中の出来事〉

- 4月29日 英国のウィリアム王子とキャサリン妃が結婚式を挙げる。世界中で注目される。
- 10月5日 スティーブ・ジョブズが死去。Appleの未来と影響について議論が広がる。
- 11月26日 NASAの火星探査機「キュリオシティ」が打ち上げられる。
- 1月13日 イタリアで旅客船「コスタ・コンコルディア」が座礁、32人が死亡する事故が発生。
- 2月11日 世界的歌手ホイットニー・ヒューストンが死去。



特許庁表彰状



エコデンレース表彰状



2012 (平成24)年度

- 8月30日 中学生体験入学
- 2月7日 第1回課題研究発表会を泉の森ホールで実施

〈世の中の出来事〉

- 5月22日 東京スカイツリーが開業。世界一の高さを誇る電波塔として注目される。
- 7月27日 ロンドンオリンピックが開催。日本勢が金メダル7個を獲得。
- 9月11日 野田首相が尖閣諸島を国有化。中国との関係が緊張状態に突入。



2013 (平成25)年度

- 4月1日 吉村実准校長就任(第4代)
- 6月28日 実践的キャリア教育の一環としての企業見学会
- 9月30日 第5回ものづくり日本大賞 文部科学大臣賞受賞
- 11月23日 第15回マイコンカーラリー近畿地区大会を本校で実施
- 1月22日 国立釜山機械工業高等学校より教員36名が本校見学
- 2月10日 インド産業・技術訓練学校より教員・政府関係者など40名が本校見学

〈世の中の出来事〉

- 9月7日 東京が2020年夏季オリンピックの開催地に選ばれる。日本中で喜びが広がる。
- 12月5日 南アフリカのネルソン・マンデラ元大統領が死去。追悼が世界中で行われる。
- 3月8日 マレーシア航空370便が消息を絶ち、多国間で捜索活動が展開されるも未解明。



ものづくり日本大賞伝達 上條校長と文科省前川喜平初中局長



第4代准校長 吉村実

2014 (平成26)年度

- 4月1日 阿部政之校長就任(第23代)
- 4月 地域産業連携重点校に指定
- 7月 大規模改修工事本格化
- 8月6日 自転車競技部 山梨インターハイ9位
- 12月 就職一次合格率 府立工科高校 No.1

〈世の中の出来事〉

- 4月1日 日本の消費税率が5%から8%に引き上げられる。
- 12月3日 小保方晴子(理化学研究所)がSTAP細胞論文に関連する問題で正式に辞職。



第23代校長 阿部政之

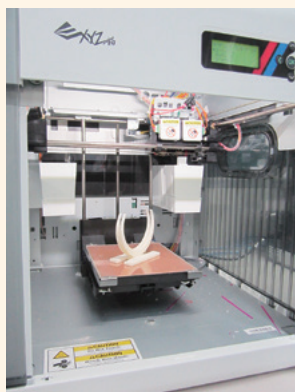


山梨インターハイ

2015 (平成27)年度

4月 テキスタイル系より産業創造系への学科改編

4月1日 3Dプリンターを導入する(産業創造系)



3Dプリンター

7・8月 体育館天井等の耐震工事



耐震工事

10月31日 創立90周年記念式典举行

〈世の中の出来事〉

5月20日 「北海道新幹線」の試験運行が開始。

7月14日 NASAの探査機「ニューホライズンズ」が冥王星の近接撮影に成功。宇宙探査の進展として話題となる。

2016 (平成28)年度

4月1日 山田啓次准校長就任(第5代)

〈世の中の出来事〉

4月14日 熊本地震が発生。最大震度7。

6月23日 イギリスでEU離脱の国民投票が実施。離脱派勝利。

8月5日 リオデジャネイロオリンピック開催。

1月20日 ドナルド・トランプが米国第45代大統領に就任。

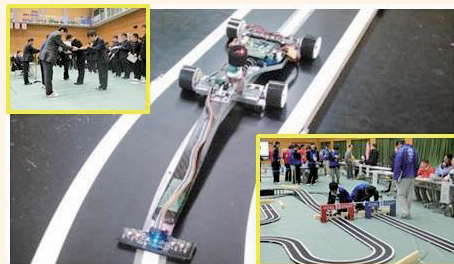


第5代准校長 山田啓次

2017 (平成29)年度

4月1日 山本好男校長就任(第24代)

10月14日 マイコンカーラリー近畿大会準優勝



マイコンカーラリー近畿大会

11月26日 ロボット相撲全国大会 BEST16 (機械工作部)



ロボット相撲全国大会

〈世の中の出来事〉

8月21日 米国全土で約100年ぶりの皆既日食が観測され、多くの人々が注目。



第24代校長 山本好男

2018 (平成30)年度

4月1日 雑賀文彦准校長就任(第6代)

10月14日 ロボット相撲近畿大会 優勝(機械工作部)

12月25日 第33回 毎日・DAS学生デザイン賞 部門賞(空間デザイン部門)受賞(産業創造系)

2月19日 泉佐野市の友好都市である中国成都市新都区「成都市現代製造職業技術学校」より視察



第6代准校長 雑賀文彦

〈世の中の出来事〉

- 4月18日 サウジアラビアで初の映画館が開業。
- 6月12日 初の米朝首脳会談がシンガポールで開催。
- 7月18日 京都で猛暑日が続き、38度以上を記録。
- 1月1日 日本で新しい出入国管理法が施行。外国人労働者の受け入れ拡大。



DAS 受賞

2019 (平成31・令和元)年度

- 12月17日 第1回ロボットアイデア甲子園全国大会「特別賞」
- 12月21日 まちだ未来 高校生ビジネスアイデア・コンテスト2019 最優秀賞(産業創造系)



まちだ未来 高校生ビジネスアイデア・コンテスト2019

〈世の中の出来事〉

- 4月15日 フランス・パリのノートルダム大聖堂で火災。歴史的建造物が大きな損傷を受ける。
- 7月18日 京都アニメーションで放火事件発生。36人が死亡し、日本社会に衝撃を与える。
- 10月1日 消費税率が8%から10%に引き上げ。軽減税率制度も導入され、経済に影響を及ぼす。
- 12月31日 中国湖北省武漢市で新型コロナウイルス(COVID-19)の感染が報告される。以降、世界的なパンデミックにつながる。
- 3月11日 WHOが新型コロナウイルス感染症をパンデミックと認定。各国で緊急対策が始まる。

2020 (令和2)年度

- 4月1日 瀬田浩一郎准校長就任(第7代)
制服の刷新(学ランからブレザーに変わる)



第7代准校長 瀬田浩一郎

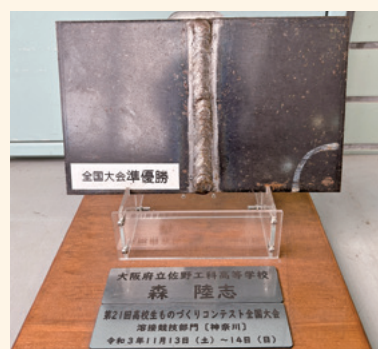
〈世の中の出来事〉

- 4月7日 日本政府が新型コロナウイルスの感染拡大に伴い緊急事態宣言を発令。
- 1月20日 ジョセフ・バイデンが第46代アメリカ合衆国大統領に就任。



2021 (令和3)年度

- 4月1日 松野良彦校長就任(第25代)
- 11月14日 第21回 高校生ものづくりコンテスト全国大会溶接競技部門 準優勝(定時制)



ものづくりコンテスト全国大会

〈世の中の出来事〉

- 7月23日 東京オリンピックが開催。日本は金メダル27個を獲得。
- 11月26日 新型コロナウイルスのオミクロン株が発見される。感染拡大への不安が再燃。
- 2月4日 北京冬季オリンピックが開催。
- 2月24日 ロシアがウクライナに軍事侵攻を開始。



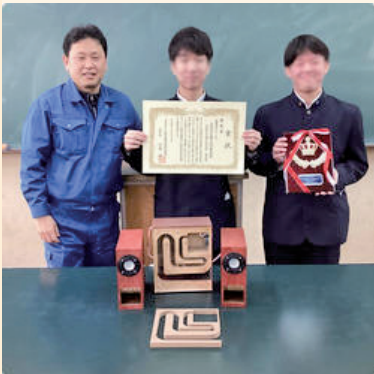
第25代校長 松野良彦

2022 (令和4)年度

- 4月1日 山崎健准校長就任 (第8代)
学年室 (各学年の担任職員室) の設置
2月25日 第19回 高校生技術・アイデアコンテスト
全国大会2位「優秀賞」(制御工学部)



1年 学年職員室



アイデアコンテスト



〈世の中の出来事〉

- 5月6日 スペースXが成功した宇宙ミッションに続き、宇宙観光が注目される。民間宇宙事業の新たなステージへ。
- 7月8日 奈良市で安倍晋三元首相が銃撃され死亡。深い衝撃が国内外に広がる。
- 9月8日 イギリスのエリザベス2世女王が96歳で逝去。70年間にわたる最長の在位期間を終え、チャールズ皇太子がチャールズ3世として国王に即位。



第8代准校長 山崎健

2023 (令和5)年度

- 5月15日 ジャグリングパフォーマー aki 社長 特別講演
Repezen Foxx の DJ 社長 DJ ふおい DJ まる サプライズ登場
11月23日 生成 AI 用 高性能ゲーミング PC 3台を設置 (産業創造系)



生成 AI 用 高性能ゲーミング PC

- 11月29日 不登校生徒対応チーム発足



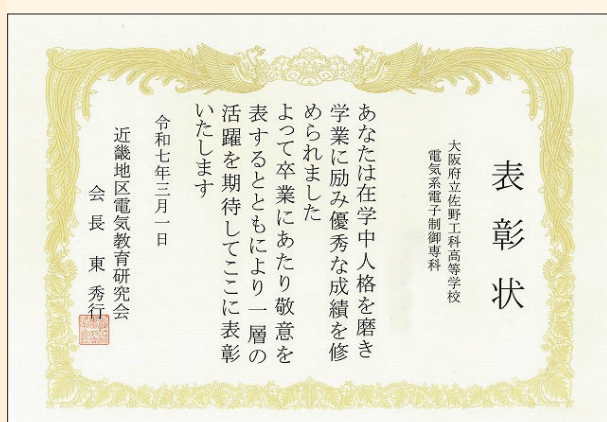
不登校生とのためのヨギボー部屋

〈世の中の出来事〉

- 4月20日 インドが中国を抜き、世界最大の人口を持つ国になるとの国連推計が発表される。
- 5月6日 イギリスでチャールズ3世の戴冠式がロンドンで行われる。エリザベス女王の死後、王室の新時代が始まる。
- 6月5日 ウクライナがロシアに対する反転攻勢を開始。戦場での膠着状態が続く中、戦争は長期化の兆しを見せる。
- 9月10日 G20サミットがインドで開催。世界的な経済問題や気候変動が主要議題となり、中国とアメリカの緊張が注目される。
- 1月1日 能登半島地震が発生。石川県輪島市と志賀町で震度7を観測し、津波が発生。死者が400人以上に上り、広範囲にわたる被害が記録された。

2024 (令和6)年度

- 6月1日 佐野工版レーションがスタート
- 10月21日 中間考査を廃止・チャレンジ週間がスタート
- 10月22日 中国「四川工商職業技術学院」より視察
- 1月16日 韓国大邱市より高校生15名、教員が本校見学・交流
- 3月5日 電気系電子制御専科「近畿地区電気教育研究会」より表彰される



電気系電子制御専科表彰

- 3月19日 創造部 NHK 総合「時論公論」に取材を受ける



創造部 NHK 取材

〈世の中の出来事〉

- 10月11日 核兵器廃絶運動への貢献が認められ、原水爆禁止日本協議会がノーベル平和賞受賞。核廃絶運動への国際的な注目が高まった。
- 1月1日 ISS が民間企業向けに開放され、観光客の宇宙旅行が開始されることで宇宙商業化が進む。

2025 (令和7)年度

- 4月1日 橋本敏和校長就任(第26代)
松野良彦准校長就任(第9代)
不登校対応クラス(7組)始動
定期考査を廃止
- 8月26日 チャレンジ月間スタート



チャレンジ月間

- 11月15日 創立100周年記念式典挙行

〈世の中の出来事〉

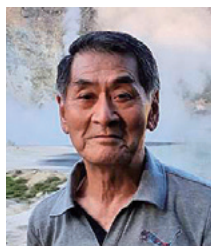
- 4月13日 大阪・関西万博の開幕。
「命をつなぐ未来社会のデザイン」をテーマに、約150カ国・地域が参加し、未来技術や持続可能性が展示される。
- 10月6日 坂口志文氏がノーベル生理学・医学賞受賞。
- 10月7日 アートとテクノロジーを融合させた常設ミュージアムが京都にオープン。
- 10月8日 北川進氏がノーベル化学賞受賞。
- 10月13日 大阪・関西万博の閉幕。
会期:184日間
来場者数:2,557万8,986人
- 10月21日 高市早苗が女性初の総理大臣になる。



第26代校長 橋本敏和



第9代准校長 松野良彦



佐野工科・工業 高等学校 創立100周年！

第20代校長

竹形 英徳

誠に、誠におめでとうございます。

1世紀もの長きにわたって存続したこと自体、凄い歴史であると思います。これまでににかかわったすべての方々に、心よりお祝いと感謝を申し上げます。

さて、2006年4月に20代校長として赴任した直後に感動した思い出が3点あります。

1つ目は、ガラス張りの近代的な4階建ての府下一美しい校舎。

2つ目は、素朴で礼儀正しい生徒たち！

3つ目は、若々しい意欲的な生徒思いの情熱的な教師集団！

更なる思い出は、赴任した年の6月に、文部科学省から3年間のスーパー専門高校の指定校に近畿地区で初めてなったことでした。そのことを全府民・市民に認知してもらうために、校舎屋上に、南海泉佐野駅のホームからはっきりと読めるような、一文字が畳大の大看板を設置したことでした。

そして、「生徒にとって、最大の教育環境は教師自身である」とのスローガンを掲げ、日本一の工科高校を目指そうと強く決意したことでした。

その数年後には、教師集団と生徒の懸命な努力の賜物として文部科学大臣から「ものづくり日本大賞」を授与されたことが「最高の思い出」として胸中深く刻まれています。

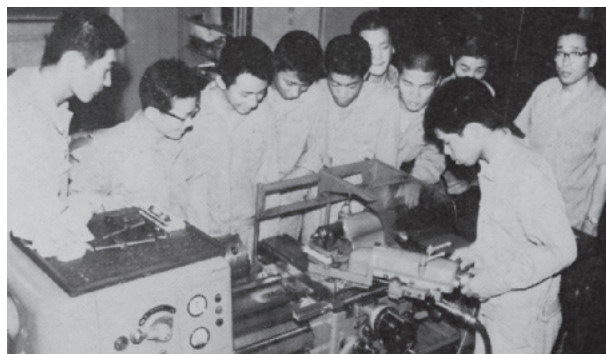


佐野工業高校 定時制の 思い出

1966年3月卒

石垣 進

1960年代は、泉南地域はまだ高度経済成長の真っ只中にあった。そんな中で、他府県出身の生徒と地元の中学校を卒業して入学する生徒が半々であった。地元・他府県出身の生徒を問わず、さまざまな事情で通学していた。自営業の手伝いをしながらの生徒も比較的多かった。英語の教員は全国から集まっているので大学へ行きたい人は別のところで学んでほしいと言われたことがショックであったが、今思うとそれだけ多様性があったのだ。仕事を終えて学校に着くと、うどん15円で、きつねうどんが20円であった。授業の始まる前、5分で食べて授業に出る。朝8時から働いて忙しい一日であるがこのうどんが勉強への切り替えになる。このころ「ああ、上野駅」、定時制高校生のためにつくられた「見上げてごらん夜の星を」などが流行っていた。みんな夢を抱いて、夜空の星のごとく輝いていた。しかしながら、勉強途中でやむなく学校を去って行った友人もいたなあ…。



切削実験



昭和40年 定時制体育授業



野球部での思い出

2004年電気科卒業
硬式野球部 OB 会 会長

辻 哲弥

この度、佐野工科高校が創立100周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

在学時は硬式野球部に所属していましたので、部活動の思い出がたくさんあります。

1年生の時は、校内グラウンドが改修中であつたため、授業終わりにリヤカーを引っ張って末広公園まで道具を運んだことを覚えています。

授業前の朝練、多くの練習試合の経験、最終学年時はキャプテンをさせて頂くなど、色々ありましたが、その中でも一番の思い出は、2年生のときの夏の大会です。

1回戦の私立強豪である柏原高校（東大阪大学柏原高校）との試合です。

試合に出場していましたが、試合序盤の攻撃時に先制点を取った後に大雨が降ってきて試合中断となりました。

大きな水たまりができるくらいの大雨でしたが、座右の銘が真向勝負である佐藤監督が雨は絶対に止む、雨を止めさせると叫びました。

その直後に、雨が止み晴れ間が見えるくらいの天候となりました。

その後は、点差を詰められましたが何とか逃げ切り6対3で勝利しました。



野球部



佐野工でのたくさんの思い出

佐野工科3期生（機械系）

永見 涼輔

はじめまして。3期、卒業生の永見と言います。

佐野工科での3年間は本当に沢山の思い出があります。特に、ものづくりに関しては、普段の授業で知識や、基礎技能を学びながら、クラスの仲間と集まり車をレストアしてみたり、発電機を造ってみたいエンジン造ってみたりと様々な事に挑戦させて頂きました。

また、旋盤の資格取得にむけ放課後や夏休みに猛練習した事もあります。うまくいかない事も多くありましたが、色々な事に挑戦する中で、ものづくりの楽しさ、難しさ、挑戦する事の意味、チームワークなど、様々な事を感じ、成長する事が出来たと感じています。

私は現在、未来のモビリティを開発し、世界中の人々が自由に移動できる豊かな社会を目指して、日々ものづくりに挑戦しています。

そんな今の自分があるのも当時の仲間や、厳しくも、優しさに溢れた先生方のお陰と感謝しています。

この度、思い出溢れる佐野工科高等学校が、100周年を迎えられると聞き、大変うれしく思います。

今後も1人でも多くの方にもものづくりの素晴らしさを伝えていくと共に、学校の益々のご発展をお祈り申し上げます。



実習（18期卒業アルバムより）



佐野工を 堪能しました

佐野工科 7 期生（機械系）

中川 翼

この度は大阪府立佐野工科高等学校創立100周年誠に
おめでとうございます。

私は佐野工科でモノづくりを通じて様々な経験をさせて
いただきました。1 番思い出に残っているモノづくりは
東日本大震災へのボランティアの一環で、廃材でお湯を
沸かす「廃材燃料給湯器」の製作です。

私が入学してすぐに入部した「自動車部」では、顧問の
山田啓次先生のもと様々なモノづくりが行われていまし
た。入部して 1 番最初のモノづくりが廃材燃料給湯器の
製作でした。

このモノづくりは決して簡単なものではありませんで
した。何度も壁に突き当たり、その度に自動車部の合言
葉「やる気・忍耐・行動力」で乗り越えてきました。

そして、完成した廃材燃料給湯器が実際に被災地で使
用されているのを見て、作って良かったという思いだけ
でなく、今まで感じたことがない感情が湧き上がってき
ました。それは私だけでなく部員全員が感じていたこと
を覚えています。

私はこの経験からモノづくりの素晴らしさを知ること
ができました。

佐野工科で経験させていただいたことは今も生きてい
く糧となっております。

佐野工科には次なる100年に向け新たな歴史を作って頂
きたいと思います。さらなる発展を祈念して、お祝いの
言葉とさせていただきます。



廃材燃料給湯器



佐野工科高校 の思い出

佐野工科 7 期生（電気系）

吉松 和希

私は平成23年に佐野工科高等学校に入学しました。

建物に興味があった私は、佐野工科は工科高校だから
建築みたいな事もするだろうと特に深く考えず受験し、
運良く入学する事ができました。

入学してみると建築科はなく、建築全然関係ないやん、
と思ったのを今でも覚えています。

入学早々、元々勉強ができる方では無かった私は留年
を意識しながらの高校生活が始まりました。

そのような感じで 1 学期が過ぎ 2 学期頃に専門コース
を選ぶ時期になっても第 3 希望にも入れず仲が良かった
岸田さんと留年を覚悟していました。

そんな時、担任の近藤先生に「建築したいんやったら
建築あるところに転校したらいいやん」と言われたのが僕
の人生の大きな分岐点になりました。

建築がある高校を探してみると今宮工科がありました。
しかし、当時の私の学力では今宮工科に全く擦りもしま
せん。

それでも近藤先生は勉強教えてるから放課後進路指導
室においでと声をかけてくれました。

その日から進路指導室が私の第二の教室になりました。
放課後になると毎日通いました。編入試験は通常の入試
よりも難しいようで、近藤先生はどうやって私を今宮工
科に編入させようとしていたのか全く想像が付きません
でした。

でもその時の励ましの言葉はよく覚えています。

お前は今までろくに勉強もしてこなかったから脳みそ
がスポンジや、詰め込めば
よく頭に入るだろう。

その言葉に私は納得し
ました。

それならスポンジ頭にた
くさん知識を詰め込もうと
決め、その日から毎日進路
指導室という教室に通う事
になりました。





ハシケン ものづくりロード

佐野工科10期生（機械系）

阿南 友揮

はじめまして。平成29年卒業生の阿南と言います。

当時の高校生活を振り返ると、沢山の経験させていただきました。

授業では普通科目に加え工業高校ならではの専門科目や実習科目が有り、1年生は工業全般から始まり、2年生では機械系設計科で溶接や旋盤を学び、3年生には課題研究で車のレストアから塗装まで学びました。

その中でも、溶接と旋盤は「溶接技能士 A-2V, N-2F」と「旋盤技能検定3級」という資格取得まで取り組みました。

授業の他にも、クラブ活動で溶接資格を用いてEVバイクの設計制作、水素化マグネシウム (MgH_2) を用いた水素発電の実験、エコデンレース等、さまざまな経験をさせていただきました。

この学生生活の中で体験した、アイディアを出し、考え設計し、制作し形になるという“モノづくりの楽しさ”は普通科の学校では味わえないものでしょう。

社会人になってからは、溶接関係の職に就きました。

現場で5年間、製缶作業の組み立てを行っていました。組み立てと言うのはその名の通り、板状の材料を製品の形に組み立てていくものです。

一見、簡単そうに聞こえるのですが、溶接前の製品を組み立てると言うのは、溶接の熱影響で生じる歪みによる曲がりや縮み、溶接後の機械加工面の削り代の確保など、全てを溶接後に寸法交差内へ収めないといけない難しさが有ります。

それらを考慮し、1ミリの狂いも無く組み立てる為に必要な“ケガキ”という物があります。

ケガキとは墨やケガキ針を用いて材料の取り付く位置を記すもので、これには高校の製図で学んだ精度の高い線引きの技術が必要だったり、数学で学んだ三角関数を用いて精密な数値を割り出したりと、学校で学んだ事を応用し仕事に活かしています。

現場での経験を得た後、生産管理と営業で事務職に就いたのですが、生産管理となると溶接だけで無く色々なモノづくりに携わる事ができます。

1つの製品が完成するまでにはさまざまな工程があり、材料の切断、曲げ加工、機械加工、溶接、熱処理、メッキ、塗装と様々です。

材料の切断では2dCADを用いて切断寸法のデータを作成し、材料屋さんと打ち合わせ。

曲げ加工や、機械加工は3dCADを用いたり、“旋盤技能検定”で得た知識を用いて加工屋さんと。

熱処理では、オーステナイトやマルテンサイトという聞き馴染みのある知識も必要になります。

コレら全てを1人でマネージメントしていく中で、形の無かった物が様々な工程を経て製品として完成する楽しさは、学生時代に感じた“モノづくりの楽しさ”そのものです。

この様に学生時代に勉強や体験した事がそのまま仕事へ活かされている事が多くあります。

そんな勉強ができる学校は数少ないと思います。

ですが、是非これからも日本のモノづくりを担う人材かつ“モノづくりの楽しさ”が分かる人が沢山現れる事を期待しています。



アーク溶接実習



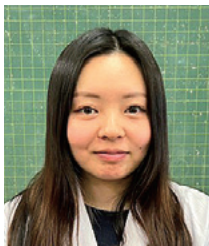
旋盤実習



大型レーザー加工機



3Dキャド実習



佐野工で ものづくりをして 教師になりました

佐野工科11期生（産業創造系）

松浪 彩

このたび、大阪府立佐野工科高等学校が創立100周年を迎えられることを心からお慶び申し上げます。

私が佐野工科高校に入学したのは、ちょうど10年前の2015年でした。10年前の記憶を掘り起こしながら、書き記したいと思います。

1年生の間は3つの専科を学び、2年生からは自分が選んだ専科を学ぶカリキュラムで、私が選んだのはテキスタイル系でした。

私たちが2年生に進級する頃、変化がありました。テキスタイル系から、産業創造系という名称に変わったのです。初めて聞く名称に、何を学ぶかもわからず混乱したことを覚えています。

3年間で振り返ると、多種多様な実習を経験させてもらいました。2年生以降は、テキスタイル実習のみだと想像していたので、機械旋盤や電気配線をするとは思っていませんでした。

実習の中でも特に苦い思い出は、毎週の授業で提出する「アイデアノート」です。

まだ世に出ていない便利な製品、ユーモア溢れる製品を3～4個ひねり出さないといけないのです。毎週3～4個なので、毎月16個ものアイデアを出さないといけません。当時の先生たちは、覚えていますか？

毎週の实習、卒業制作実習、毎日持って帰らないといけない荷物たち、私の中では苦い思い出がたくさんあります。ですが、私の人生を変えてくれたのも佐野工科高校です。

私が入学した頃からの夢は「学校の先生になること」でした。高校卒業後、進学し夢を追いかけていましたが志半ばで挫折してしまい、就職することになりました。

そんな私のもとに母校の先生から連絡があり「佐野工科で働かないか？」という言葉が。二つ返事で「はい。」と言ったこの日から私の生活は変わり、今後の人生にも変化をもたらします。

母校での仕事内容は、事務作業と実習科目のサポート

でした。期限付きの仕事が終わりを迎える頃、連絡をくれた先生や実習科目の先生方から、ある説明を受けました。

「実習科目のサポートを主にやっている職業がある。ただし、試験に合格しないといけない。」勉強よりも実習科目が得意だった私には、想像もできない未来でした。

それから数年が経った頃、ふと試験の話を思い出し受けることを決め、無事に合格することができました。現在は、教育現場に携わっています。

あの時、先生からのお誘いがなければ、先生方から教えてもらわなければ、私の夢が叶うことはありませんでした。この場をお借りして感謝の気持ちを伝えさせていただきます。

在学時から関わってくれた先生方、卒業後も気にかけてくれた先生方、快く迎え入れてくれた先生方、ありがとうございました。この一言では、とても足りないほどに感謝でいっぱいです。

11期生として卒業した頃から、多くの変化があったと思いますが、ものづくりに対する姿勢や多くの学びが得られる学校に変化はないと思います。佐野工科高校で学んだことは、今でも私の一部となり、これからの人生の糧となっていくことでしょう。

末筆ながら、佐野工科高校の益々のご発展を祈願いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



現在の佐野工

SANO TECHNOLOGY HIGH SCHOOL
100TH ANNIVERSARY





佐野工科高等学校 は



① 先進的な技術を導入、楽しくものづくりが学べる！

創造性あふれるものづくりに向けた学びができる
好きなこと・興味あることを自分の強みにできる
AIの活用や3系の特色を活かした合同授業に挑戦

佐野工科VRのページ！



② 様々なチャレンジができる！

ものづくりの大会にチャレンジすることができる
アイデアコンテストなどに出展、大会での発表ができる
電気工事士などの国家資格や各種検定などの取得ができる

③ 落ち着いた学校生活が送れる！

社会人力の育成をめざした厳しく丁寧な生活指導
いじめのない、安全で安心な学校づくり

④ 自分に合った就職先を選べる！

日本を代表する多くの優良企業より指定校求人
一人一人に応じた進路あっせん・安心の人生設計

詳しい進路状況



⑤ 大学にも進学ができる！

数十校に上る指定校推薦
希望に応じて広がる選択肢

自分が成長できる学校



産業創造系は、1925年（大正14年）に大阪府立佐野職工学校の紡織科としてその教育をスタートしました。その後、1963年（昭和38年）に繊維工業科、1991年（平成3年）にテキスタイル工学科、2005年（平成17年）には工科高校として開校して、テキスタイル系へと変遷してきました。いずれの時代においても、「染め」「織り」「編み」など繊維に関連する専門的な知識・技術を育成してきました。そして、2015年には学科改編により、現在の産業創造系が誕生しました。

産業創造系は製品開発専科とテキスタイルデザイン専科の2専科からなり、これまでの繊維に関連する分野の教育を基礎に、新たな発想を製品やデザインに結びつける「創造力」を教育の重点として歩み続けています。

産業創造系の授業展開

産業創造系において開講する授業は、新しい「発想」を生むための手法、そして、そのアイデアを作品としてカタチにするための「技術」を習得する授業、さらに、アイデア・作品を「表現」し、他者へと発信するための授業の3つの要素で構成されています。これらの要素をもとに、オリジナリティあふれる製品開発を行うことを目標としています。



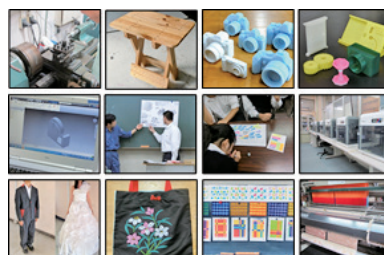
学びの柱

それぞれの専科での学び

2つの専科の共通科目として、グループで課題の調査や目標の設定、その解決のためのアイデアを話し合い、具体的な製品やシステムへと完成させていくプロセスを学習する「製品開発」という授業があります。また、3年生で開講される「課題研究」では、2年間で学習をしてきたことをもとに、社会的により広い視点で、新しい課題を見出し、独創的な作品や製品づくりに主体的に取り組めます。

「製品開発専科」では、材料の特性や各種工作機械取扱いのための知識・技能を身につけ、製品の設計から試作、完成までの総合的なものづくりを展開します。プロトタイプ（試作品）の製作には3Dプリンターや3次元造型機を用いて、検証・改善するプロセスを重視します。

「テキスタイルデザイン専科」では、デザイン技術を応用したテキスタイル製品をはじめとし、デザインを具現化するための幅広い工業製品の提案、生産技術を学習します。また、デザイン全般の発想や表現のための手法を学び、グラフィックソフトを使用したデジタル表現についても学習していきます。



実習の様子

先端技術の学び

令和3年度から、VR（仮想現実）技術やAR（拡張現実）技術とモデリング実習を応用した実習に取り組んでいます。VRを活用した実習では、ネットワーク上に自然や街、理想のインテリアなどをモデリングし、自分たちだけの世界観を表現し、VRゴーグルで没入体験を経験したり、ARを活用した実習では、スマートフォンのカメラ機能・GPS情報を利用して、モデリングしたものを現実世界に融合させたりなど、先端デバイスを活用したデジタルのものづくりを推進していきます。



VR ゴーグル



VR 空間



AR コンテンツ

教育課程 令和7年度入学生

産業創造系では、グループで話し合いを進めながら、たくさんの意見を集約し、アイデアをかたちにしていくことを実践する座学や実習を多く展開しています。その中でも2年生の「製品開発Ⅰ」では意見の発散と集約の方法を身につけることを重点とし、実習における作品製作の独創性を高めていきます。さらに、3年生の「製品開発Ⅱ」では、プレゼンテーションの技法を深め、作品をつくるだけでなく、そのアイデアをどのように他者に伝えて、より魅力的なものとして表現できるかといった力を育成していきます。これらの取り組みの成果とし

て、様々なコンテストに出展することで、身につけてきた力を発揮する機会としています。直近の集計である令和5年度の実績としては、のべ200名を超えるコンテスト出展を達成し、優れたアイデアや作品が賞を受けることができました。

さらに令和7年度からは、DXハイスクール加速化事業の採択校となり、デジタルものづくりを推進するための科目として、2年生の「デジタル技術実践」を新たに選択科目として開講しました。これは産業創造系だけではなく、機械系・電気系とも連携した取り組みとなります。

産業創造系 教育課程（専門科目のみ）							
学年 / 専科	令和7年度入学生より						
	共通	製品開発専科			テキスタイルデザイン専科		
	1年	2年	3年	計	2年	3年	計
工業技術基礎	3			30～40			30～40
課題研究			3				
製品開発実習		6	6				
テキスタイルデザイン実習					6	6	
工業情報数理	2						
工業管理技術			0/2				
工業環境技術			2			2	
染色デザイン						0/2	
デザイン実践		2/4			2/4		
デザイン材料			0/2				
デザイン史					0/2		
(学) 工学基礎演習	2						
(学) 数理演習		0/2			0/2		
(学) 産業財産権			0/2			0/2	
(学) 製品開発Ⅰ		2			2		
(学) 製品開発Ⅱ			2			2	
(学) デジタル技術実践		0/2				0/2	
(学) キャリアガイダンス	1			1			1
教科・科目の合計	8	10～14	13～19	31～41			31～41

コンテスト	受賞等
FA ロボットシステムインテグレート協会ロボットアイデア甲子園	2年参加（2名、うち三菱電機賞1名）
第38回毎日 DAS 学生デザイン賞 高校生の部ファッション&テキスタイル部門	3年「課題研究」にて出展（10名、うち5名入選）
大商大ビジネスアイデア甲子園	2年「製品開発Ⅰ」にて出展（34名）
第1回衣通姫絵画コンクール	3年出展（1名）
INPIT パテンコンテスト	2年出展（1名）、3年「課題研究」にて出展（5名）
第14回バンフォー学生 T シャツデザインコンテスト	2年「デザイン実践」にて出展（34名）
第5回ダグ犬コロアージュコンテスト	2年「デザイン実践」にて出展（32名）
あいち造形デザイン専門学校 高校生クリエイターコンテスト（タイポグラフィ部門）	2年「デザイン実践」にて出展（33名、うち9名入選）
2023年度色彩コーディネートコンクール	2年「デザイン実践」にて出展（グラフィック部門16名、ファッション部門17名）
第28回サンスター文具 文房具アイデアコンテスト	2年「製品開発Ⅰ」にて出展（33名）
静岡理科大学 高校生ものづくり・ことづくりプランコンテスト	2年「製品開発Ⅰ」にて出展（33名）
ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 高校生デザインコンテスト	2年「製品開発Ⅰ」にて出展（2名）
出光 環境フォト・コンテスト	2年「製品開発Ⅰ」にて出展（1名）

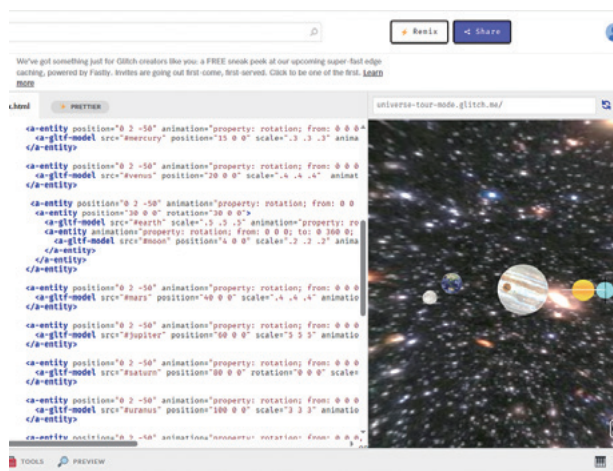
ゲーミング PC の導入

生成 AI の活用をはじめとする先端技術を取り入れた学びを促進するために、令和5年度に高速演算処理が可能なゲーミング PC を導入しました。

例として、画像生成 AI を実行した際に従来の PC であれば、30分から1時間と膨大な時間を費やしていました。しかし、グラフィックボードを搭載したゲーミング PC であれば、数秒から数十秒の時間で処理が可能となり、生成された画像は製品やプレゼンテーションの素材やアイデアとして効率的に活用することが可能となりました。



ゲーミング PC



画像生成 AI

スタジオ

ゲーミング PC の導入と併せて、大型ディスプレイや高性能カメラ、撮影スタジオを設置し、実習での作品の撮影やプレゼンテーションの撮影が可能な環境を整えました。

2年生「製品開発 I」ではコンテスト出展のためのプレゼンテーションを大型ディスプレイで撮影された発表動画を確認しながら、よりよい表現に向けて試行錯誤するための機会が得られるようになりました。

3年「課題研究」のファッション班では、制作したドレスやスーツの撮影に使用され、ファッションモデルさながらの環境で、それぞれの作品をさらに完成度高く表現することが可能となりました。



スタジオ



VR カメラ

地域連携活動

本校は地域連携重点校として、自治体や地元企業、小学校等と関わりながら、ものづくり教育への理解と魅力の発信に努めています。また、産業創造系の生徒には、「教わる」から「教える」といった経験をとおして、日々の学習の成果を発揮する機会としても位置付け、「地域への学びの還元」を目的に取り組みを継続しています。

これからの産業創造系

今から100年前に紡織科として地元の産業を支えてきた歴史を大切にしつつ、リアルとバーチャルが共存する社会である「society5.0」へ対応できる教育課程を学びの柱とする「デジタルものづくり」を推進していくことで、これからの新しい工業教育を創造していきます。

昭和58年（1983年）、佐野工業高校に電気科が設立されて2025年で42年のときが流れました。平成17年には佐野工業高校が佐野工科高校に変わり、2クラスあった電気科のクラスも、電気系電気技術専科と電気系電子制御専科に生まれ変わりました。設立から42年経ちましたが、電気科または電気系から多くの卒業生を輩出しました。各専科では、特色ある授業内容を行ってきました。

電気技術専科では、強電を中心にした授業展開を行

ってきました。また、「第三種電気主任技術者」の国家資格認定を受けることができます。認定を受けるには、所定の選択科目単位を修得する必要があります。

電子制御専科では、弱電を中心にした授業展開を行ってきました。また、所定の単位を修得して電子制御専科を卒業すれば、「第三級陸上特殊無線技士」の国家資格を取得することができます。



電気系ブログ

電気系 教育課程（専門科目のみ）							
学年 / 専科	令和4年度入学生より						
	共通	電気技術専科			電子制御専科		
	1年	2年	3年	計	2年	3年	計
工業技術基礎	3			40			40
課題研究			3			3	
電気技術実習		6	6				
電子制御実習					6	6	
電気製図			* 2				
工業情報数理	2						
電気回路		4			4		
電気機器		* 2					
電子技術						2	
電力技術			4				
電子回路		* 2			* 2		
電子計測制御			* 2			* 2	
プログラミング技術						* 2	
ハードウェア技術			* 2			* 2	
通信技術						2	
(学) 工学基礎演習	2						
(学) キャリア実現					* 2		
(学) キャリアガイダンス	1			1			1
教科・科目の合計	8	14	19	41	14	19	41

*印は選択科目

電気系 実習風景



実習前 点呼と整列の様子



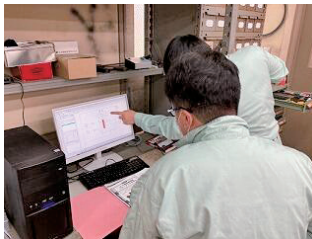
電気機器実習



電気工事实習

新しい工作機械・機器と最先端技術を活用した実習の紹介

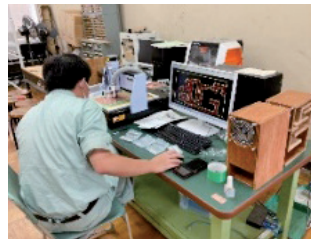
■電子基板加工機を用いた実習（3年生 課題研究）



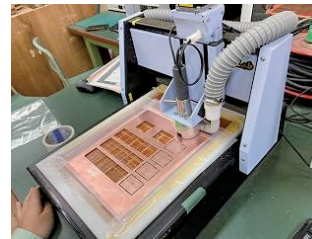
Eagle ソフトによる回路図作成



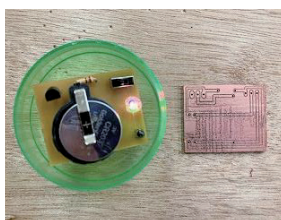
Eagle ソフトによる配線パターン作成



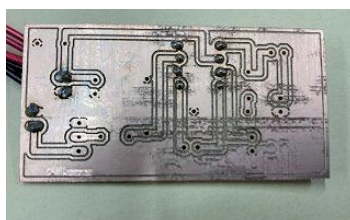
最新の電子基板加工機を使用



オリジナル電子回路キット「光るボール」完成
本キットは、小学校（学童）出前授業で活用中



オリジナル電子回路キット「オーディオキット」完成
大人も楽しめるオーディオキットです。



■最先端技術を学ぶ実習（ChatGPT、AI 音楽・画像生成、AI 画像認識技術の習得、Unity で VR 空間）

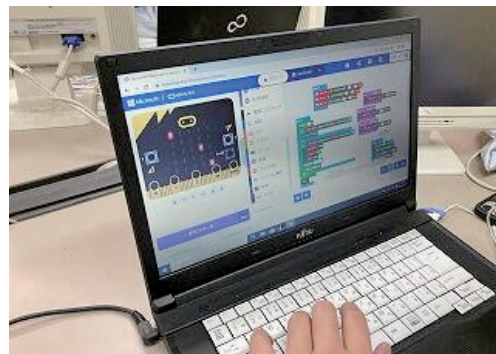
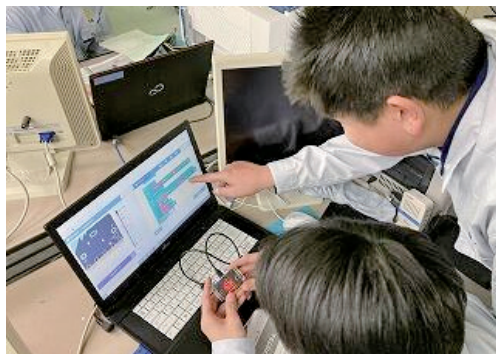


「Chat GPT」を活用して、最速で人気プログラミング言語「Python」を学んでいる実習の様子です。
『数当てゲーム』プログラミングを1時間程度で理解し、プログラミングできるようになりました。
「最先端の情報教育」を学べる環境を整備しています。



四国大学さんによる「AI ワークショップ」を開催
AI (Chat GPT) で歌詞を作成し、その歌詞を音楽生成 AI (Suno) で楽曲作成を
実習3コマを使い実施しました。
AI を活用すると、簡単に電気系オリジナルソングが作れました♪♪

■ micro:bit マイクロビット実習



2025年度、電気系実習において新たにイギリスのBBC（英国放送協会）が主体となって開発した教育向けマイコンボード教材（micro:bit）を実習内に取り入れています。ゲームソフトやモーター・センサー等を制御するプログラミングの仕組みを視覚的に楽しく学ぶことができます。

国家資格取得チャレンジ



第二種電気工事士 筆記講習会の様子（電気系2年生 全員受講）



デジタル通信2級 筆記講習会の様子
（電気系3年生 電子制御専科 希望者）

企業連携・地域連携

■企業連携「イオンモール日根野『ドローン』体験イベントを実施！」



企業連携（大阪泉州ドローンクラブ）の先生から、災害用ドローンの操縦と最新のVRゴーグルを装着した飛行、航空の法律を学びました。さらに、教わった生徒が地域の子供達に教えることで、高度な知識と技術を身に付けることができました。

■地域連携「泉佐野市立の小学校にお兄さんサンタ登場♪」



泉佐野市立の小学校学童で出前授業。電気系生徒が設計開発したオリジナルキット「クリスマスボール」製作を行いました。ものづくりの楽しさを伝えました。

■はじめに

1925年（大正14年）の大阪府立佐野職工学校として開校以来、機械科（現機械系）は100年間学校とともに歩んでまいりました。この間、幾たびの改称・改編がありましたが、「モノづくりを通じて学習し産業界で活躍できる技術者を育成する」という方針は変わらずに生き続けています。職工学校から工業高校、現在の工科高校へと改称され、同時に、多様な時代の変化に対応すべく「教育課程の改編」や産業界のニーズに応えるべく「新しい工作機械・機器の導入や更新」など、基礎基本から応用まで対応できるよう大きな変貌を遂げてまいりました。

実習・課題研究

1年生の工業技術基礎で、基本的な「モノづくり」の基礎を学び、2年生より本格的な「系」の実習で知識・技術・技能を身につけます。現在、機械系には機械技術専科2クラス、機械設計専科1クラスがあり、教育課程の違いはあれど、どちらの専科とも機械操作などの知識・技能・技術を習得し「確かな技術力」「確かな人間力」で「将来のスペシャリスト」の育成に取り組んでおります。

機械工場や各実習・実験室には、たくさんの工作機械や実験装置があり、昭和40年代のフライス盤なども現役で稼働しています。少しずつではありますが、機械・機器の更新もおこなわれており、過去10年の設備導入・更新では、旋盤・フライス盤・レーザー加工機・万能試験機・荷重試験機・3Dモデリングマシン・3Dプリンタ、



カッティングマシンなど、デジタル機器の更新がめざましくなっています。本校においても、DX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みも始まり、新しいデジタル機器・教材を導入することで、授業・実習の質

機械系 教育課程（専門科目のみ）							
学年 / 専科	令和4年度入学生より						
	共通	機械技術専科			機械設計専科		
	1年	2年	3年	計	2年	3年	計
工業技術基礎	3			30~40			30~40
課題研究			3			3	
機械技術実習		6	6				
機械設計実習					6	6	
機械製図		2	2		2	2	
工業情報数理	2						
工業管理技術						* 2	
工業環境技術			* 2			* 2	
機械工作		* 2	* 2		* 2	* 2	
機械設計		2	2		2	2	
原動機			* 2			* 2	
自動車工学			* 2				
(学) 工学基礎演習	2						
(学) 工業数理基礎		* 2			* 2		
(学) キャリアガイダンス	1			1			1
教科・科目の合計	8	14	19	31~41	14	19	31~41



を向上させたり、生徒の学習進捗を把握したりしています。さらに、課題研究（週3時間）においても、今まで培った技術・技能を駆使し、高度な加工技術から地域連携事業など、従来の内容とは違った研究にも取り組んでいます。

地域連携

企業・地域連携では、「ものづくりマイスター制度」や「企業連携制度」を活用した若年技能者の技術伝承、企業団体の方々による講習・講演会などもおこない、将来の技術者育成に力を注いでおります。また、近隣の古民家再生地域活動として「泉佐野地域活性化プロジェクト」にも参加させていただいております。社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、さらに共有・連携しながら自らの夢を実現させることができる幅広い知識・能力を育成していきたいと考えております。

コンテスト・大会・資格取得

近年は、各種の大会やコンテスト出場にも力を入れております。毎年開催される「高校生ものづくりコンテスト」には、旋盤部門と溶接部門があり、機械系では両部門出場しております。溶接部門では、最優秀賞を収め、さらに「ロボット相撲選手権」「マイコンカーラリー」「マイクロマウス」では、全国大会進出という活躍をしています。

資格取得では、自分の興味や関心に応じて情報関係から製図・CAD・溶接・荷役運搬・技能士まで15種類以上の資格取得にチャレンジすることができます。多くの国家資格や検定を取得することによって、ジュニアマイスター（ブロンズ・シルバー・ゴールド）の称号を多数授与されています。



■過去10年間の機械系資格取得状況（人数は延べ人数）

項 目	人数
資格取得数	2482
技 能 士 （旋盤・機械検査・プラント製図）	191
ジュニアマイスター （ブロンズ・シルバー・ゴールド）	122



4月

入学式
クラブ紹介
クラブ体験
生徒健康診断
3年保護者対象進路説明会



2022年 入学式

5月

1年系・専科説明会
卒業生講話・座談会
校外学習
保護者対象系・専科説明会



2022年 遠足(京都)

6月

三者懇談
創立記念日
実力テスト(スタディサブリ)
教職員・クラブ員対象救命救急講習



2024年 第一種電気工事士講習

7月

就職・進学説明会(3年対象)
第一種電気工事士技能試験(上期)
応募前職場見学
終業式
第二種電気工事士技能試験(上期)
三者懇談



2024年 第一種電気工事士合格者

8月

進路懇談
就職・進学一次選考会
就職・進学二次選考会
チャレンジ月間

チャレンジ月間

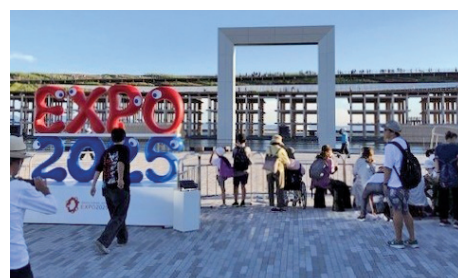
約5週間にわたり、学年の枠を取り払い、先生方の提供する講座を選んで学ぶ集中講座。工業の実務的な取り組みや学校を離れた見学会、文化的教養を高めるなど55講座(令和7年度)を展開。



2025年 チャレンジ 魚釣り

9月

チャレンジ月間継続中
1年系・専科説明会(本登録)
3年就職試験解禁日
オープンスクール(体験実習)



2025年 チャレンジ大阪・関西万博

10月

文化祭
教科担当者会議（成績会議）
1年対象選択科目説明会
PTA社会見学
工場見学
体育祭



2023年 文化祭

11月

芸術鑑賞会（令和7年は100周年記念式典）
第一種電気工事士技能試験（下期）



2023年 体育祭

12月

実力テスト（スタディサブリ）
工場見学
第二種電気工事士技能試験（下期）
スキー合宿（岐阜県）
1・3年クラスマッチ
終業式



2024年 スキー合宿

1月

修学旅行
実力テスト（ベネッセ）
1年所属系専科決定



2023年 修学旅行（函館五稜郭）

2月

3年卒業式予行・予餞会
卒業式

3月

入学者選抜オンライン出願
入学者選抜学力試験
終業式
合格発表・合格者説明会



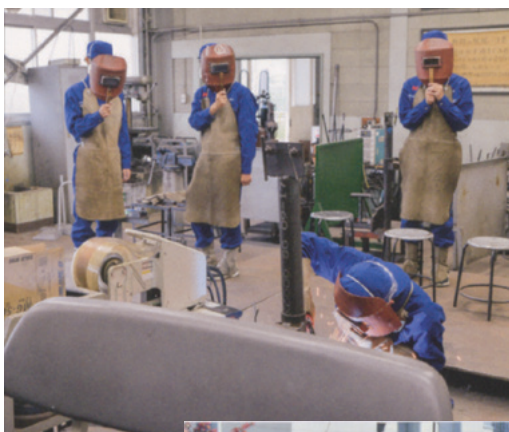
2025年 卒業式

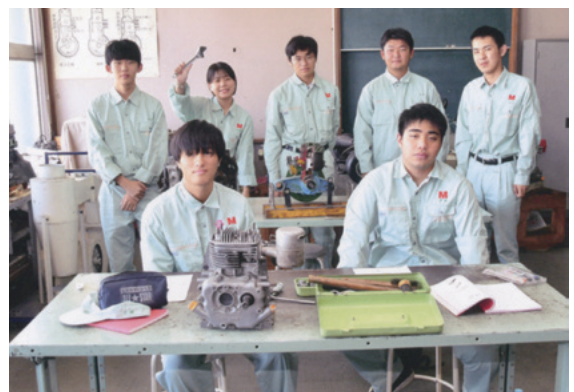
令和7年度の大きな変更点

定期テストの全廃 → 日々の学習を評価
5週間あった考査 → 集中講義「チャレンジ月間」
（8月末～9月）を設定
令和6年度より導入の「ラーケーション」の本格実施



2022年 合格発表





全日制



バスケットボール部

バスケットボール部は、男子3年生6名・2年生5名・1年生9名、女子3年生3名・1年生2名の計25名で活動しています。2年前までは部員が3名しかいませんでしたが、現在は部員も増え、日々練習に取り組んでいます。今年度は、実業総体3位に入賞することができ、目標としていた公式戦での初勝利も実現することができました。「全員バスケット」を目標に、これからも楽しんでバスケットボールに取り組んでいきます。



バレーボール部

現在、2年生3人。1年生8人の計11人で活動しています。昨年は惜しくも2部昇格を逃してしまい悔しい結果となりました。次こそはと選手たちは短い練習時間の中で一つ一つのプレーに集中して練習に取り組んでいます。現在は「2部昇格」「泉南大会優勝」「実業大会優勝」を目標として日々努力しています。



卓球部

卓球部は3年生2名1年生1名1年生3名の計6名で活動しています。

練習は体育館や剣道場を使用し週2回行い、自由に楽しくをモットーに活動をしています。

現在は実業大会の出場を目標に、自分たちで練習メニューを考え日々活動をしています。



ソフトテニス部

ソフトテニス部では「近畿大会出場」「校内一成長できるクラブ」を目標に日々活動を行っています。中学時代は1勝もできなかったメンバーやレギュラー外だった選手が多いですが、一生懸命声を出して練習し、大阪ベスト64まで登り詰めることができました。近畿大会出場権を得るあと2勝をめざし、これからも一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



ハンドボール部

部員数が少なく公式戦への出場は叶いませんでしたが、他校との合同練習や練習試合をすることができました。今後は部員数を増やし、公式戦への出場を目標に努力を続けていきます。これからも一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



硬式野球部

硬式野球部は経験者、未経験者問わず「高校野球をしたい」、「上手くなりたい」、「試合に勝ちたい」という選手が集まり日々目標をもって頑張っています。入部当初は上手くなくてもできることをきちんとやるという「凡事徹底」、また弱い自分に負けない、強い相手にも立ち向かっていく「真向勝負」をモットーに目標を高く掲げ、今夏ベスト16を目標に公立や私立に勝てる野球をめざしています。

〔過去の実績〕

第100回記念全国高等学校野球選手権南大阪大会 3回戦

平成31年春季近畿地区高校野球大阪府予選 2回戦

第101回全国高等学校野球選手権大阪大会 2回戦

令和5年度春季近畿地区高校野球大阪府予選 ベスト32



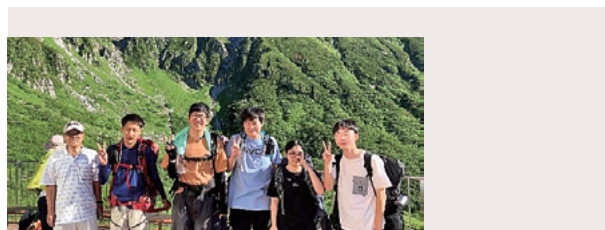
バドミントン部

現在、部員12名で活動しています。

部員が一気に増えたので「コートが足りない!」という時がありますが、部員全員で楽しく練習に励んでいます。

大会では、緊張して思うように力が発揮できないながらもシングルスで1年生がベスト8入り、ダブルスで3回戦に進むなどの結果を残しています。

試合に勝ち、より良い結果を残せるように部員一丸となっていきたいと思います。



山岳部

普段は1ヶ月に1回は近畿の山に登り、トレーニングしています。毎年、夏には標高3,000m以上の北・中央・南アルプスのいずれかにチャレンジしています。

修学旅行では体験できない大自然の中で、3泊以上の合宿を行います。

先輩と後輩が同じ釜のご飯を食べ、仲間を思いやる気持ちを大切に一人ひとりが主体的に行動できる人材を育てることを目標としています。

安全で高度な登山技術の習得と、アルプス山脈の大自然に立ち向かうことの困難さを全員で乗り越え経験することで、心身を鍛え広い視野を持てる温かい人間に成長してもらいたいです。

クラブ活動



剣道部

部員はとても少ないですが、佐野高校と合同で練習をしています。

大阪実業総体剣道大会では、他校との合同チームになりますが、2年連続準優勝と頑張っています。



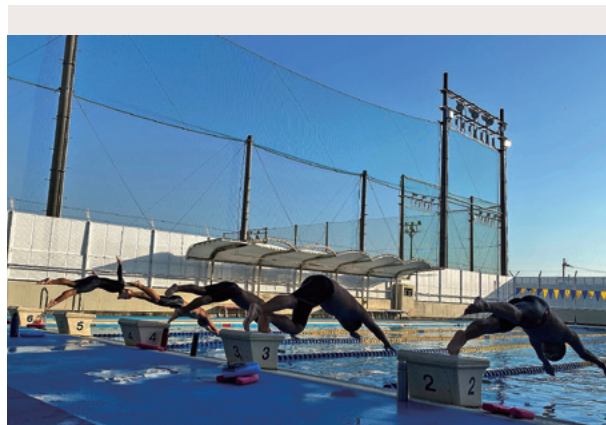
合気道部

合気道部を創設し四半世紀近く指導してきた淵脇教諭の異動により、2012年より瀧本が主顧問を引き継ぎ今に至る。練習場所が剣道場であったため、2012年から5年ほどかけてウレタンマットを整備。同時に合気道師範を招聘し、富永・江川・上村の各師範から計5年にわたり指導を受ける。

合気道部が人数・技術両面で最も円熟した時期は2019年あたり。運動部では野球部に次ぐ大所帯となり稽古場が剣道場だけで足りず、柔道場の半面も借りながら稽古をおこなう。この人数で出場した演武大会では、一般の合気道関係者からも称賛の声が上がった。

また、合気道部は文化祭で寸劇『合気マン』を披露するという伝統があった。中でも2020年の『合気マン』は、ニュージーランドのハカを取り入れたもので、劇が終わると拍手が鳴りやまず「優秀賞」を獲得。

現在の合気道部は創部以来の危機的状況にあり、2022年には経験者の北野教諭が顧問に加わったが、部員2人という状況が2年続いている。



水泳部

競泳経験者だけでなく高校に入学してから水泳を始める部員と一所懸命に練習に励んでいます。夏のシーズン中は基礎となる4泳法を中心に生徒が主体となって練習に取り組み、高校総体への出場や実業大会で入賞できるよう日々精進しています。近年では、実業大会では個人種目での上位入賞や総合での入賞など力をつけてきています。



機械工作部

機械工作部は、モノづくりを通じて新たな価値を生み出す力を育む部活動として、現在も多くの後輩たちが日々技術向上に励んでいます。部員たちは、機械や工具を使った設計・製作を通じて、創造力、技術力、そして問題解決能力を養いながら、確かな実力をつけています。昨今の成果としては、ロボット相撲全国大会において4位という素晴らしい結果を収めました。

また、部活動での経験は、進学や就職においても大きな強みとなっています。実績を通じてより多くの可能性を広げ、業界でも高く評価される技術力を身につけています。これからも皆様のご支援とご指導を受け継ぎながら、更なる発展を目指していきます。ぜひ、今後とも部活動へのご関心・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



制御工学部

【主な活動】

「いろいろなものを制御してみよう」をテーマに、電気制御・機械制御を取り入れた「ものづくり」にチャレンジしています。春は基礎的な体験を中心に活動を展開し、夏は「ソーラーラジコンカーコンテスト大会」、冬は「ロボカップジュニア」などの競技大会に積極的に参加する活動を展開しています。

【活動状況】

令和2年に同好会を設立し、令和4年に部に昇格した新しい部活動になります。無線制御やAIを取り入れたセンサー制御など多岐にわたった制御を学ぶ活動を実施しています。また、使用する部品は購入するのではなく、まず自分たちで製作することから始めています。

部品を製作するために「3D CAD」を用いる学習があり、3Dプリンターや卓上CNCを使ったものづくりができるようになりました。

【活動実績】

- 1 第19回高校生技術・アイデアコンテスト全国大会
優秀賞受賞
- 2 全国高校生ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山大会
ユニークアイデア賞受賞
- 3 ロボカップジュニアジャパンオープン（サッカーオープン全国大会）出場



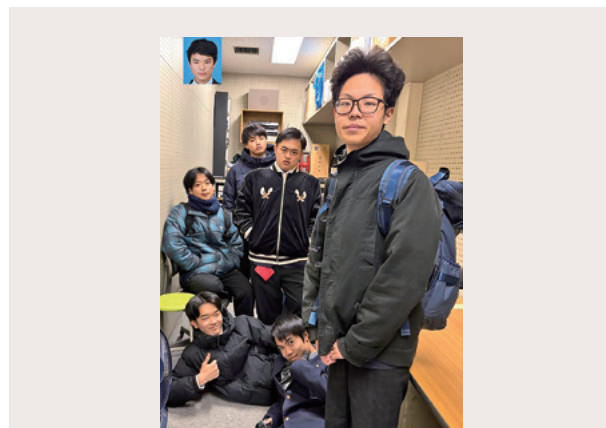
美術部

主な活動：油絵・日本画・イラスト・レザークラフトなどジャンルを問わず様々な創作活動を行っています。制作・発表・ポートフォリオ制作までを自分たちで行うことで、「アート」で社会に関わる人材を目指しています。

活動状況：夏と冬に行われる作品展には全員が出展し、作品の発表を行っています。

その他にも文化祭の模擬店での販売活動や、外部講師を招いての技術指導会、地域のショッピングモールでのイベント参加など年間を通して活動を行っています。

活動実績：2024年8月 第75回大阪府高等学校美術・工芸展
絵画部門奨励賞受賞
2025年2月 第43回泉南地区展 工芸部門優秀賞



放送部

現在、2年生7名、1年生1名の計8名で活動中。

主な活動は昼休みの放送です。

今年度はゆるい感じで不定期に好きな音楽を流しているのですが、この先リクエストなどを募ってラジオ番組のような放送ができればと考えています。

また、体育行事などでは実況アナウンスを行い行事の盛り上げに協力しました。

放送室は狭いところですが、和気あいあいとやっています。

昼休みに音楽を流したい人、行事で実況したい人など、放送部は随時部員を募集しています。

クラブ活動



K 音部

本校「K 音部」の名称は、本来なら軽音楽部とするところを、2000年にあえて「K 音部」という名称に変更しています。

「軽音」という当時のイメージは、若者の軽いノリで楽器を使って遊ぶ、またはステージ上で暴れて演奏するという不良な印象であり、そのイメージを払拭したいとの想いから、それまで「音楽部」を名乗っていた顧問の辻岡見一先生が、「K 音部」という名称に改名し「音楽と真剣に向き合うクラブ活動である」という意味を込めた」という話を伺いました。

「軽音」というアニメまで作られるほど今では市民権を得ている軽音楽部も、90年代までは厄介な存在というのが一般的な認識でした。騒音をまき散らすとして校内での活動も制限されているのが当然でした。本校のように「音楽部」と名乗らなければ部に昇格できなかったり、「ギター部、フォークソング部、現代音楽部、…」ネーミングに苦労した学校も多数あると聞いています。「K 音部」何やそれ?!」と話のネタにしてもらうことで、「K 音部」の活動の正しい認知が広げばという想いがあります。

K 音部のモットーは「音楽を信じる!」です。これは、前顧問の中嶋健二郎先生が繰り返し伝えていた言葉です。様々な理由で、生きるのが困難だったり、未来に希望を持てなくなっている人に音楽は強く響くことがあります。また、人はどうしても互いにいがみ合い、信じられなくなってしまう瞬間があるものですが、音楽に没頭しているうちに、言葉をこえた本当のコミュニケーションというものがあることに気づくことがあります。バンドは、少人数のメンバーと協力しあうだけでなく、ふざけあったり、喧嘩もした先に、自分たちにしかできない表現を見つけることが最大の目標であり、このような活動はバンドならではのところがあります。ここで培った信頼関係は、まるで家族のように長く続くこともしばしばあります。「例え何も信じられなくなっても、音楽は信じるに値するものだよ」というメッセージがこのモットーに込められています。

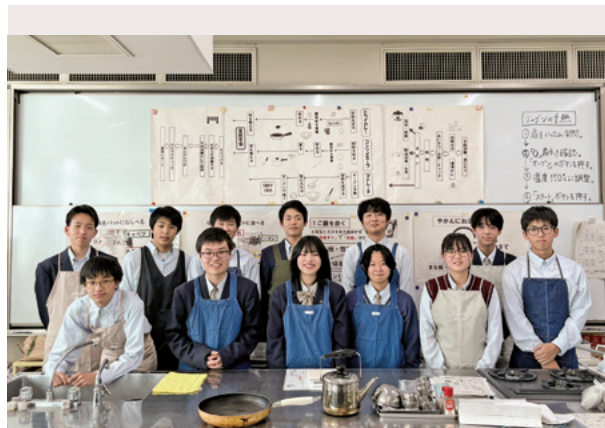
さて、クラブ活動の近況ですが、数年前の新型コロナの流行により活動がかなり制限されていましたが、最近になり、ようやく以前のような通常の活動が出来るようになってきました。また、本校は、高等学校軽音楽部連盟大阪（「軽音連大阪」と略す）に加盟しており、各種イベントや行事に参加する活動を行っています。主な参加イベントや行事は以下にまとめています。

部員は3年生3名、2年生2名、1年生3名で現在8名です。近隣の学校との交流も盛んに行っています。今年度からは、軽音連南日本（仮）という組織を立ち上げ、新たなイベントの企画から運営まで積極的に担い、活動拠点校として、更なる発展に向けて取り組んでいます。



理科部

理科部では、科学を身近に感じ、日常生活と科学を結びつけるような実験活動を楽しんでいます。これまで、手作りカイロで発熱について考えたり、ブンブンゴマを用いた発電方法で電気の実験を深めるなど、さまざまな実験をしてきました。また、外部で催されるイベントにも参加し、地域の子供たちに科学に興味を持ってもらえるような活動を積極的に行っていました。今後もさまざまな実験や活動を通して理科愛を深めていきたいと思います。



調理部

現在、男子15名・女子3名、計18名で活動中。

活動日は、毎週水曜日。

調理師専門学校との交流活動で、フルーツタルトや煮込みハンバーグも作りました。

簡単なお菓子から本格的な料理まで幅広く作っています。

今年の文化祭ではマフィン3種とチュロスを販売。

毎年、多くのお客様に買っていただき、今回も完売しました!!

1年生から3年生まで毎回、和気あいあいと実習に臨んでいます。



図書部

ここ数年部員がいまいませんでしたが、2024年度から1年生4名で活動しています。

活動内容は、図書室の本の整理や、『かわらばん』作りです。本の魅力や読書の楽しさを伝え、一人でも多くの人に図書室を利用していただけるように工夫しながら頑張っていきます。



ガラス細工部

ガラス棒をガスバーナーで溶かして“とんぼ玉”を制作しています。週に2回、物理教室で活動しています。部員全員が初心者から始め、様々な作品を作ることが出来るようになりました。最初は火が怖く、ガラスが割れることもあります。慣れてくると思い通りのデザインや形に成形出来ます。文化祭では、自分たちが作ったとんぼ玉に紐を通したり、金具を装着してアクセサリーにした作品を販売しており、毎年大好評です。



園芸部

園芸部は現在3年生4人で活動しています。

昨年は、すいかやじゃがいもを植えたり、梅の実を収穫して梅シロップを作ったりしました。畑を維持管理することは難しいですが、収穫できた時の喜びはとても大きいです。



創造部

主な活動：「社会とのつながりをここから」をテーマに、ものづくり力を活かした地域活性化に向けて活動している。官民分け隔てなく、様々な課題に対して取り組み、その経験をもとに社会と自身の未来を創造します。

活動状況：部の歴史としては古く、“自動車部”から始まり、時代の変化や生徒のニーズに合わせて“創造部”と名を変え長く活動していましたが、近年は部員の人数が減少し、廃部の危機にありました。しかし、2024年から“シン・創造部”という愛称を掲げ、再スタート。学校の所在地である泉佐野市だけでなく、大阪市や奈良県など様々な行政や民間企業との協働プロジェクトを実施。その他にも、部独自のワークショップの開発などにも力を入れています。工科高校ならではのものづくり力を活かしながら、これからも活動していきますので、応援よろしくお願いします。

活動実績：2024年4月 「シン・創造部」として再スタート
2024年 バリュー・リノベーションズ・さの主催「つむぎやオープンマルシェ」に出店、ボードゲーム体験コーナーやバスボム製作ワークショップなどを出店、1年間で来客者200人超え
2024年5月 校内チャレンジ週間で大阪市内のセレクトショップから店長を招き「おしゃれ講座」を主催。
2024年7月 奈良県吉野郡野迫川村との連携事業「熊野古道小辺路周辺の森林事業活性化プロジェクト」をスタート
関空のある世界の玄関口に近い学校が世界遺産 熊野古道の活性化に挑戦中
連携先：一般社団法人 バリュー・リノベーションズ・さの、奈良県野迫川村役場、南海電気鉄道株式会社、大阪市立デザイン教育研究所など



熊野古道小辺路周辺の森林事業活性化プロジェクト

登校復帰に向けての不登校支援

令和6年度より不登校支援を開始した。不登校支援は進級・卒業をめざしたいのに登校できなくなっている生徒が対象となる。主に1年生対象の制度で、進路実現のために2年生以降の登校復帰を目標にする。ただし2年生以降でも事情により対応を行う。

「行動することを評価指標にする」という校長（当時）の考えをもとに、自宅での学習努力ができる不登校生徒に対し、評価をどのように行うかという問題があった。そこで「自宅での学習内容」に対して不登校生徒用のループブックを作成して評価し、単位修得ができるようにした。大阪府教育庁からは同時双方向のオンライン授業と通信制の学び方が示されていたが、本校独自の制度として不登校生徒用に個別の教育支援計画とシラバスを作成して自宅学習用に用いたのが、一人1台端末のクロームブックで行う学習支援ソフト「スタディサプリー」である。これは本校生徒全員が基礎学力を向上するのに学内でも活用しているものだ。動画視聴学習後に確認テストを行うというものだが、利点は学習を行ったかどうかの記録が確認でき、課題配信担当者は一人でもよい。ただし、評価については学期ごとに学習状況確認会議の場にて教科主担当が行った。

つぎに本校が工業科という特色から、不登校支援チームとして工業科教員中心のメンバーで、「自宅で実施可能な実技課題」、「長期休暇中実技補習の登校日」を設定して学校の設備を使った個別対応での実技体験をできるようにした。「スタディサプリー」非対応の科目はプリント学習また Google classroom の活用、体育実技で

は希望生徒対象の冬季スキー講習参加など体験学習も評価に含めた。これらの体験に挑戦することで自己効力感を高めている。

開始当初は、至らない点も多々あったが、支援に関わっていた教員の理解と協力のもと、制度の不備改善に向けて様々な意見交換の場を持て、「スタディサプリー」利用のシラバス作成計画から操作方法に至るまで手厚く教職員が対応した。

今年度は不登校担任が1年生学年団に加わり、スタディサプリーの配信や週1回の質問登校日には相談室にて、提出物や課題進捗状況の確認を行っている。長期休暇中登校日には体育、家庭、美術の実技を追加した。

不登校生徒の登校や自宅学習の自己管理はハードルが高く、達成できれば大きな前進である。しかし、医師の診断書等がない限り、学校を離れて修得できる単位数の上限が36単位というルールがあり、この制度のみでの卒業はなかなか難しい。登校復帰に向けて保護者の理解と協力を得つつ、少しでも登校できる状況を作ってゆきたい。

不登校支援者

令和6年度	1年	6人	2年	1人
令和7年度	1年	3人	2年	1人



【佐野工科版「ラーケーション」とは】

佐野工科高校版のラーケーションは、キャリア教育の一環として取組みを開始します。

これからの社会では、自己の在り方や生き方を考えながら、自分で課題を発見し、学び続ける力が求められます。そのような力を身に付けるためには、地域に出かけたり、企業研修に参加したりして、多くの人と出会う体験的・探究的な活動を通して学んでいくことが有効です。また、保護者の方も子どもと一緒にラーケーションに関わることで、学びの共有を行う機会となります。

自己の在り方や生き方を考えるためには、ラーケーションを通して、自分は何を学びたいのか、家の人とゆっくりと話をする時間も大切です。高校生だからできる事、高校生だからできない事など、自分のやりたい事への想いや悩み、不安について、保護者と一緒に考えることで、これまでの経験を振り返り、今後を見つめるよい機会になります。

生徒が主体的に計画し、行動することで学びの機会を創造する。そのような時間を取るために設定したのが、年1回、最大10日間の佐野工科版「ラーケーション」です。

【期間とルールについて】

- ・年1回、最大10日間（土日を入れると14日間取得可能、祝日、長期休業期間を入れるとさらに延長可）

例：土日+（L5日）+土日+（L5日）14日間

土日+（L4日）+祝日+土日+（L5日）

+土日+（L1日）17日間

（L5日）+冬休み+（L5日）24日間

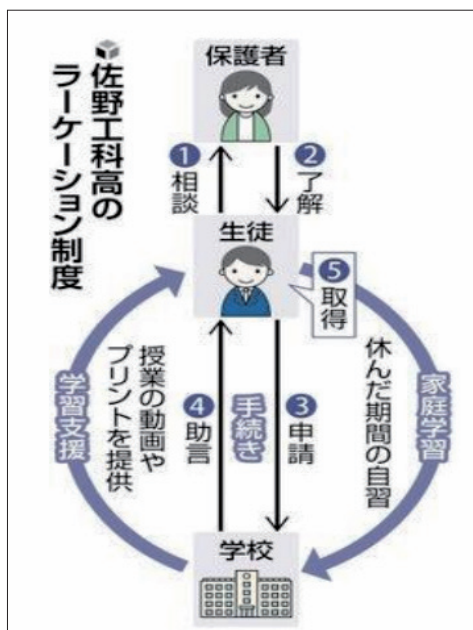
（「L」はラーケーション）

- ・活動内容は体験的な学習

例：短期海外留学、旅行、長期企業研修、リゾートバイト、ボランティア、地域活動、資格取得等

- ・3年間で3回の機会があります。
- ・欠席にならない。（出席停止扱い）
- ・学校を離れて体験的な学習を行う。
- ・保護者の了解を得ること（保護者が同行しなくてもよい）
- ・行事等でラーケーションが適さない日があります。（追認試験等）

令和6年6月施行



令和6年7月9日 読売新聞 朝刊より

■定時制の課程 総合学科—10年のあゆみ

生徒の進路を考えるにあたって、背景としての世界経済や社会の変化が大きく影響している。1990年代の「失われた10年」や続く経済不況は過去のものとなりつつあるが、近年では新型コロナウイルスの感染拡大やウクライナ情勢などの影響により、世界経済は引き続き不安定な状況が続いている。このような変化の中、働き方も急速に多様化しており、特にデジタル技術の進展やリモートワークの普及により、新たなスキルの習得が重要視されている。

就職に関しては、近年、IT技術やAIの進展による新たな雇用の機会が増えているものの、これらの分野では高いスキルが求められる。定時制の生徒がこうした市場に対応できるよう、基礎的な学力を固めるだけでなく、実際の職業に直結する技能や、日常生活に密着した技術を学ぶことが重要である。特に、手に職をつける職業教育や、専門的な資格取得をめざす支援が、今後の生徒の進路において大きな鍵を握る。

本校では、基礎学力の定着に加え、実践的な技能を身につけるための教育を強化している。例えば、生活に必要な計算力や読み書きのスキルを補強する授業に力を入れるとともに、社会に出た際に役立つ職業訓練

や資格取得をめざすカリキュラムを取り入れている。これにより、生徒が日常生活や就職活動で自信を持ち、将来の進路選択に役立つ力をつけることを目標としている。また、コミュニケーション能力や社会人基礎力の向上も大きな課題であり、対人関係や職場での協調性を育む指導も行っている。

進学に関しては、従来の大学進学だけでなく、専門学校や職業訓練校への進学を積極的に推奨している。現在、進学自体はより多くの生徒にとって現実的な選択肢となっているが、重要なのは進学後のキャリア設計である。定時制の生徒にとっては、基礎学力を補いながら、専門的な技能を深める環境を選ぶことが特に効果的であり、職業に直結する知識やスキルを獲得できる道を選ぶことが望ましい。

また、本校では生徒の個々の状況に合わせた柔軟な進路指導を行い、生徒が自分のペースで学び、成長できる環境作りに努めている。進路相談では、生徒一人ひとりの背景や学力に応じたアドバイスをを行い、無理なく目標を立て、進路を見据えて行動できるようサポートしている。



■定時制と進路

総合学科が設立されてからもうすぐ20年が経ち、その間、工業教育を中心とした教育課程が多様な生徒のニーズに応え続けている。この期間にわたり、教育課程は社会の変化に対応し、生徒一人ひとりが自分の興味や関心に基づいて授業を選択できるように工夫されてきた。令和6年度においても、柔軟な教育方針を維持しながら、社会の変化と生徒の多様な進路に応える形で教育課程を発展させている。

令和からは、「モノづくり」系列と「技を磨く」系列が統合され、「工業実習」系列として再編された。この「工業実習」系列では、主に金属加工、木材加工、機械実習に重点を置いている。生徒は、これらの実習を通じて、素材の加工技術や機械操作のスキルを習得するだけでなく、実践的な技術を学び、卒業後すぐに現場で役立つスキルを身につけることができる。

「生活教養」系列では、日常生活や国際的な教養を中心としたカリキュラムを展開している。特に、情報や英語などの基礎的なスキルを向上させる授業や、食生活や消費生活に関連する実用的な知識を学べる内容を提供している。生徒は、日常生活や社会で役立つ教養を学び、将来的な職業選択や生活設計に活かせる力を身

につけることができる。

就職に関しては、生徒一人ひとりの希望や適性に合った就職先を見つけるため、個別指導を重視している。特定の業種に限らず、生徒の進路希望に合った就職先を探し、幅広い選択肢を提供することをめざしている。また、資格取得の支援や地元企業との連携を通じて、実践的なスキルを活かした就職をサポートする体制も整備されている。

進学希望の生徒に対しては、専門学校や大学でさらに学びを深めるための指導を行っている。4年後のキャリアプランを見据えた進学指導を通じて、生徒が自分の進路に自信を持って進めるよう支援を行っている。

近年、入学生数は減少傾向にあり、令和6年度の入学生は47名となった。特に、義務教育を十分に受けられなかった不登校経験のある生徒が多く、基礎学力の定着が重要な課題となっている。これに対応するため、少人数制の強みを活かして個別指導を徹底し、学力の底上げと実践的な技能の習得を両立させることをめざしている。

これらを含め、今後も「総合学科」としての役割を再確認し、生徒の多様なニーズや社会の変化に対応した教育課程のさらなる発展をめざす時期に来ている。



昭和23年の学制改正に伴い、大阪府立佐野工業高等学校と改称

歴代会長一覧

昭和23年	松本 清一	昭和47年	杉本 保高	平成2年	壺内 章	平成20年	白砂 朱美
昭和24年	松本 清一	昭和48年	小林 完二	平成3年	菊 治	平成21年	桑原小百合
昭和26年	福本 助広	昭和49年	藤原 佳典	平成4年	川野 考正	平成22年	鉄沢 尚美
昭和27年	細浜 武三	昭和50年	藤原 佳典	平成5年	長滝谷豊喜	平成23年	内原 千栄
昭和28年	釜下 正夫	昭和51年	宮部 始	平成6年	坂口 治	平成24年	大城 博美
昭和29年	寺田 美苗	昭和52年	永橋 寛	平成7年	鎌野 博	平成25年	福中 睦子
昭和31年	横川福次郎	昭和53年	早野 清	平成8年	才賀崎 明	平成26年	高田 昌代
昭和33年	石川 賢一	昭和54年	塚本 樹良	平成9年	森 康人	平成27年	福中 睦子
昭和34年	岸野安太郎	昭和55年	岡本 光夫	平成10年	南 正信	平成28年	石谷 鈴子
昭和35年	柳瀬 美朗	昭和56年	踊堂 友美	平成11年	南 正信	平成29年	伊勢 香織
昭和36年	星野 誠作	昭和57年	踊堂 友美	平成12年	泉本 好信	平成30年	奈須 純子
昭和38年	藤原喜代松	昭和58年	石川 勝	平成13年	永井 和子	平成31年	吉田 千鶴
昭和41年	森田 保	昭和59年	塩路 義雄	平成14年	藤原 晴文	令和2年	下荒神亜矢子
昭和42年	熊取屋興平	昭和60年	根来 一治	平成15年	長瀧谷紀子	令和3年	奈須 純子
昭和43年	西田 清吉	昭和61年	荻山 清友	平成16年	光成万里子	令和4年	山田真佐美
昭和44年	甲田 四朗	昭和62年	田代 雅之	平成17年	軽崎 秀俊	令和5年	木藤 紀子
昭和45年	根来 政信	昭和63年	村上 啓輔	平成18年	野間 幸子	令和6年	西尾みどり
昭和46年	川中 安雅	平成元年	竹綱 繁三	平成19年	土井 公子		

2025年度のPTA活動にあたり、まず振り返りたいのは、2020年から始まったコロナ禍による学校生活の大きな制限です。コロナ禍の数年間、子どもたちの学校生活は、感染防止のために様々な制約を受けました。リモート授業や部活動の縮小、行事の中止など、普段ならば子どもたちの成長に欠かせない経験が失われ、多くの保護者も不安を抱えたことと思います。しかし、状況は徐々に改善し、ようやく以前のような日常が戻りつつあります。

PTAとしても、対面での交流や活動が再び可能となり、子どもたちのためにより充実したサポートができることを嬉しく思っています。

私たちPTAは、今後も学校と家庭、そして地域との架け橋として協力と連携を進めてまいります。これからも、多くの皆様のご支援とご協力をいただければ幸いです。



令和5年 ものづくり教室 染め



令和5年 ものづくり教室 レザークラフト



令和5年 PTA 文化祭



令和6年 文化祭模擬店



PTA 新聞

本会は佐工会とし、大正14年に設立・開校された大阪府立佐野職工学校以来の卒業生を正会員とし、現職員及び設立以来の旧職員を特別会員・さらに名誉会員・賛助会員があり、これらの会員によって構成されており、会員相互の親睦及び工業の進歩発展を図り母校の発展を目的としている。その経緯は下記の通りです。

昭和5年11月23日	大阪府立佐野職工学校同窓会として発足する。小山平治校長初代会長となる。	昭和30年10月28日	28日より30日まで三日間、母校創立30周年記念祭を学校と共催する。
昭和11年3月4日	山田庸校長、会長(二代)となる。	昭和30年10月30日	下中忠一会長、三選される。
昭和15年11月1日	母校創立15周年記念祭挙行される。	昭和31年11月25日	仏願茂男(紡二回卒)会長(二代)となる。
昭和16年8月22日	大阪府立佐野工業学校同窓会と改称する。		会則の一部変更され、会長の任期が2年となり、定例総会は2年に1回開催となる。
昭和19年4月28日	諸熊壮一校長、会長(三代)となる。	昭和33年4月1日	稲葉達雄校長、名誉会長となる。
昭和21年7月14日	会則の一部変更され、委員長をおく。田出谷寅治郎(紡一回卒)初代委員長となる。	昭和33年11月9日	仏願茂男会長、再選される。
昭和21年11月20日	信達谷正愛(機二回卒)委員長(二代)となる。	昭和35年11月20日	奥野武久(機一回卒)会長(三代)となる。
昭和23年4月1日	大阪府立佐野工業高等学校同窓会と改称する。	昭和36年4月1日	内田禮治郎校長、名誉会長となる。
昭和23年5月16日	会則の一部変更され、大阪府立佐野工業高等学校佐工会と改称する。	昭和37年11月25日	奥野武久会長、再選される。
昭和23年6月5日	西川綾彦(機一回卒)委員長(三代)となる。	昭和39年4月1日	杉本公文校長、名誉会長となる。
昭和24年8月7日	竹本俊雄(機一回卒)委員長(四代)となる。	昭和39年7月12日	安井秀雄(機四回卒)会長(四代)となる。
昭和24年9月30日	千葉修三校長、会長(四代)となる。	昭和40年6月24日	佐工会館起工する。
昭和25年5月20日	母校創立25周年記念祭を学校と共に挙行する。	昭和40年11月10日	佐工会館竣工する。
昭和25年5月21日	大工竹人(紡二回卒)委員長(五代)となる。	昭和40年11月18日	18日より21日まで四日間、母校創立40周年記念祭を学校と共催する。
	会則の一部変更され、顧問制度設けられる。	昭和41年4月1日	丸山賢三校長、名誉会長となる。
昭和26年8月15日	会則の一部変更され、役員の任意留任認める。	昭和42年11月26日	相良敬太郎(紡五回卒)会長(五代)となる。
	下中忠一(機一回卒)委員長(六代)となる。	昭和44年11月23日	相良敬太郎会長、再選される。
昭和27年5月18日	会則の一部変更され、これにともない下中忠一委員長、初代会長となる。	昭和46年4月1日	芳本利次校長、名誉会長となる。
昭和28年5月10日	会則の一部変更され、広瀬義雄校長、名誉会長となる。	昭和46年11月14日	小南一雄(高級科機械科四回卒)会長(六代)となる。会則の一部変更され、終身会費完納者には正会員章を無料で交付することになる。
	下中忠一会長、再選される。	昭和48年4月1日	岡川正一会長、名誉会長となる。
		昭和48年11月23日	小南一雄会長、再選される。
		昭和50年11月7日	7日より9日まで三日間、母校創立50周年記念祭を学校と共催する。
		昭和50年11月9日	小南一雄会長、三選される。

昭和51年4月1日 若狭豊顕(高級科機械科五回卒)校長、
名誉会長となる。

昭和52年11月20日 福原均(高級科紡織科五回卒)会長(七
代)となる。

昭和54年11月23日 福原均会長、再選される。評議員増員
について会則の一部変更される。

昭和56年11月22日 西薫(高級科機械科八回卒)会長(八代)
となる。

昭和58年4月1日 柑本順平校長、名誉会長となる。

昭和58年11月13日 西薫会長、再選される。

昭和60年11月8日 8日から10日まで母校創立60周年記念
行事を実施する。

昭和62年11月15日 南昭弘(高級科紡織科十一回卒)会長
(九代)となる。

昭和63年4月1日 小林謙三校長、名誉会長となる。

平成元年11月19日 南昭弘会長、再選される。

平成3年11月23日 南昭弘会長、再選される。

平成4年4月1日 重森治校長、名誉会長となる。

平成5年11月28日 小野忍(工高機八回卒)会長(十代)とな
る。

平成7年4月1日 鯨島俊治校長、名誉会長となる。

平成7年11月23日 小野忍会長、再選される。

平成8年11月2日 母校創立70周年記念行事を実施する。

平成9年11月24日 植野一(定紡織科昭和30年卒)会長
(十一代)となる。

平成10年4月1日 石岡信吾校長、名誉会長となる。

平成11年10月31日 植野一会長、再選される。

平成13年4月1日 坪内一秋校長、名誉会長となる。



平成13年11月23日 植野一会長、再選される。

平成15年4月1日 山脇正隆校長、名誉会長となる。

平成15年11月23日 植野一会長、再選される。

平成17年11月3日 母校創立80周年記念行事を実施する。

平成17年11月3日 植野一会長、再選される。

平成18年4月1日 竹形英徳校長、名誉会長となる。

平成19年12月9日 植野一会長、再選される。

平成21年4月1日 下野敏幸校長、名誉会長となる。

平成21年11月7日 石垣進(定機械昭和41年卒)会長(十二
代)となる。

平成21年11月7日 佐工会会則一部改訂

平成22年4月1日 上條藤夫校長、名誉会長となる。

平成23年11月12日 石垣進会長再選される。

平成25年11月16日 石垣進会長再選される。

平成26年4月1日 阿部政之校長、名誉会長となる。

平成27年10月31日 母校創立90周年記念行事を開催する。
田脇光浩(定機械科昭和42年卒)会長
(十三代)となる。

平成29年4月1日 山本好男校長、名誉会長となる。

平成29年11月11日 田脇光浩会長再選され、現在に至る。



資料

SANO TECHNOLOGY HIGH SCHOOL
100TH ANNIVERSARY



〈全日制〉

佐野工の進路指導にとってこの10年間は、「変化の多い10年間」でした。

（1）学校内のキャリア教育体制

大阪府立高校・大阪市立高校再編整備計画（2019（平成 31）年度から 2023 年度）に伴い、社会で必要な能力を育成する PBL（Project-Based Learning）の導入が始まりました。特に本校では、1 年生「（学）キャリアガイダンス」（1 単位）、2 年生「総合的な探究の時間」（2 単位）、3 年生「課題研究」（3 単位）を中心に PBL 学習を行っています。

また、本校の伝統である学校全体で取り組む進路指導として、就職試験対策や、履歴書・面接指導など充実した支援が続いています。加えて、多様化する進学指導に対応した生徒および保護者説明会や進学指導にも取り組んでおり、生徒の進路に応じた支援体制を整えています。

（2）高校卒業後の社会情勢

平成20年のリーマンショック以降、世界全体の景気減速に伴い国内企業の採用活動も影響を大きく受けましたが、平成25年を境に徐々に景気回復が進みました。

しかし、世界が景気回復に向けて歩みを進めているところに、令和 2 年から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が流行し、感染拡大防止のために経済活動も抑制を余儀なくされ、これにより急激かつ大幅な景気後退を経験しました。

一方でこの間に、リモート環境の整備などが進み、進路指導におけるデジタル化が大きく進みました。また、景気回復も進み、それに伴い賃金上昇等も進んでいます。

（3）就職状況

新規高卒生の就職状況は、景気回復と少子化の影響もあり、就職しやすい環境が続いています。求人は、長年求人を受けている堺・泉南地域の企業が中心になります。加えて、近年の高校再編の影響もあり、大阪府内各地や近隣府県からの求人も増えています。また、令和 3 年より隣の和歌山県では複数応募が可能になる、大阪でも公開求人に限った複数応募が可能になるなどの変化がありました。

就職希望者の割合は、少しずつ減少し近年は 6 割を少し超える範囲で推移しています。これまで就職した卒業生の活躍もあり「佐野工生をぜひ採用したい」という企業の声も聞くことが多く、それに応えるよう在校生も頑張っています。

（4）進学状況

この10年間の進学環境は、2021年度から AO 入試が総合型選抜という名前の入試制度に変わりました。それに伴い、各学校が特色のある入試制度を設け、生徒の受験方法も多様になりました。これまでの学校の特別推薦（いわゆる指定校推薦）による進学だけではないため、受験先を決めるための動きも早くなっている傾向があります。今後、より一層、進学する生徒を取り巻く環境が変わっていくことが考えられます。



■ 進路状況の変遷（昭和61年度～令和6年度）

卒業年度	求人企業数	倍率 社／人	延べ 求人人数	倍率 人／人	卒業者数	就職者数	就職者%	進学者数	進学者%	その他
昭和61年度	542	2.5	730	3.5	270	259	95.9	11	4.1	0
昭和62年度	544	2.5	758	3.4	279	262	93.9	16	5.7	1
昭和63年度	837	3.6	1252	5.5	277	256	92.4	21	7.6	0
平成元年度	1165	5.4	1748	8.1	274	261	95.3	13	4.7	0
平成2年度	1690	7.5	2873	12.4	283	271	95.8	9	3.2	3
平成3年度	1869	8.1	3177	13.8	289	266	92.0	21	7.3	2
平成4年度	1853	8.3	2535	11.4	279	251	90.0	25	9.0	3
平成5年度	1296	6.4	1621	8.0	267	226	84.6	33	12.4	8
平成6年度	768	4.4	849	4.8	235	209	88.9	25	10.6	1
平成7年度	608	4.2	657	4.5	237	184	77.6	48	20.3	5
平成8年度	604	3.6	665	4.0	254	204	80.3	49	19.3	1
平成9年度	654	4.4	721	4.9	221	173	78.3	44	19.9	4
平成10年度	451	3.6	496	3.9	216	163	75.5	40	18.5	2
平成11年度	268	2.0	249	2.2	242	132	67.8	62	25.6	6
平成12年度	281	2.3	302	2.5	225	159	70.7	64	28.4	2
平成13年度	275	2.0	312	2.2	247	178	72.2	64	25.9	5
平成14年度	270	2.2	327	2.7	239	149	62.3	66	27.6	24
平成15年度	266	2.4	318	2.9	210	129	61.4	70	33.3	11
平成16年度	261	2.1	311	2.5	208	138	66.3	70	26.9	13
平成17年度	324	2.4	384	2.9	208	143	68.8	59	28.4	6
平成18年度	387	3.0	455	3.6	208	137	65.9	68	32.7	3
平成19年度	445	2.6	508	2.9	239	181	75.7	58	24.3	0
平成20年度	421	2.7	521	3.4	234	170	72.6	60	25.6	2
平成21年度	264	2.0	315	2.4	231	148	64.1	76	32.9	4
平成22年度	254	1.4	319	1.8	258	186	72.1	64	24.8	4
平成23年度	259	1.5	314	1.8	261	184	70.5	65	24.9	1
平成24年度	256	1.4	308	1.7	259	180	69.5	71	27.4	3
平成25年度	227	1.18	282	1.47	258	201	77.9	53	20.5	4
平成26年度	279	1.57	346	1.94	260	185	71.2	70	20.5	5
平成27年度	325	1.89	427	2.48	243	181	74.5	58	23.9	1
平成28年度	349	2.09	455	2.72	248	179	72.2	62	25	0
平成29年度	392	2.48	533	3.37	237	175	73.8	61	25.7	0
平成30年度	440	2.8	606	3.86	243	173	71.2	67	27.6	3
平成31年度	480	2.81	632	3.7	253	190	75.1	61	24.1	2
令和2年度	410	2.54	517	3.21	255	179	70.1	66	25.9	10
令和3年度	448	3.11	539	3.74	224	156	69.6	62	27.7	6
令和4年度	509	3.88	655	5.0	201	131	65.2	53	26.4	3
令和5年度	600	5.17	712	6.14	187	123	65.8	64	34.2	0
令和6年度	665	6.10	718	6.59	173	109	63.0	59	34.1	5

* 求人企業数 … 指定校求人と一部公開求人の延べ求人企業数（指定校求人票件数）。

* 倍率 …………… 学校斡旋で就職を希望する生徒1人に対して、何社の求人があったかを示すもの。

* 延べ求人人数 … 1社で複数名希望する企業もあるため、求人企業数よりも多くなる。

* 就職者数 …… 学校斡旋・縁故・自営・公務員就職の合計。

* 進学者数 …… 4年制大学・短期大学・専門学校等の合計。

教育課程の変遷

令和7年度カリキュラム

■ 1年生総合募集

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1年	国語				社会			数学			理科		体育		保健		英語		美術		家庭		工業技術基礎		工業情報数理		工業科目		(学) チャレンジ		(学) キャリアガイダンス	LHR

■ 2年・3年・各系

産業創造系 製品開発専科 テキスタイルデザイン専科																															
機械系 機械技術専科 機械設計専科																															
電気系 電気技術専科 電子制御専科																															

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
2年	国語	社会	数学	理科	体育	保健	英語	選択科目			専門実習						専門科目				(学)チャレンジ		総合探究		LHR							
								専門	専門																							
								数学	英語																							
3年	国語	社会	数学	体育	英語	選択科目			課題研究		専門実習						専門科目				(学)チャレンジ		LHR									
						専門	専門	専門																								
						数学	理科	英語																								

産業創造系（繊維工業科（昭和60年度）・テキスタイル工学科（平成8年度～18年度））

■ 昭和60年度

科目	学年			合計
	1年	2年	3年	
繊維工業実習	3	6	6	15
繊維製品製造	3	3	5	11
繊維、繊維製品	2	2	2	6
繊維製図	2			2
繊維染色デザイン			2	2
工業数理		2	2	4
電気一般			2	2
学年別合計単位	10	13	19	42

■ 平成8年度

科目名	学年			合計
	1年	2年	3年	
工業基礎	4			4
テキスタイル実習		6	6	12
工業数理	2			2
情報技術基礎	2			2
課題研究			2	2
テキスタイル基礎	2			2
テキスタイル技術		3	3	6
テキスタイルデザイン			*2	*2
新素材			*2	*2
管理システム			*2	*2
電気基礎		2	2	4
電子基礎			*2	*2
合 計	10	11	13 +⑥	34 +⑥

*印は選択科目

■ 平成14年度以前

科目名	1年	2年	3年
工業技術基礎	4		
テキスタイル実習		6	6
テキスタイル製図			2
工業数理	2		
情報技術基礎	2		
課題研究			2
テキスタイル基礎	2		
テキスタイル技術		3	#2
テキスタイルデザイン			*2
新素材			*2
管理システム技術			*2
電気基礎		2	#2
電子基礎			*2
デザイン技術			#2

■ 平成15年度～16年度

科目名	1年	2年	3年
工業技術基礎	3		
課題研究			2
テキスタイル実習		6	6
テキスタイル製図	3		
工業数理基礎	2		
情報技術基礎	2		
生産システム技術		2	*2
地球環境技術			2
デザイン技術			#2
テキスタイル基礎	2		
テキスタイル染色技術		2	#2
新素材			*2
テキスタイルデザイン			*2
管理システム技術			*2
総合的な学習の時間		2	

■ 平成17年度～23年度

学年	共通	プロダクト工学専科			デザイン工学専科		
	1年	2年	3年	計	2年	3年	計
工業技術基礎	3						
課題研究			3			3	
プロダクト工学実習		5⇒6	4				
デザイン工学実習					5⇒6	4	
テキスタイル製図					2		
工業数理基礎		2					
情報技術基礎	2			32			
生産システム技術			2				
電気基礎	2			34			32
地球環境化学			2	36		2	34
デザイン史						*2	36
デザイン技術		*2		38	*2	*2	38
デザイン材料			*2	40		*2	40
(学) テキスタイル基礎		3⇒2		42	3⇒2		42
(学) 製図基礎	2						
(学) 新素材			*2				
(学) 管理システム技術			*2				
(学) テキスタイルデザイン						2	
(学) テキスタイル染色技術							
⇒(学) テキスタイル製品			2			2	
(学) キャリア実現		*2			*2		
(学) キャリアプランニング	1			1			1
教科・科目の合計	10	10～14	13～19		10～14	13～19	

*印は選択科目

■ 平成24年度～

学年	共通	プロダクト工学専科			デザイン工学専科		
	1年	2年	3年	計	2年	3年	計
工業技術基礎	3						
課題研究			3			3	
プロダクト工学実習		6	6				
デザイン工学実習					6	6	
工業数理基礎		*2			*2		
情報技術基礎	2						
生産システム技術			*2	34			34
電気基礎	2			36			36
地球環境化学							
⇒環境工学基礎			2	38		2	38
デザイン史						*2	40
デザイン技術		2		40	2	*2	40
デザイン材料			*2	42			42
(学) 製図基礎	2						
(学) 産業財産権			*2				
(学) 管理システム技術		2			2		
(学) テキスタイルデザイン						*2	
(学) テキスタイル製品			2			2	
(学) キャリア実現		2			2		
(学) キャリアプランニング	1			1			1
教科・科目の合計	10	12～14	13～19		12～14	13～19	

*印は選択科目

教育課程の変遷

機械系〔機械科（昭和60年度）・電子機械科（平成8年度～18年度）〕

■ 昭和60年度

教科	科 目	学年			合計
		1年	2年	3年	
工業	機械実習	5	5	7	17
	機械製図	3	2	3	8
	工業数理		2		2
	機械工作		2	2	4
	機械設計	2	2	2	6
	原動機			3	3
	電気一般			2	2
他	普通科目	22	19	13	54
教科・科目の計		32	32	32	96

■ 平成7年度～11年度

科目名	1年	2年	3年	計
工業基礎	4			34 (6)
電子機械実習		5	6	
電子機械製図	2	2	3	
工業数理	2			
情報技術基礎	2			
課題研究			2	
機械工作			*2	
機械設計		2		
原動機			*2	
計測・制御			*2	
電子機械			2	
電子機械応用			*2	
電子基礎		2		
教科・科目の合計	10	11	13 (6)	

■ 平成12年度～14年度

科目名	1年	2年	3年	計
工業基礎	4			33 (6)
電子機械実習		5	6	
電子機械製図	2	2	2	
工業数理	2			
情報技術基礎	2			
課題研究			2	
機械工作			*2	
機械設計		2		
原動機			*2	
計測・制御			*2	
電子機械			2	
電子基礎		2		
教科・科目の合計	10	11	12 (6)	

■ 平成15年度～16年度

科目名	1年	2年	3年	計
工業基礎	6			34 (6)
電子機械実習		6	6	
電子機械製図	2	2	2	
工業数理基礎	2			
情報技術基礎	2			
課題研究			2	
機械工作			*2	
機械設計		2		
自動車工学			*2	
電子機械技術			*2	
生産システム技術			2	
教科・科目の合計	12	10	12 (6)	
総合的な学習の時間		2		

■ 平成17年度～23年度

学年	共通	機械技術専科			機械設計専科		
	1年	2年	3年	計	2年	3年	計
工業技術基礎	3			32 42			32 42
課題研究			3			3	
機械技術実習		6	5				
機械設計実習					6	5	
機械製図		2	3		2	3	
情報技術基礎	2						
生産システム技術			*2				
工業技術英語						*2	
機械工作			2				
機械設計		2	*2		2	*2	
原動機			*2			2	
自動車工学		*2	*2		*2		
電気基礎	2			32 42			32 42
電子計測制御			*2				
地球環境化学						*2	
(学) 製図基礎	2						
(学) キャリア実現		*2			*2		
(学) キャリアプランニング	1						
教科・科目の合計	10	10～14	13～19		10～14	13～19	

※印は選択科目

■ 平成24年度～

学年	共通	機械技術専科			機械設計専科		
	1年	2年	3年	計	2年	3年	計
工業技術基礎	3			34 42			34 42
課題研究			3			3	
機械技術実習		6	5				
機械設計実習					6	5	
機械製図		2	3		2	3	
工業数理基礎		*2			*2		
情報技術基礎	2						
生産システム技術			*2				
機械工作		2	*2		2	*2	
機械設計		2	2		2	2	
原動機			*2			*2	
自動車工学			*2				
電気基礎	2			34 42			34 42
地球環境化学・環境工学基礎			*2				
(学) 製図基礎	2						
(学) キャリアプランニング	1						
教科・科目の合計	10	12～14	13～19		12～14	13～19	

※印は選択科目

電気系（電気科（昭和60年度～18年度））

■ 昭和60年度

科目名	学 年			計
	1年	2年	3年	
工業基礎	3			3
電気実習		4	8	12
電気製図	2	2		4
工業数理			2	2
電気基礎	5	3		8
電気技術Ⅰ		4	4	8
電気技術Ⅱ			5	5
計	10	13	19	42

■ 平成7年度

科目名	学 年		
	1年	2年	3年
工業基礎	3		
電気実習		4	8
電気製図		2	※2
工業数理	2		
情報技術基礎	2		
課題研究			2
電気基礎	4	3	
電気機器		3	
電力技術			3
電子技術			※2
電力応用			※2
ハードウェア技術			※1
工業英語			※1

■ 平成8～11年度

科目名	学 年		
	1年	2年	3年
工業基礎	2		
電気実習		3	8
電気製図		2	※2
工業数理	2		
情報技術基礎	2		
課題研究			2
電気基礎	4	3	
電気機器		3	
電力技術			4
電子技術			※2
電力応用			※2
ハードウェア技術			※1
工業英語			※1

■ 平成12年度

科目名	学 年		
	1年	2年	3年
工業基礎	2		
電気実習		3	8
電気製図		2	※2
工業数理	2		
情報技術基礎	2		
課題研究			2
電気基礎	4	3	
電気機器		3	
電力技術			3
電子技術			※2
電力応用			※2
ハードウェア技術			※1
工業英語			※1

■ 平成13～14年度

科目名	学 年		
	1年	2年	3年
工業基礎	2		
電気実習		3	8
電気製図		2	※2
工業数理	2		
情報技術基礎	2		
課題研究			2
電気基礎	4	3	
電気機器		3	
電力技術			3
電子技術			※2
電力応用			※2
ハードウェア技術			
工業英語			※2

■ 平成15～16年度

科目名	学 年			計
	1年	2年	3年	
工業技術基礎	3			3
電気実習	3	3	6	12
電気製図		2	※2	2～※4
工業数理				
情報技術基礎	2			2
課題研究			3	3
電気基礎	4	2		6
電気機器		3		3
電力技術		2	3	5
電子技術			※2	※2
ソフトウェア技術			※2	※2
マルチメディア応用			※2	※2
工業技術英語			※2	※2
(学) 電気の演習			※2	※2
計	12	12	12～18	36～42

■ 平成17～23年度／平成24年度～

電気技術専科教育課程表

(電気主任技術者認定に関する科目)

科目（工科）	平成17年～平成23年			
	1年	2年	3年	計
電気技術実習		6	6	12
電気製図			※2	※2
情報技術基礎	2			2
電気基礎	2	※4		※6
電気機器		2		2
電力技術			※6	※6
計	4	12	14	30

科目（工科）	平成24年～			
	1年	2年	3年	計
電気技術実習		6	6	12
電気製図			※2	※2
情報技術基礎	2			2
電気基礎	2	4		6
電気機器		※2		※2
電力技術			※6	※6
計	4	12	14	30

電気技術専科教育課程表

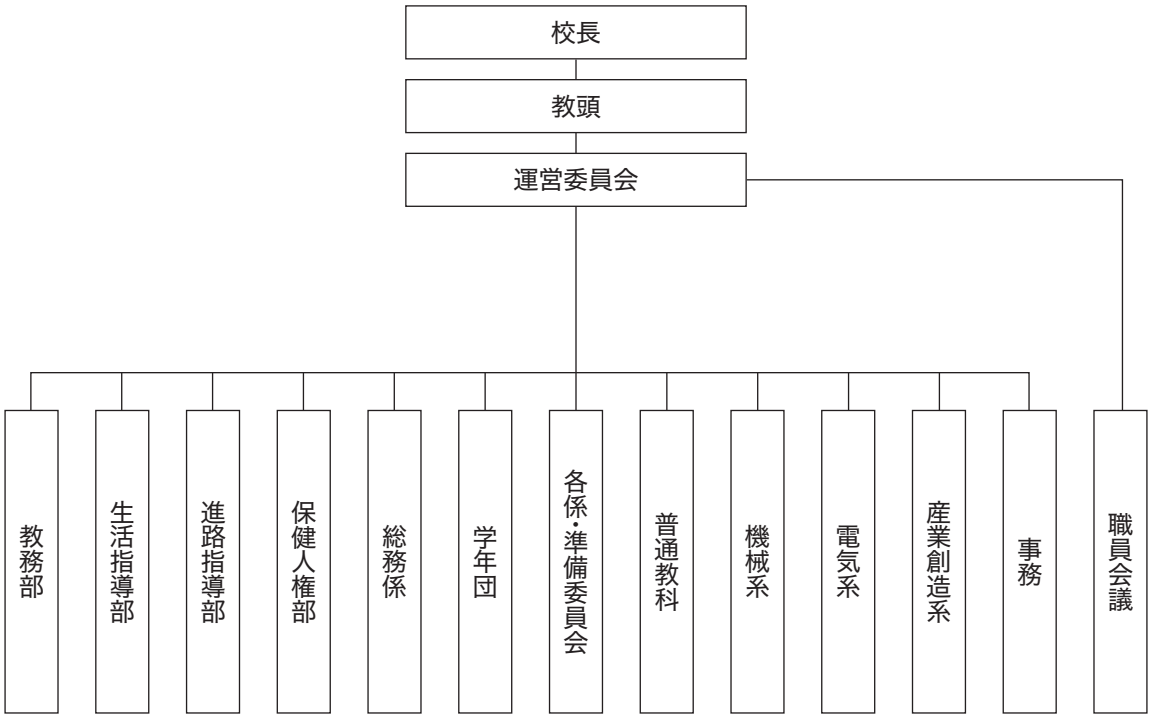
(第三種陸上特殊無線に関する科目)

科目（工科）	平成17年～平成23年			
	1年	2年	3年	計
工業技術基礎	3			3
通信技術			※2	※2
計	3	0	2	5

科目（工科）	平成24年～			
	1年	2年	3年	計
工業技術基礎	3			3
通信技術			2	2
計	3	0	2	5

* H24年度入学生より通信技術が必修になったため、電子制御専科卒業生全員が第三種陸上特殊無線技士の資格を取得できるようになりました。

校務分掌図



運営委員会

管理運営について総合的計画を立て、職員会議提出議案の調整を行う。

教務部

学籍・成績に関する記録、学習指導計画、教育課程、成績評価に関する事項、生徒の在籍異動に関する事項、行事予定、時間割、教科書等学習に係る全般的事項を主管する。

生活指導部

生徒の生活習慣、生活態度について指導的役割を果たす。懲戒、交通安全、ホームルーム立案、道徳教育、部活動、行事の立案等。

進路指導部

生徒の進路（進学・就職）について指導と助言、資料・統計の作成、奨学金、キャリアガイダンス、各種模擬試験、総合的な探究の時間、図書室等を所管。

保健人権部

生徒の健康保持に指導的役割を果たす。保健衛生に関する計画及び実施、スポーツ振興センター、感染症、保健に係る啓発、人権教育に係る研修立案、生徒の人権教育に係る計画立案等。

総務係

PTA に対する運営補助、オープンスクールに係る業務。

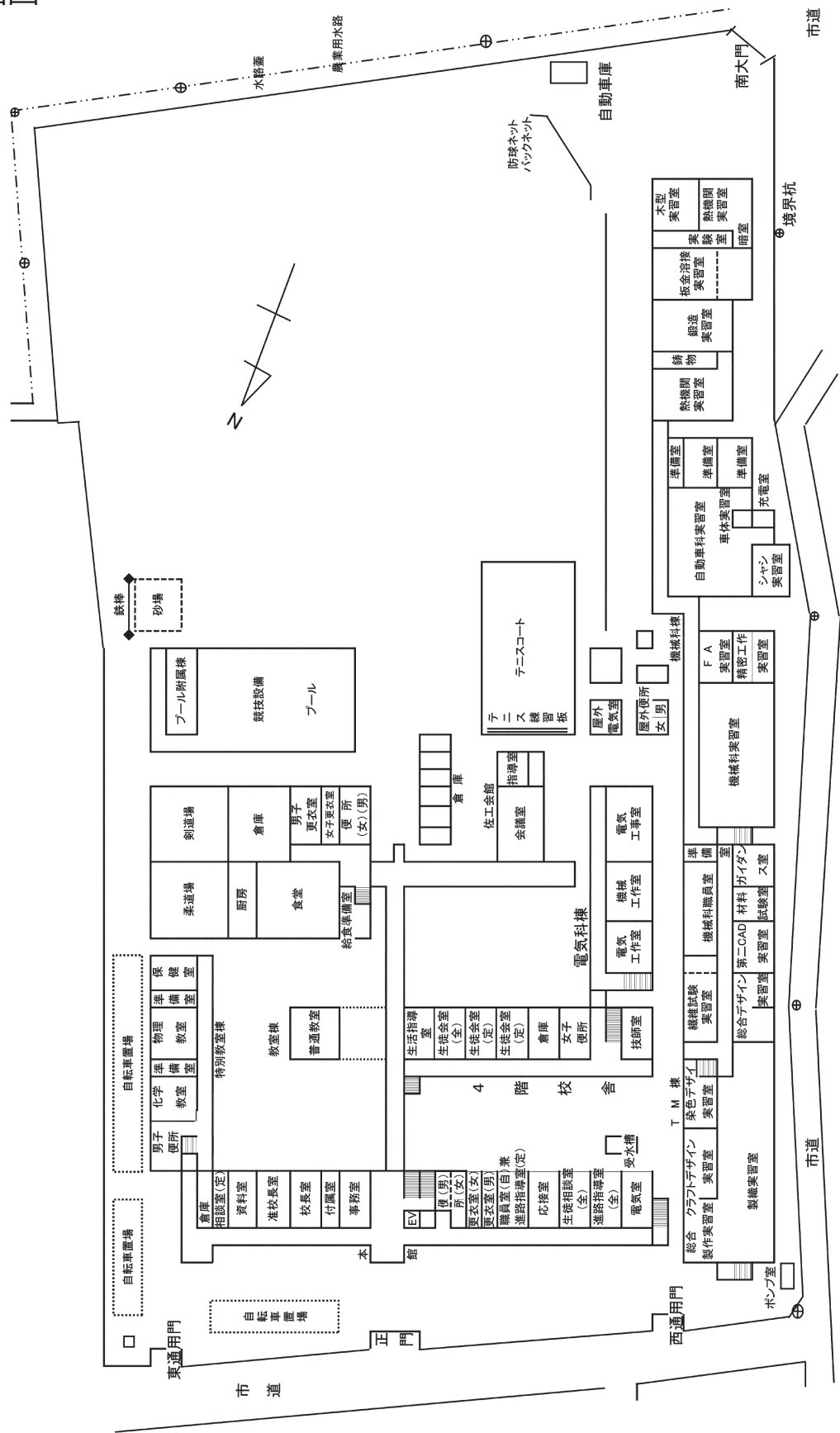
各系・各科

普通教科、産業創造系、機械系、電気系
各専門分野の教育計画立案および実施、施設の管理等。

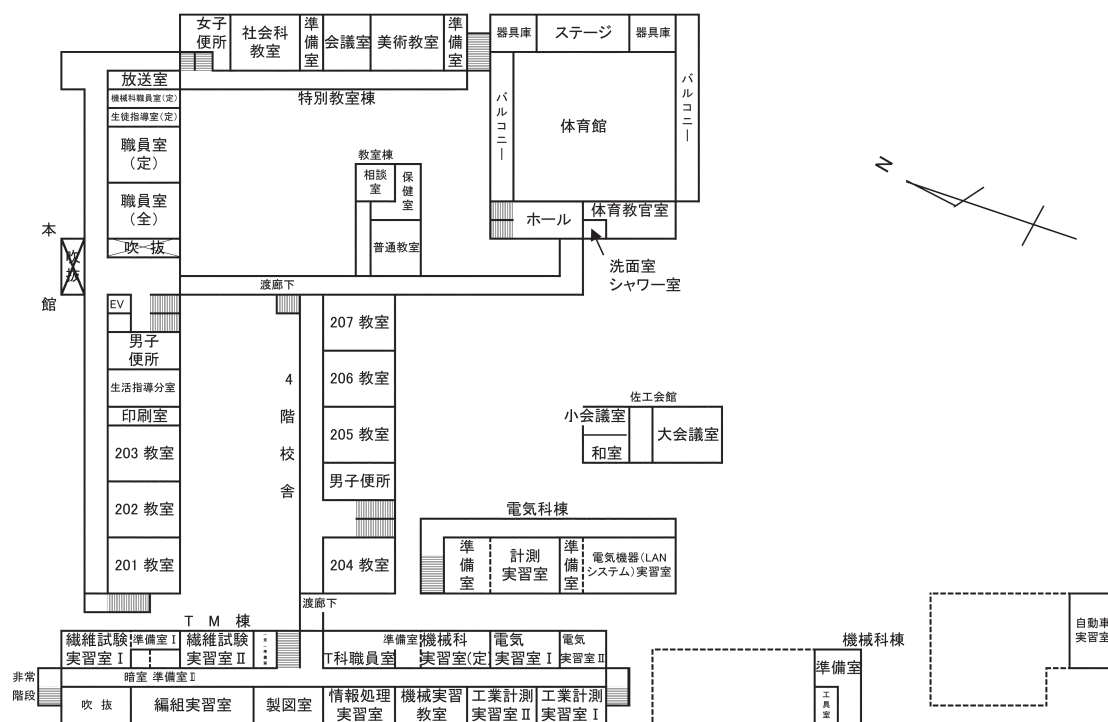
各委員会

地域連携係、体育行事实行係、広報準備委員会、カリキュラム準備委員会、系・専科選択決定準備委員会、支援教育委員会、学校保健委員会、ハラスメント対応委員会、食物アレルギー対策委員会、いじめ対策特別委員会、安全衛生委員会、入試選抜委員会等。

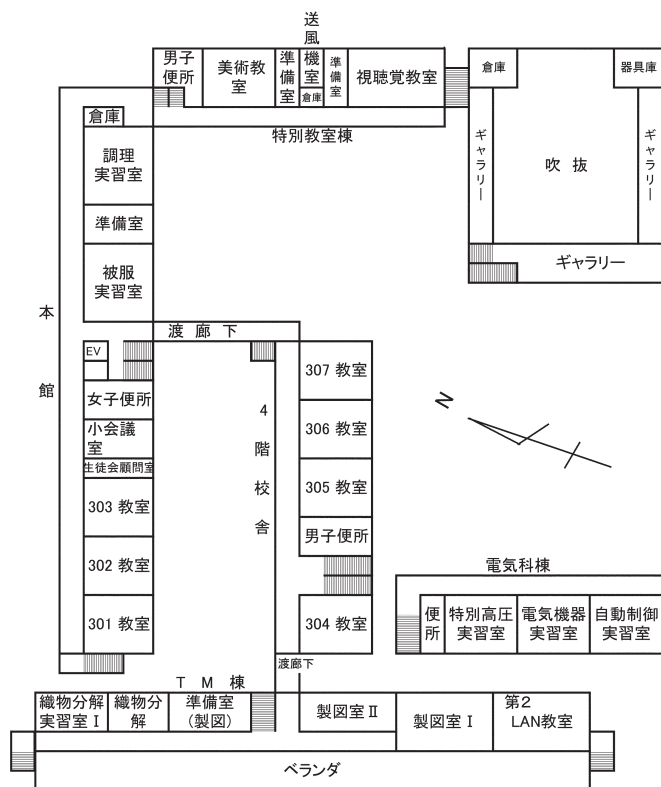
1 階平面図



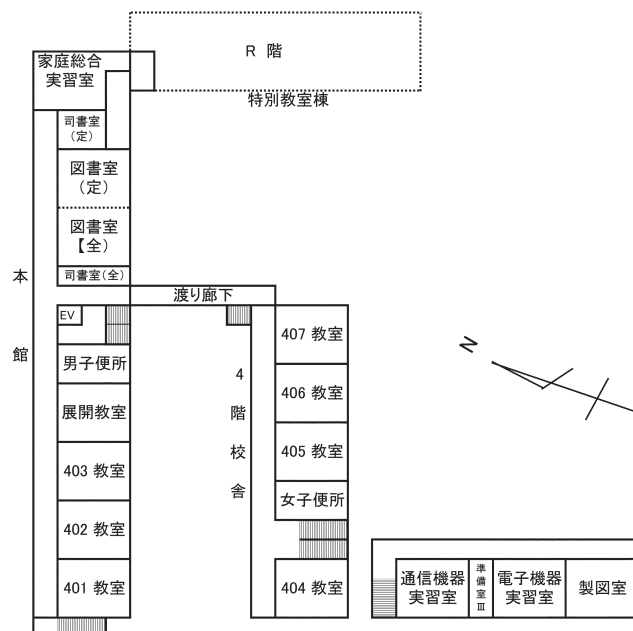
2階平面図



3階平面図



4階平面図



(平成15～令和6年度、22年間)

【全日制】

令和6年度	産業創造系32名	機械系72名	電気系68名
令和5年度	産業創造系27名	機械系91名	電気系69名
令和4年度	産業創造系34名	機械系104名	電気系63名
令和3年度	産業創造系39名	機械系107名	電気系78名
令和2年度	産業創造系63名	機械系114名	電気系78名
令和元年度	産業創造系70名	機械系114名	電気系69名
平成30年度	産業創造系59名	機械系105名	電気系79名
平成29年度	産業創造系58名	機械系103名	電気系74名
平成28年度	テキスタイル系67名	機械系102名	電気系79名
平成27年度	テキスタイル系62名	機械系89名	電気系83名
平成26年度	テキスタイル系64名	機械系113名	電気系83名
平成25年度	テキスタイル系63名	機械系117名	電気系78名
平成24年度	テキスタイル系71名	機械系107名	電気系81名
平成23年度	テキスタイル系78名	機械系103名	電気系80名
平成22年度	テキスタイル系74名	機械系119名	電気系65名
平成21年度	テキスタイル系65名	機械系99名	電気系67名
平成20年度	テキスタイル系60名	機械系96名	電気系78名
平成19年度	テキスタイル系58名	機械系113名	電気系68名
平成18年度	テキスタイル工学科67名	電子機械科73名	電気科68名
平成17年度	テキスタイル工学科62名	電子機械科73名	電気科73名
平成16年度	テキスタイル工学科66名	電子機械科73名	電気科69名
平成15年度	テキスタイル工学科62名	電子機械科75名	電気科73名

【定時制】

令和6年度	総合学科17名		
令和5年度	総合学科12名		
令和4年度	総合学科9名		
令和3年度	総合学科27名		
令和2年度	総合学科27名		
令和元年度	総合学科43名		
平成30年度	総合学科40名		
平成29年度	総合学科47名		
平成28年度	総合学科57名		
平成27年度	総合学科60名		
平成26年度	総合学科62名		
平成25年度	総合学科56名		
平成24年度	総合学科85名		
平成23年度	総合学科86名		
平成22年度	総合学科62名		
平成21年度	総合学科50名		
平成20年度	総合学科52名		
平成19年度	総合学科47名		
平成18年度	機械科6名	自動車科6名	普通科27名
平成17年度	機械科20名	自動車科18名	普通科22名
平成16年度	機械科10名	自動車科25名	普通科20名
平成15年度	機械科10名	自動車科12名	普通科17名

歴代教職員一覧

名 前	担 当	在職期間
福井 満		昭和 2 年～
江口 秀彦		大正15年～昭和 5 年
山本ツエ子		昭和 6 年～
小山 平治	校長	大正15年～昭和10年
小林 建夫	化学	昭和 2 年～昭和10年
植田 孝治	行政	昭和 4 年～昭和10年
小田羽吉郎	紡織	大正14年～昭和10年
吉田 フミ	紡織	昭和10年～
旗持 正男		昭和11年～昭和11年
坂井 索米	機械	大正14年～昭和11年
御船 辰三	行政	大正15年～昭和11年
田中 寿雄	電気	昭和 2 年～昭和12年
石本 勇造	機械	昭和 6 年～昭和12年
森(清岡)清意	機械	昭和11年～昭和12年
森 直行	剣道	昭和11年～昭和12年
大石(長岡)重太郎	機械	昭和12年～昭和13年
佛性 栄治	機械	大正14年～昭和13年
田河 八郎	剣道	昭和 6 年～昭和13年
福田 良策	機械	昭和13年～昭和13年
中川 政雄	機械	昭和13年～
永田勇太郎	講師	昭和 2 年～昭和14年
山田 敬治	英語	昭和11年～昭和14年
佐々木円浄	教練	昭和12年～昭和14年
坂梨 忠彦	剣道	昭和14年～昭和14年
秋田 義演		昭和13年～昭和14年
松本 勲	機械	昭和14年～昭和14年
南出クスノ	行政	昭和11年～昭和15年
長谷川猛虎	機械	昭和13年～昭和15年
松下(川谷)繁子	養護	昭和13年～昭和15年
岩崎 浩		昭和14年～昭和15年
高垣 定楠	教練	昭和15年～
松下 功	機械	昭和15年～
竹井定次郎	紡織	昭和12年～昭和16年
山崎 喜美	紡織	昭和11年～昭和16年
平野 政行	紡織	昭和12年～昭和16年
小橋 正義	機械	昭和14年～昭和16年
前原 信正	剣道	昭和16年～
鳥越 清一	講師	昭和15年～昭和16年
飴谷 繁	機械	昭和15年～昭和17年
信達谷正愛	機械	昭和12年～昭和17年
鍋倉 励	剣道	昭和13年～昭和17年
山本 忠雄	体育	昭和12年～昭和17年
松下栄太郎	電気	昭和13年～昭和17年
牧 克忠	英語	昭和15年～昭和17年

名 前	担 当	在職期間
三浦 敬直		昭和16年～昭和17年
滝上 秀敏	機械	昭和17年～昭和17年
白石英之助		昭和14年～昭和18年
松広 信義	行政	昭和11年～昭和18年
山田 庸	校長	昭和11年～昭和18年
立石 武雄	機械	昭和13年～昭和18年
名倉ハルエ	紡織	昭和15年～昭和18年
室 肅	機械	昭和16年～昭和18年
本郷 進	行政	昭和17年～昭和18年
井上 俊雄		昭和17年～昭和18年
馬場谷 勇	機械	昭和18年～
白石 塩菊		昭和17年～昭和18年
射手谷正夫	機械	昭和17年～昭和18年
阪本伊三郎	機械	昭和 2 年～昭和19年
高木電吉郎		昭和17年～昭和19年
林 八一郎		昭和18年～昭和19年
枝松 慎雄	剣道	昭和18年～昭和19年
高橋 実		昭和18年～昭和19年
関谷 正行		昭和19年～
木曾 茂	機械	昭和18年～昭和19年
金井 志郎		昭和19年～昭和19年
金子 英式		昭和19年～昭和19年
石橋 富栄	教練	大正15年～昭和20年
北川 三郎	紡織	昭和 8 年～昭和20年
高橋 徳夫		昭和17年～昭和20年
宮崎 清一		昭和16年～昭和20年
内匠 クラ	紡織	大正14年～昭和20年
川瀬 元義	機械	昭和18年～昭和20年
佐々木 保		昭和15年～昭和20年
長谷川カズエ		昭和17年～昭和20年
酒井 亀治		昭和19年～昭和20年
三牧 正範	英語	昭和18年～昭和20年
畑中 広治		昭和19年～昭和20年
奥野 米三		昭和19年～昭和20年
出口 良春	機械	昭和18年～昭和20年
相良 軍治	機械	昭和19年～昭和20年
根来 伊平	教練	昭和18年～昭和20年
安田 五郎	機械	昭和19年～昭和20年
津村重次郎		昭和19年～昭和20年
田端 勝次		昭和19年～昭和20年
田中 正雄	教練	昭和19年～昭和20年
上門 ヨシ		昭和19年～昭和20年
福田 祐治	紡織	昭和 3 年～昭和21年
鍛治 豊吉	機械	昭和12年～昭和21年

名 前	担 当	在職期間
小川平四郎		昭和17年～昭和21年
長谷川 清	数学	昭和18年～昭和21年
斉藤卯二郎		昭和19年～昭和21年
高田 一美		昭和19年～昭和21年
加藤 英造		昭和20年～昭和21年
加賀 徳明		昭和20年～昭和21年
田丸 欣一	紡織	昭和19年～昭和21年
西川 正三	体育	昭和19年～
野内 武	機械	昭和20年～昭和21年
清水 義雄		昭和20年～昭和21年
辻(塩谷)利平		昭和20年～昭和21年
近藤 和博		昭和17年～昭和22年
柏森 享		昭和18年～昭和22年
赤木 純雄	行政	昭和13年～昭和22年
氏浦 市蔵	機械	昭和18年～昭和22年
福本 為義	機械	昭和16年～昭和22年
毛綿谷 譲	紡織	昭和21年～昭和22年
松浪(阪口)寿々子	行政	昭和21年～昭和22年
岡野 幸雄	紡織	昭和21年～昭和22年
南 正法		昭和21年～昭和22年
庄司 敏治	行政	昭和21年～昭和22年
藤本 知一		昭和20年～昭和22年
小林 元次		昭和21年～昭和22年
荒木 久子	行政	昭和17年～昭和23年
矢野 利治	社会	昭和18年～昭和23年
西野 勝二		昭和13年～昭和23年
岡部 季吉	機械	昭和19年～昭和23年
福島 明	芸術	昭和21年～昭和23年
木村 松三		昭和21年～昭和23年
桜井 和永		昭和22年～昭和23年
嶋田 マス		昭和22年～昭和23年
玉井 清文		昭和22年～昭和23年
小竹 保一		昭和23年～昭和23年
諸熊 壮一	校長	昭和19年～昭和24年
佐野(田葉)慶子	行政	昭和17年～昭和24年
横超 乗雲	教頭	昭和2年～昭和24年
水崎 広	国語	昭和21年～昭和24年
小林 良夫	機械	昭和22年～昭和24年
阪上 茂	紡織	昭和22年～昭和24年
森野 柳一	紡織	昭和23年～昭和24年
逢坂 欣一	機械	昭和23年～昭和24年
坂口 保彦		昭和23年～昭和24年
熊代 淳	行政	昭和23年～昭和25年
岡部(大橋)よしの	行政	昭和24年～昭和25年

名 前	担 当	在職期間
吉田 富代		昭和24年～昭和25年
杉原 康弘		昭和25年～昭和25年
糸川 栄一		昭和25年～昭和25年
井上佐治郎		昭和23年～昭和25年
安田 俊平	機械	昭和23年～昭和26年
浜野 昇三	機械	昭和23年～昭和26年
田中 一男		昭和25年～昭和26年
畑中 義明	体育	昭和26年～昭和26年
久保由起子		昭和26年～昭和26年
南田 和良		昭和26年～昭和26年
原 博	理科	昭和19年～昭和27年
三枝 留蔵	機械	大正14年～昭和27年
千葉 修三	校長	昭和24年～昭和27年
奥野サツエ		昭和26年～昭和27年
大矢(山中)成衛	機械	昭和25年～昭和27年
林 文彦	紡織	昭和25年～昭和27年
円(久世)博	機械	昭和27年～昭和27年
溝手 昌男		昭和26年～昭和27年
花岡富治郎	行政	昭和26年～昭和27年
高田 秋男	紡織	昭和20年～昭和28年
大沢信兵衛	行政	昭和25年～昭和29年
杉本英之助		昭和22年～昭和29年
横山 肇	紡織	昭和25年～昭和30年
上野 忠志	社・数	昭和27年～昭和29年
木戸 忠雄	行政	昭和24年～昭和29年
小林晋一郎	紡織	昭和26年～昭和29年
上林 良一	英語	昭和28年～昭和29年
小原かはる		昭和28年～昭和29年
塩谷 進一	事務長	昭和11年～昭和30年
成原吉太郎	行政	昭和21年～昭和30年
若井 寛	社会	昭和25年～昭和30年
野口(戸崎)美津子	行政	昭和24年～昭和30年
紀岡 宏迪	機械	昭和28年～昭和30年
鈴木 明彦	機械	昭和27年～昭和31年
谷口 寛一	社会	昭和22年～昭和31年
久野 普良	社会	昭和29年～昭和31年
松田 吉晴	体育	昭和30年～昭和31年
広瀬 義雄	校長	昭和11年～昭和32年
山下 正三	機械	昭和17年～昭和32年
千葉 睦朗	機械	昭和30年～昭和32年
千葉 彬	社会	昭和27年～昭和33年
津田 滉	機械	昭和30年～昭和33年
塩崎 義弘	機械	昭和25年～昭和33年
南山 圭三	機械	昭和30年～昭和33年

歴代教職員一覽

名 前	担 当	在職期間
有本 清二	英語	昭和31年～昭和33年
赤井キヨミ	家庭	昭和26年～昭和33年
杉本 憲司	社会	昭和31年～昭和33年
永田 治良	社会	昭和29年～昭和34年
岡嶋 彦一	機械	昭和30年～昭和34年
吉田 博	紡織	昭和28年～昭和34年
佐田(西出)綾子	図書	昭和27年～昭和34年
谷口 勇	国語	昭和29年～昭和34年
丸岡 一清	体育	昭和32年～昭和34年
村井 慎二	行政	昭和32年～昭和34年
稲葉 達雄	校長	昭和33年～昭和35年
木佐(新谷)妙子	行政	昭和25年～昭和35年
樽井 進	機械	昭和31年～昭和35年
柴川 嗣郎	社会	昭和33年～昭和35年
八木ヤスエ	養護	昭和27年～昭和36年
乾 太郎	教頭	昭和22年～昭和36年
門端 武三	機械	昭和25年～昭和36年
西川健次郎	数学	昭和28年～昭和36年
滝本 博	国語	昭和32年～昭和36年
山口えみ子	紡織	昭和34年～昭和36年
芝辻 正夫	行政	昭和35年～昭和36年
河合 大		昭和35年～昭和36年
前(西野)敬子	行政	昭和27年～昭和37年
和田(北野)幸子	行政	昭和30年～昭和37年
米本 保	行政	昭和36年～昭和37年
大和久義夫	機械	昭和32年～昭和37年
水野 保	行政	昭和30年～昭和37年
斎藤 徹	数学	昭和18年～昭和37年
石田嘉一郎	国語	昭和25年～昭和37年
鈴木 千秋	数学	昭和28年～昭和37年
金丸 光一	社会	昭和28年～昭和37年
中谷 昌義	社会	昭和35年～昭和37年
船勢 武久	教頭	昭和16年～昭和37年
西村林一郎	数学	昭和21年～昭和37年
笠松 章二	機械	昭和29年～昭和37年
野島佐喜雄	機械	昭和29年～昭和37年
東 嘉伸	体育	昭和34年～昭和37年
田宮 勝美	行政	昭和36年～昭和37年
西口 久一	国語	昭和33年～昭和37年
中谷(山本)光男	機械	昭和33年～昭和38年
和佐 信夫	行政	昭和37年～昭和38年
小里(石橋)蘭香	行政	昭和26年～昭和38年
内田禮治郎	校長	昭和36年～昭和38年
山田 卓	英語	昭和34年～昭和38年

名 前	担 当	在職期間
下中 修二	行政	昭和36年～昭和38年
千代松 章	機械	昭和34年～昭和38年
森田音治郎	行政	昭和24年～昭和38年
弘光 千代	養護	昭和15年～昭和38年
岩井 正則	行政	昭和38年～昭和38年
射手矢ハルヨ	行政	昭和23年～昭和39年
宮本 清子	行政	昭和25年～昭和39年
津山 敏和	数学	昭和38年～昭和39年
花岡 誠治	体育	昭和38年～昭和39年
北川 照敏	社会	昭和38年～昭和39年
中嶋 登	機械	昭和39年～昭和39年
日野(石橋)千賀子	図書	昭和35年～昭和40年
村田 重俊	英語	昭和23年～昭和40年
西浦トメノ	紡織	昭和17年～昭和40年
北野 敏行	機械	昭和21年～昭和40年
田井 基温	紡織	昭和39年～昭和40年
榊井 澄子	養護	昭和37年～昭和40年
杉本 公文	校長	昭和39年～昭和40年
土田 克孝	社会	昭和26年～昭和40年
本間 鉄造	機械	昭和39年～昭和40年
奥井 弘一	行政	昭和39年～昭和40年
大沢 温幸	行政	昭和30年～昭和41年
梶本トシ子	行政	昭和38年～昭和41年
松田(古内)栄子	行政	昭和34年～昭和41年
阪口登三郎	社会	昭和38年～昭和41年
伊藤 政夫	理科	昭和40年～昭和41年
梅崎 輝信	数学	昭和39年～昭和41年
古藤 実	事務長	昭和30年～昭和41年
中村 直信	英語	昭和37年～昭和42年
柴田 治三	化学	昭和37年～昭和42年
小笠原晴夫	紡織	昭和41年～昭和42年
福島(真継)明子	英語	昭和41年～昭和42年
石橋 宝子	行政	昭和21年～昭和42年
柏木 栄雄	教頭	昭和21年～昭和43年
神田 義克	機械	昭和41年～昭和43年
椿原 啓	機械	昭和42年～昭和43年
野中 康子	教務	昭和42年～昭和43年
宮崎 彰夫	機械	昭和39年～昭和43年
福山 勇	社会	昭和42年～昭和43年
内田 靖人	行政	昭和38年～昭和43年
松本 又三	保体	昭和40年～昭和43年
花田 清征	数学	昭和42年～昭和43年
寺下比登美	理科	昭和43年～昭和43年
植野秀次郎	行政	昭和26年～昭和44年

名 前	担 当	在職期間
里田 政吉	行政	昭和21年～昭和44年
岡本(松下)良美	図書	昭和41年～昭和44年
秋山富士昭	機械	昭和33年～昭和44年
大矢(新谷)良子	教務	昭和40年～昭和44年
古沢 英一	紡織	昭和39年～昭和44年
三谷千鶴子	国語	昭和36年～昭和44年
千野 恵市	英語	昭和43年～昭和44年
六人部禾典	国語	昭和38年～昭和44年
黒川 敏夫	数学	昭和38年～昭和44年
坂手 央	理科	昭和43年～昭和44年
坂井 誓	機械	昭和42年～昭和44年
今井(村田)加代子	行政	昭和41年～昭和44年
前田貴美子	国語	昭和38年～昭和44年
三谷川 要	英語	昭和39年～昭和44年
池田 光男	体育	昭和40年～昭和44年
林 芳樹	事務長	昭和42年～昭和44年
森田(三木)令子	行政	昭和39年～昭和44年
石原 勝	機械	昭和44年～昭和44年
木戸 豊彦	行政	昭和24年～昭和45年
小里 敏文	行政	昭和38年～昭和45年
丸山 賢三	校長	昭和41年～昭和45年
竹之内悦幸	行政	昭和44年～昭和45年
高橋 岐秋	行政	昭和37年～昭和45年
白石(重里)あつみ	図書	昭和41年～昭和45年
北浦 利孝	紡織	昭和40年～昭和45年
太田 立男	機械	昭和38年～昭和45年
丸山 内子	行政	昭和44年～昭和45年
内田(東)栄子	行政	昭和40年～昭和45年
森栗 喜生	数学	昭和45年～昭和45年
中道 是行	機械	昭和39年～昭和46年
上新泰史郎	機械	昭和27年～昭和46年
前尾(山下)英子	理科	昭和34年～昭和46年
藪野 幸一	機械	昭和44年～昭和46年
岩本 正也	物理	昭和44年～昭和46年
中谷幸治郎	社会	昭和26年～昭和46年
金治(寺杣)幸子	国語	昭和45年～昭和46年
加藤 英樹	紡織	昭和40年～昭和46年
徳原 康彦	自動車	昭和45年～昭和46年
宇都宮宣道	数学	昭和41年～昭和46年
和田 吉剛	英語	昭和44年～昭和46年
森田 一夫	機械	昭和42年～昭和46年
室谷 一男	行政	昭和26年～昭和46年
出口 馨三	数学	昭和44年～昭和46年
根来 誓海	国語	昭和24年～昭和46年

名 前	担 当	在職期間
芳本 利次	校長	昭和46年～昭和47年
西川 清	紡織	昭和21年～昭和47年
山崎 徳治	機械	昭和45年～昭和47年
白野 信三	教頭	昭和38年～昭和47年
岩崎 ムメ	紡織	昭和27年～昭和47年
大山 茂義	自動車	昭和44年～昭和47年
森内 学	行政	昭和43年～昭和47年
中森 孝安	行政	昭和46年～昭和47年
平本歌代子	行政	昭和46年～昭和47年
岩倉 正照	化学	昭和43年～昭和47年
山之口 全	事務長	昭和45年～昭和47年
赤穂要二郎	機械	昭和46年～昭和47年
森脇 進一	保体	昭和45年～昭和47年
岡元 良一	紡織	昭和43年～昭和47年
児島九万雄	紡織	昭和27年～昭和47年
森 つね子	教務	昭和45年～昭和47年
中寫 正志	紡織	昭和26年～昭和48年
福井 鉦治	社会	昭和38年～昭和48年
林美智太郎	機械	昭和26年～昭和48年
西田 亮哉	国語	昭和19年～昭和48年
西中英喜雄	行政	昭和45年～昭和48年
馬場 啓二	行政	昭和40年～昭和48年
野中 公子	英語	昭和43年～昭和48年
藤井健次郎	体育	昭和32年～昭和48年
佐々木義光	行政	昭和28年～昭和48年
山本種治郎	紡織	昭和21年～昭和48年
山内 浩	体育	昭和31年～昭和48年
白石三千男	機械	昭和40年～昭和48年
杉岡 俊男	理科	昭和44年～昭和48年
松下 宏	英語	昭和48年～昭和48年
辻 喜機	英語	昭和45年～昭和49年
原 将浩	社会	昭和41年～昭和49年
岸川 和夫	社会	昭和48年～昭和49年
松原 右樹	国語	昭和47年～昭和49年
面家 喜彦	理科	昭和47年～昭和49年
田中 純次	英語	昭和47年～昭和49年
石川 義雄	機械	昭和47年～昭和49年
万戸(米野)敬子	行政	昭和47年～昭和49年
三間 精司	英語	昭和49年～昭和49年
盛山 獲	英語	昭和49年～昭和49年
岡川 正一	校長	昭和22年～昭和50年
中村 二郎	数学	昭和28年～昭和50年
淵本 俊一	数学	昭和46年～昭和50年
前田(溝口)清美	行政	昭和48年～昭和50年

歴代教職員一覧

名 前	担 当	在職期間
伊西 恵子	行政	昭和48年～昭和50年
岩田 俊二	機械	昭和40年～昭和50年
山本 俊雄	保体	昭和47年～昭和50年
野田 裕志	数学	昭和48年～昭和50年
坂ノ上幹彦	繊維	昭和12年～昭和50年
田中 芳雄	事務長	昭和48年～昭和50年
田中(村林)榛美	国語	昭和45年～昭和51年
菱山 朋子	国語	昭和48年～昭和51年
小西 博行	美術	昭和49年～昭和51年
畠中(池浦)加代子	英語	昭和49年～昭和51年
松尾 善就	機械	昭和25年～昭和51年
生田 勝己	行政	昭和46年～昭和51年
赤田 斌	機械	昭和21年～昭和51年
石田 総子	養護	昭和41年～昭和51年
城山 義光	教頭	昭和48年～昭和52年
山口(松村)鈴子	繊維	昭和24年～昭和52年
柳内(田宮)淳代	繊維	昭和48年～昭和52年
青木(大津)いく子	行政	昭和46年～昭和52年
中嶋 吾一	繊維	昭和28年～昭和52年
六尾 敏蔵	繊維	昭和11年～昭和52年
青木徳三郎	国語	昭和27年～昭和52年
中田 元江	化学	昭和27年～昭和52年
河盛 瑞枝	図書	昭和46年～昭和52年
梅川 邦夫	社会	昭和47年～昭和52年
中野勘二郎	行政	昭和47年～昭和52年
長坂 敏雄	英語	昭和50年～昭和52年
相沢 寛	数学	昭和51年～昭和52年
花房(谷口)波	国語	昭和52年～昭和52年
青木 義男	体育	昭和37年～昭和53年
迫(中村)謙嗣	社会	昭和50年～昭和53年
花房 和夫	数学	昭和51年～昭和53年
中 武雄	機械	昭和18年～昭和53年
井上 一男	行政	昭和49年～昭和53年
山下 徳一	機械	昭和18年～昭和22年 昭和37年～昭和53年
辻村 恭次	教頭	昭和22年～昭和53年
沢田又五郎	機械	昭和27年～昭和53年
西浦 孝夫	社会	昭和48年～昭和53年
林 正博	自動車	昭和48年～昭和53年
山田 敏夫	機械	昭和51年～昭和53年
山口 佳代	国語	昭和52年～昭和53年
松本 忠義	物理	昭和37年～昭和54年
野口 春雄	機械	昭和29年～昭和54年
八木 信夫	繊維	昭和27年～昭和54年
北村 英一	保体	昭和51年～昭和54年

名 前	担 当	在職期間
水原 洋子	国語	昭和52年～昭和54年
西村 直三	理科	昭和53年～昭和54年
入口 慎二	行政	昭和47年～昭和54年
岡本 勝司	教頭	昭和53年～昭和55年
深江 善之	事務長	昭和51年～昭和55年
藤沢 教宣	英語	昭和26年～昭和55年
植田 恵孝	機械	昭和50年～昭和55年
嶽 一彦	行政	昭和53年～昭和55年
迫(佐野)啓子	英語	昭和52年～昭和55年
町谷マリ子	行政	昭和51年～昭和55年
吉田 静二	体育	昭和22年～昭和56年
綿田 哲雄	機械	昭和29年～昭和41年
	教頭	昭和56年～昭和57年
尾崎 久美	国語	昭和53年～昭和56年
沢谷(末吉)美智子	行政	昭和49年～昭和57年
若狭 豊顕	機械	昭和21年～昭和46年
	校長	昭和51年～昭和57年
塩田 敏行	社会	昭和38年～昭和57年
中川 浩文	数学	昭和39年～昭和57年
瀬田 清子	国語	昭和45年～昭和57年
森田 武	繊維	昭和51年～昭和57年
山中 弘之	行政	昭和41年～昭和57年
阪口 広道	国語	昭和27年～昭和57年
伊藤 締一	数学	昭和48年～昭和57年
乗峯 栄一	社会	昭和54年～昭和57年
浜部 康彰	機械	昭和23年～昭和58年
松田 花子	養護	昭和39年～昭和58年
葉山 峰治	英語	昭和50年～昭和58年
細川 真人	繊維	昭和51年～昭和58年
武田 平司	事務長	昭和56年～昭和58年
吉田 信雄	機械	昭和24年～昭和58年
石田 正一	繊維	昭和26年～昭和58年
根来 保	自動車	昭和26年～昭和58年
近藤(吉光)忠司	自動車	昭和45年～昭和58年
道幸(岸上)須賀子	養護	昭和52年～昭和58年
中尾 吉宏	自動車	昭和54年～昭和58年
藤原 正善	国語	昭和58年～昭和58年
加藤 芳樹	社会	昭和58年～昭和58年
溝端 英三	行政	昭和44年～昭和59年
牧野 正伸	繊維	昭和25年～昭和59年
中村 資	国語	昭和50年～昭和59年
坂下 実	繊維	昭和54年～昭和59年
中野 久夫	繊維	昭和55年～昭和59年
森 幸男	機械	昭和47年～昭和59年

名 前	担 当	在職期間
篠原 基修	理科	昭和49年～昭和59年
東 秀雄	教頭	昭和57年～昭和59年
溝端ヨシ子	教務	昭和53年～昭和59年
中原 秀雄	自動車	昭和59年～昭和59年
村田 乙彦	繊維	昭和20年～昭和21年
		昭和34年～昭和60年
梅木茂次郎	機械	昭和21年～昭和60年
河岸 理	教頭	昭和25年～昭和60年
栗村みゆき	国語	昭和54年～昭和60年
志賀 道男	電気	昭和59年～昭和60年
佐藤 賢次	行政	昭和58年～昭和60年
浦田 佳浩	行政	昭和49年～昭和60年
佐田 吉平	繊維	昭和29年～昭和61年
新谷 孝男	行政	昭和39年～昭和61年
花田 嘉之	繊維	昭和23年～昭和41年
		昭和57年～昭和60年
辻野 美登	自動車	昭和55年～昭和60年
安井 直人	国語	昭和58年～昭和60年
辻 幸枝	繊維	昭和48年～昭和60年
西居 元信	自動車	昭和38年～昭和60年
牧田 秀雄	機械	昭和26年～昭和61年
新井(福塚)瑞枝	英語	昭和50年～昭和61年
三輪健一郎	数学	昭和50年～昭和61年
原田 擴	事務長	昭和59年～昭和61年
笠松 正志	自動車	昭和59年～昭和61年
山本(眞田)京子	国語	昭和59年～昭和61年
日根野谷育弘	体育	昭和60年～昭和61年
山本 卓也	国語	昭和60年～昭和61年
柑本 順平	校長	昭和58年～昭和62年
林 道治	社会	昭和51年～昭和62年
坂口 昇	社会	昭和50年～昭和62年
白木 若江	国語	昭和61年～昭和62年
長瀬 良弘	繊維	昭和25年～昭和62年
石橋 武夫	社会	昭和40年～昭和62年
川原 健	教頭	昭和60年～昭和62年
喜納 剛	行政	昭和56年～昭和62年
徳村 正夫	自動車	昭和60年～昭和62年
服部 次男	社会	昭和44年～昭和62年
岸 研一	機械	昭和28年～昭和63年
南 豊	機械	昭和27年～昭和63年
上岡 哲夫	保体	昭和48年～昭和63年
山本 政弘	自動車	昭和61年～昭和63年
本田 子	養護	昭和59年～昭和63年
乾 均	電気	昭和63年～昭和63年

名 前	担 当	在職期間
根本 博	社会	昭和63年～昭和63年
我妻 和夫	機械	昭和63年～昭和63年
田中 常和	教頭	昭和46年～平成元年
吉廻 武司	数学	昭和62年～平成元年
三木 康晴	保体	昭和61年～平成元年
中辻 武男	機械	昭和23年～平成元年
永井 一	機械	昭和26年～平成元年
中山 幸三	機械	昭和37年～平成元年
田中 務	繊維	昭和28年～平成元年
芝本 長久	事務長	昭和62年～平成元年
長岡 博	機械	昭和63年～平成元年
林堂 進	社会	昭和63年～平成元年
澤 美佳	英語	昭和63年～平成元年
沼田 裕則	社会	平成元年～平成元年
井上 直美	養護	平成元年～平成元年
檜崎 賀代	国語	平成元年～平成2年
池田 藤夫	行政	昭和61年～平成2年
白井惣之助	機械	昭和39年～平成2年
日根 和夫	電気	昭和58年～昭和63年
	教頭	平成元年～平成2年
嶋 伸香	機械	平成2年～平成2年
小林 謙三	校長	昭和63年～平成3年
首藤 保	繊維	昭和45年～平成3年
藤田 誠三	数学	昭和51年～平成3年
桑原耕太郎	物理	昭和50年～平成3年
平山 和嘉	英語	昭和59年～平成3年
木佐 正雄	繊維	昭和28年～平成3年
横山 晃彦	機械	昭和59年～平成3年
寺本 泰規	電気	昭和58年～平成3年
松村シヅ子	行政	昭和40年～平成3年
家次 一昭	行政	昭和48年～平成3年
土井 幸也	行政	昭和46年～平成3年
杉森 英二	電気	昭和58年～平成3年
井上 由郎	国語	昭和63年～平成3年
大山 美穂	国語	平成3年～平成3年
安枝 久芳	事務長	平成2年～平成4年
磯打修三郎	機械	昭和28年～平成4年
滝本 守	テキスタイル工学	昭和22年～平成4年
松田 皓平	社会	昭和42年～平成4年
福本 明広	社会	昭和63年～平成4年
上間 進	社会	平成2年～平成4年
境谷 秀一	理科	昭和61年～平成4年
東野ツヤ子	英語	平成元年～平成4年
赤井 仁	機械	昭和54年～平成4年

歴代教職員一覽

名 前	担 当	在職期間
中西 徳治	電気	昭和60年～平成 4 年
森田 章裕	行政	平成 3 年～平成 4 年
下出 豊勝	自動車	昭和62年～平成 4 年
松浪 孝一	行政	昭和32年～平成 4 年
藤野 義信	機械	昭和62年～平成 4 年
内田 優子	国語	平成 4 年～平成 4 年
大鹿 久義	国語	平成 4 年～平成 4 年
金 香都子	ハングル	平成 4 年～平成 4 年
甚谷 徹	数学	昭和54年～平成 5 年
田中 悦	理科	昭和48年～平成 5 年
✓野 敏行	保体	昭和57年～平成 5 年
寄田 寿美	英語	平成 4 年～平成 5 年
氏浦 節雄	機械	昭和45年～平成 5 年
長谷川 信	機械	昭和29年～平成 5 年
笠谷利一郎	機械	昭和27年～平成 5 年
山本 博文	電気	昭和59年～平成 5 年
小谷 幸三	電気	平成 4 年～平成 5 年
佐々木禄子	教務	昭和45年～平成 5 年
西川 正樹	国語	昭和63年～平成 5 年
廣岡 勇人	理科	昭和60年～平成 5 年
宇佐美 昇	保体	平成元年～平成 5 年
武本 重弘	機械	昭和32年～平成 5 年
稲田 俊彦	機械	平成 2 年～平成 5 年
川崎香也子	国語	平成 5 年～平成 5 年
神田 美穂	英語	平成 5 年～平成 5 年
吉田 暁彦	テクスタイル工学	平成 5 年～平成 5 年
保田 耕司	テクスタイル工学	平成 5 年～平成 5 年
石橋 一仁	機械	平成 5 年～平成 5 年
重森 治	校長	平成 4 年～平成 6 年
眞田 節	教頭	平成 2 年～平成 6 年
土居 裕明	保体	昭和40年～平成 6 年
高橋(中嶋)昭雄	数学	昭和50年～平成 6 年
西田 泰敏	数学	平成 3 年～平成 6 年
西澤 督夫	数学	昭和38年～平成 6 年
平田 憲和	行政	平成 3 年～平成 6 年
淀川 和男	美術	昭和52年～平成 6 年
武輪(湯浅)仰美	行政	昭和50年～平成 6 年
出口 博三	行政	昭和61年～平成 6 年
横川 敬一	電子機械	平成 3 年～平成 6 年
大村 祐之	電気	昭和63年～平成 6 年
西原美代子	行政	昭和51年～平成 6 年
伊香 文高	数学	昭和49年～平成 6 年
山崎 誠	国語	平成 5 年～平成 6 年
絹井 和	行政	昭和63年～平成 6 年

名 前	担 当	在職期間
柳内 和夫	社会	昭和49年～平成 7 年
吉田 英文	社会	昭和59年～平成 7 年
北山 憲一	保体	平成 2 年～平成 7 年
長野 秀一	電子機械	昭和45年～平成 7 年
小島 敦	電気	平成 6 年～平成 7 年
東 壮宏	テクスタイル工学	平成 2 年～平成 7 年
辻井 良之	数学	平成 7 年～平成 7 年
吉田 映美	美術	平成 7 年～平成 7 年
山本 勝	事務長	平成 5 年～平成 7 年
塚本 直樹	自動車	昭和55年～平成 7 年
政田美智子	行政	昭和52年～平成 7 年
山本 貴一	電子機械	昭和61年～平成 8 年
団 早苗	英語	昭和58年～平成 8 年
紀之定秀男	電気	昭和60年～平成 8 年
林 佳世	社会	平成 5 年～平成 8 年
滝元 寛	体育	昭和49年～平成 8 年
穴瀬加代子	行政	昭和53年～平成 8 年
山黒伊佐夫	行政	平成 5 年～平成 8 年
中山 聡	理科	平成 6 年～平成 8 年
岡田 達雄	教頭	平成 7 年～平成 8 年
高橋 忍	機械	平成 7 年～平成 8 年
仁井戸宏志	行政	平成 9 年～平成 9 年
笹田 治	電気	平成 3 年～平成 9 年
鎌田 敏和	国語	昭和57年～平成 9 年
三谷川 要	英語	平成 9 年～平成 9 年
射手矢時信	電子機械	昭和48年～平成 9 年
鮫島 俊治	校長	平成 3 年～平成 9 年
花田 昌実	機械	昭和46年～平成 9 年
宮脇 滋	行政	昭和48年～平成10年
時藤 知之	社会	平成 2 年～平成10年
韓 洋春	韓国語	平成 5 年～平成10年
畔取 義彦	英語	平成 7 年～平成10年
中上 昌人	テクスタイル工学	平成元年～平成10年
山野 辰雄	電子機械	昭和47年～平成10年
山本 眞一	数学	平成 8 年～平成10年
八木 克容	国語	平成 6 年～平成10年
白石 博則	国語	昭和58年～平成10年
宮城 一三	行政	平成 7 年～平成10年
松野 広勝	電気	昭和58年～平成10年
綿谷よね子	行政	昭和37年～平成10年
前田 弘二	機械	昭和41年～平成11年
糠野 順一	理科	平成 6 年～平成11年
谷 茂夫	自動車	昭和43年～平成11年
藤原 一弘	電気	昭和59年～平成11年

名 前	担 当	在職期間
濱田 環	保健体育	昭和54年～平成11年
内海 雅治	理科	平成4年～平成11年
西尾 雅勝	電子機械	昭和62年～平成11年
小田 旨計	教頭	平成10年～平成11年
吉川 満	電子機械	昭和45年～平成11年
根来 宏	電子機械	昭和39年～平成11年
植野 幸蔵	行政	平成5年～平成12年
正木 一男	数学	平成6年～平成12年
白野 清次	行政	平成11年～平成12年
岡崎 進	事務長	平成8年～平成12年
石岡 信吾	機械	昭和39年～平成元年
	校長	平成10年～平成12年
池上 元浩	保健体育	平成6年～平成12年
田中 睦幸	電子機械	平成2年～平成12年
藤原 宏	国語	昭和42年～平成12年
谷口 嘉信	数学	昭和47年～平成12年
緒方 和子	養護	平成2年～平成12年
三木 久巳	理科	平成11年～平成12年
山村 裕子	行政	平成6年～平成12年
山下 浩治	教頭	平成7年～平成12年
檀野 広幸	電子機械	平成12年～平成12年
米澤 孝次	電子機械	昭和56年～平成13年
宮内 明	電気	平成7年～平成13年
川瀬 治彦	数学	平成4年～平成13年
立花 俊宣	電子機械	平成7年～平成13年
土屋 賢史	電子機械	平成12年～平成13年
西川 静雄	事務長	平成13年～平成13年
久保流美子	英語	平成12年～平成13年
合田 穂積	電気	平成5年～平成13年
川村 守生	テクニスタイル工学	昭和40年～平成13年
吉田 浩樹	電子機械	昭和52年～平成13年
中山 茂昭	社会	平成8年～平成13年
辻野江美子	行政	平成9年～平成13年
呉浦龍太郎	行政	平成6年～平成13年
宮本 信義	行政	平成10年～平成13年
湯藤 昭男	電子機械	昭和47年～平成14年
楠見美千栄	家庭	平成7年～平成14年
坪内 一秋	校長	平成13年～平成14年
溝川 和美	実助	昭和47年～平成14年
河井 啓	数学	平成8年～平成14年
関 京子	国語	昭和61年～平成14年
明渡 雅司	電気	昭和60年～平成14年
辻岡 見一	電子機械	平成元年～平成14年
藤田 孝	行政	平成13年～平成14年

名 前	担 当	在職期間
塩谷 幸次	行政	平成12年～平成14年
吉川 哲矢	機械	昭和63年～平成14年
山本 光俊	機械	平成7年～平成14年
西村 孝彦	教頭	平成13年～平成14年
岩尾 勝	機械	平成3年～平成14年
浜元 弘章	事務長	平成14年～平成15年
林下 光男	行政	平成11年～平成15年
岡本 靖雄	電気	昭和47年～平成15年
本間 一子	実助	昭和39年～平成15年
大倉 博	教頭	平成12年～平成15年
和田 優子	実助	昭和44年～平成15年
建畠 幸之	数学	平成7年～平成15年
増田紀公子	社会	平成9年～平成15年
片山 茂樹	電気	平成9年～平成15年
杉田 一郎	電子機械	平成12年～平成15年
網代 恵一	行政	平成14年～平成15年
小野ゆり子	国語	平成7年～平成15年
渡邊 勝治	テクニスタイル工学	昭和53年～平成16年
津崎己彌男	テクニスタイル工学	昭和55年～平成16年
坂上 玲子	社会	平成5年～平成16年
鱧谷 納	電気	平成6年～平成16年
西脇 雅子	英語	平成7年～平成16年
喜多 博一	理科	平成9年～平成16年
中塚 昌宏	電子機械	平成10年～平成16年
久保田陽二	行政	平成15年～平成16年
宮本 實	行政	平成15年～平成16年
石垣 進	機械	昭和41年～平成16年
又野 昭彦	機械	平成6年～平成16年
鈴木 英治	英語	平成9年～平成16年
吉開 久美	美術	平成8年～平成17年
出原 祐子	英語	平成10年～平成17年
高井 広樹	電気	平成12年～平成17年
杉野 里美	行政	平成14年～平成17年
山脇 正隆	校長	平成15年～平成17年
武田 寿	行政	平成16年～平成17年
辻尾 育功	教頭	平成16年～平成17年
福本 嘉廣	保健体育	平成17年～平成17年
遠藤 正雄	テクニスタイル工学	平成17年～平成17年
山本 福代	養護	昭和52年(定) 昭和59年(全)～平成17年
植野 幸蔵	行政	～平成17年
本間 一子	行政	～平成17年
丹羽 栄一	行政	平成17年
廣江 捷宏	理科	～平成17年
岡本 靖雄	電気	昭和47年～平成18年

歴代教職員一覧

名 前	担 当	在職期間
佐々木昭子	行政	平成13年～平成18年
里村 利也	保健体育	平成13年～平成18年
馬野 幸男	行政	平成16年～平成18年
横川 純	英語	平成17年～平成18年
遠藤 正雄	電気	平成18年～平成18年
大場 悦子	国語	平成10年～平成18年
龍 忠男	機械	平成14年～平成18年
芝野 節夫	数学	平成14年～平成18年
山崎 健	テクスタイル工学	平成14年～平成18年
島田 和典	テクスタイル工学	平成16年～平成18年
藤原 齊	理科	昭和55年～昭和60年
	教頭	平成17年～平成18年
浅井 美輝	テクスタイル工学	平成17年～平成18年
中野 嘉一	機械	昭和48年～平成18年
西出 武志	電気	平成14年～平成19年
大石 高史	電気	平成16年～平成19年
北野 良子	美術	平成17年～平成19年
相良 康博		～平成19年
坂上 玲子	社会	平成17年～平成19年
西野公美子	国語	平成17年～平成19年
出立早樹子	英語	平成19年
藤木 明	国語	平成19年
永橋 光二	行政	平成17年～平成19年
炭屋 憲一	理科	平成 5 年～平成19年
岩見 利伸	機械	平成 6 年～平成19年
堀 潤	社会	平成 8 年～平成19年
高木 正広	保健体育	平成 9 年～平成19年
政所 健	機械	平成16年～平成19年
神野 勲美	数学	平成16年～平成19年
北浦 孝彦	機械	平成18年～平成19年
中村 晃	テクスタイル	昭和53年～平成19年
津崎己彌男	テクスタイル	昭和60年～平成19年
渡邊 勝治	テクスタイル	昭和53年～平成19年
黒木 智史	テクスタイル	平成19年
峯近 卓美	保健体育	平成 9 年～平成20年
梶谷 要	保健体育	平成12年～平成20年
川端 和子	英語	平成13年～平成20年
阿波 考功	電気	平成14年～平成20年
芝野 雅子	養護	平成15年～平成20年
黒越 孝仁	行政	平成18年～平成20年
神籐 太	行政	平成18年～平成20年
		平成23年～平成26年
竹形 英徳	校長	平成18年～平成20年
喜納 剛	行政	平成19年～平成20年

名 前	担 当	在職期間
深野 敏美	行政	平成20年～平成20年
出原 理歌	行政	平成17年～平成20年
鈴木 義則	機械	平成20年
伊比 裕之	社会	平成20年
榎本 由美	数学	平成20年
西野佐武郎	行政	平成 4 年～平成20年
増田 博幸	保健体育	平成 8 年～平成21年
川崙 博志	機械	平成 9 年～平成21年
南 美千夫	国語	平成11年～平成21年
林 知明	電気	平成13年～平成21年
山岡 朝子	家庭	平成15年～平成21年
杉岡 哲	電気	平成15年～平成21年
藤原 健一	英語	平成17年～平成21年
小山 覚	社会	平成17年～平成21年
大江 礼子	理科	平成17年～平成21年
田上 一文	理科	平成17年～平成21年
鈴木 守郎	数学	平成19年～平成21年
山本 好男	保健体育	平成18年～平成21年
村山 宏志	理科	平成20年～平成21年
山家 真	機械	平成20年～平成21年
下野 敏幸	副校長・准校長	平成19年～平成20年
	校長	平成21年
辻 弘和	行政	平成13年～平成22年
間 明美	英語	平成14年～平成22年
松本 琴栄	国語	平成15年～平成22年
森 正司	社会	平成16年～平成22年
山中 英文	行政	平成20年～平成22年
村上 仁志	電気	平成19年～平成22年
難波 誠吾	機械	平成21年～平成22年
間島 俊彦	機械	平成22年
澤井 悠佑	機械	平成22年
嶽 佑輔	理科	平成22年
酒井 順子	家庭	平成17年～平成22年
近西 弘行	保健体育	平成19年～平成22年
真田 正樹	機械	平成17年～平成22年
宇賀 幸代	家庭	平成17年～平成23年
杉本三希子	行政	平成19年～平成23年
片山 美紀	国語	平成20年～平成23年
関本 孝	数学	平成20年～平成23年
角谷一二美	行政	平成21年～平成23年
和田 有史	保健体育	平成21年～平成23年
西川 弘樹	保健体育	平成21年～平成23年
南 博夫	行政	平成21年～平成23年
山本太久磨	行政	平成23年

名 前	担 当	在職期間
大久保昌也	理科	平成23年
測脇 文雄	電気	昭和62年～平成23年
館 学	機械	平成15年～平成23年
目黒 景子	数学	平成17年～平成23年
戸田 義久	機械	平成19年～平成23年
玉置大治朗	保健体育	平成21年～平成23年
坂本真喜子	数学	平成17年～平成23年
野島 勇	機械	平成11年～平成23年
澤田 哲夫	工業	平成元年～平成24年
川鍋 光吉	電気	平成2年～平成24年
鈴木 浩二	テクニスタイル	平成9年～平成24年
武本 幸一	電気	平成10年～平成24年
樋口 彰彦	テクニスタイル	平成18年～平成24年
車野 典子	養護	平成18年～平成24年
泉谷 朱実	英語	平成18年～平成24年
廣寛 和人	教頭	平成18年～平成21年
	准校長	平成22年～平成24年
堀川 晃平	機械	平成23年～平成24年
戸田 富美	理科	平成23年～平成24年
佐野 悠矢	数学	平成24年～平成24年
宮崎 友宏	テクニスタイル	平成24年～平成24年
大野 貴史	テクニスタイル	平成24年～平成24年
淀川 恵子	国語	平成20年
		平成24年
高槻 恵英	テクニスタイル	平成4年～平成25年
西川 清美	数学	平成17年～平成25年
芳村 憲一	テクニスタイル	平成15年～平成25年
辻野 美登	機械	平成18年～平成25年
中川 進	機械	平成19年～平成25年
清水スミ子	行政	平成21年～平成25年
小川(庄)友紀乃	国語	平成21年～平成25年
近藤 彰宏	社会	平成21年～平成25年
深川 彩	美術	平成21年～平成25年
村嶋 知美	行政	平成21年～平成25年
上條 藤夫	教頭	平成20年
	准校長	平成21年
	校長	平成22年～平成25年
石樽 正道	数学	平成11年～平成16年
		平成22年～平成25年
勇 宇一郎	保健体育	平成22年～平成25年
垣内 宏海	電気	平成22年～平成25年
川北 豊	家庭	平成24年～平成25年
割石 清明	行政	平成24年～平成25年
中嶋 幸蔵	テクニスタイル	平成6年～平成26年

名 前	担 当	在職期間
橋本 憲介	機械	平成10年～平成26年
鈴木 朗	理科	平成20年～平成26年
近藤奈津絵	テクニスタイル	平成20年～平成26年
谷口 真規	国語	平成22年～平成26年
喜多 絹一	保健体育	平成22年～平成26年
伊藤 理絵	機械	平成23年～平成26年
吉森 陽佑	保健体育	平成23年～平成26年
井本 恵美	行政	平成24年～平成26年
小松 幹雄	テクニスタイル	平成25年～平成26年
寺田 有里	行政	平成25年～平成26年
片山 茂樹	電気	平成22年～平成26年
松浦 博	電気	平成18年～平成21年
	教頭	平成22年～平成26年
田中 次郎	機械	平成19年～平成26年
松永 雄介	機械	平成22年～平成27年
三中 雄一	工業	平成25年～平成26年
川上 育利	数学	平成19年～平成27年
碓井 智裕	保健体育	平成24年～平成27年
藏野 雅宣	保健体育	平成24年～平成27年
小谷 友己	産創・テクニスタイル	平成27年～平成27年
今井 利幸	機械	平成27年～平成27年
山本 裕規	電気	平成21年～平成27年
樋口 民雄	電気	平成22年～平成27年
高浦 裕信	主事・副主査	平成27年～平成27年
小川 和美	主事・副主査	平成26年～平成27年
木戸 亜子	主事・副主査	平成27年～平成27年
吉村 実	准校長	平成25年～平成27年
橋本 敏和	機械	平成8年～平成23年
	教頭	平成24年～平成27年
石垣 昌幸	国語	平成22年～平成27年
服部 豪	地歴公民	平成24年～平成27年
奥 遥香	保健体育	平成23年～平成27年
森 繁	外国語(英)	平成27年～平成27年
藤田 弘子	外国語(英)	平成25年～平成27年
木村 春奈	外国語(英)	平成27年～平成27年
岡田 萌依	外国語(韓)	平成27年～平成27年
木村 春菜	外国語(韓)	平成27年～平成27年
坂谷 義馬	工業	平成22年～平成27年
萩尾 桂一	実教(図書)	昭和53年～平成27年
西座 昇	事務	平成26年～平成27年
永井 仁司	数学	平成20年～平成28年
稲葉美奈子	保健体育	平成27年～平成28年
細馬 美直	家庭	平成26年～平成28年
松浦美佐子	産創・テクニスタイル	平成8年～平成28年

歴代教職員一覧

名 前	担 当	在職期間
廣 祐一	産創・テキスタイル	平成27年～平成28年
岡野 浩	電気	平成20年～平成28年
真木 啓	電気	平成24年～平成28年
辻田 宣伸	事務部長	平成26年～平成28年
高島 勇起	保健体育	平成26年～平成28年
金 琴香	外国語(韓)	平成28年～平成28年
上原愛里奈	国語	平成27年～平成29年
青野 可苗	美術	平成26年～平成29年
桃谷 要	保健体育	平成28年～平成29年
畑屋 早苗	外国語	平成15年～平成29年
高木 千菜	産創・テキスタイル	平成27年～平成29年
仲西 正男	機械	昭和60年～平成29年
越智 貴史	主査	平成24年～平成29年
塩谷 千秋	主事・副主査	平成29年～平成29年
長濱 保男	主事・副主査	平成29年～平成29年
長野 行秀	技術員	平成23年～平成29年
山田 啓次	テキスタイル	平成 6 年～平成25年
	准校長	平成28年～平成29年
山本 貢司	外国語(英)	平成29年～平成29年
奥田 昌子	家庭	平成24年～平成29年
伊藤 慎祐	工業	平成23年～平成29年
金丸 健太	工業	平成23年～平成29年
田丸浩太郎	地歴公民	平成25年～平成30年
中田 滂香	数学	平成30年～平成30年
中嶋健二郎	理科	平成22年～平成30年
富澤 誠	産創・テキスタイル	平成25年～平成30年
上原 宏斗	電気	平成23年～平成30年
松浪 博	電気	平成28年～平成30年
平山 博史	事務部長	平成29年～平成30年
藤元雄一郎	地歴公民	平成25年～平成30年
太田 真輔	数学	平成29年～平成30年
松谷 和幸	情報	平成24年～平成30年
赤井 仁	工業	平成24年～平成30年
野間 圭吾	工業	平成25年～平成30年
武井 勝	電子機械	昭和63年～平成14年
	教頭	平成15年～平成16年
	工業	平成25年～平成30年
藤 俊幸	事務	平成27年～平成30年
溝 清美	国語	平成25年～平成31年
藤基 佳子	地歴公民	平成22年～平成31年
森下 和代	数学	平成24年～平成31年
松川 信彦	数学	平成30年～平成31年
矢田 晃一	理科	平成27年～平成31年
佐野 桃果	保健体育	平成30年～平成31年

名 前	担 当	在職期間
関 聖子	家庭実習	平成23年～平成31年
西口都紀子	家庭	平成30年～平成31年
西澤 恭平	産創・テキスタイル	平成26年～平成31年
坂上 和美	産創・テキスタイル	昭和53年～平成31年
江口 宜宏	産創・テキスタイル	平成30年～平成31年
伊藤 嘉啓	産創・テキスタイル	平成31年～平成31年
坂田 則夫	機械	平成17年～平成31年
米澤 孝次	機械	平成25年～平成31年
杉山 清次	機械	平成26年～平成31年
山田 亮司	機械	平成18年～平成31年
溝下 武宏	電気	平成20年～平成31年
是永 一	電気	平成23年～平成31年
伊藤 嘉啓	電気	平成30年～平成31年
吉澤 明紘	技術員	平成30年～平成31年
坂上 和美	実習教員	平成29年～平成31年
雑賀 文彦	准校長	平成31年～平成31年
西野 佳美	国語	平成28年～平成31年
吉岡 明海	工業	平成13年～平成31年
五味亜妃子	国語	平成24年～令和 2 年
淀川 恵子	国語	平成27年～令和 2 年
奥野 博基	地歴公民	平成23年～令和 2 年
大西 勝哉	数学	平成25年～令和 2 年
中口 隆治	保健体育	平成22年～令和 2 年
大津谷久美子	家庭	令和 2 年～令和 2 年
桐本 悠	外国語	平成22年～令和 2 年
伊達 綾	産創・テキスタイル	平成25年～令和 2 年
南 健太朗	産創・テキスタイル	平成25年～令和 2 年
伊藤 太吾	産創・テキスタイル	平成23年～令和 2 年
盛谷 理絵	産創・テキスタイル	平成30年～令和 2 年
須山 慎也	産創・テキスタイル	平成27年
	機械	平成28年～令和 2 年
森田 康夫	機械	平成28年～令和 2 年
中谷 智行	電気	平成26年～令和 2 年
山西 郁也	主事・副主査	平成30年～令和 2 年
石倉 千睦	国語	平成23年～令和 2 年
森 正司	地歴公民	平成28年～令和 2 年
若狭 玄直	数学	平成21年～令和 2 年
廣戸 龍也	家庭	平成26年～令和 2 年
塩 朋幸	工業	平成27年～令和 2 年
小野登志子	事務	平成30年～令和 2 年
小川 威司	数学	平成26年～令和 3 年
米山 幸治	数学	平成23年～令和 3 年
西村 維斗	数学	平成30年～令和 3 年
水津 雅夫	保健体育	平成26年～令和 3 年

名 前	担 当	在職期間
平野 一也	保健体育	平成30年～令和3年
岩崎 充浩	産創・テキスタイル	平成28年～令和3年
田中 亮	機械	平成24年～令和3年
吉岡 重彰	事務部長	平成31年～令和3年
神藤 太	主事・副主査	平成29年～令和3年
市原喜与治	主事・副主査	平成31年～令和3年
橋元 勝利	実習教員	令和3年～令和3年
瀬田浩一郎	准校長	令和2年～令和3年
山口 昌志	産創・テキスタイル	平成20年～平成27年
	教頭	平成28年～令和3年
堀口 翔伍	国語	令和3年～令和3年
志村 麻美	保健体育	平成28年～令和3年
仲西 正男	工業	令和2年～令和3年
藤野 義信	工業	令和3年～令和3年
山守 真耶	養護	平成27年～令和3年
行 利幸	事務	令和3年～令和3年
河合 友利	国語	平成24年～令和4年
長谷川 諒	国語	平成30年～令和4年
中西 健	数学	平成25年～令和4年
倉田 怜輝	数学	令和4年～令和4年
熊原 輝幸	保健体育	平成28年～令和4年
池谷 瑞貴	保健体育	令和4年～令和4年
小口 育子	家庭	平成26年～令和4年
萬田 育美	家庭	平成30年～令和4年
富永明日香	産創・テキスタイル	令和4年～令和4年
林 宗行	機械	平成11年～令和4年
田畑 宏	機械	平成21年～令和4年
森崎 史考	電気	平成28年～令和4年
山口 武司	主査	平成31年～令和4年
元家由加梨	主事・副主査	令和4年～令和4年
山内 理代	実習教員	平成16年～令和4年
西脇 寛和	保健体育	平成27年～令和4年
原野 吉秀	工業	平成6年～令和4年
田中 聡	事務	令和3年～令和4年
田中 健仁	国語	令和3年～令和5年
中村 幸子	国語	令和3年～令和5年
三橋千恵美	養護教諭	令和5年～令和5年
西口 貴雄	産創・テキスタイル	平成19年～令和5年
神山 樹社	産創・テキスタイル	令和4年～令和5年
土谷 佳子	機械	平成23年～令和5年
藤原 克成	機械	令和2年～令和5年
山崎 公平	電気	平成25年～令和5年
村西 弘治	主査	令和5年～令和5年
平良 信夫	主事・副主査	平成30年～令和5年

名 前	担 当	在職期間
原田 穂高	国語	令和2年～令和5年
藤田 一成	数学	令和元年～令和5年
山田 真平	工業	平成24年～令和5年
細川 勝利	事務	令和5年～令和5年
佐藤 義勝	テキスタイル	昭和63年～平成26年
	教頭	令和6年～令和6年
野崎 恭平	国語	令和5年～令和6年
古谷 俊哉	地歴公民	令和2年～令和6年
森 正司	地歴公民	令和3年～令和6年
北野 克幸	理科	令和2年～令和6年
川井 浩平	保健体育	平成28年～令和6年
上倉 佳代	保健体育	平成29年～令和6年
宮田 光美	外国語	平成30年～令和6年
川村 知弘	機械	平成26年～令和6年
森栗 晃史	機械	平成24年～令和6年
奥田壮一郎	機械	平成19年～令和6年
秋山 一樹	機械	平成27年～令和6年
井阪 昇則	電気	平成17年～令和6年
中西 里菜	主事・副主査	令和3年～令和6年
山田 洋裕	事務	令和3年～令和5年
	主事・副主査	令和6年～令和6年
山崎 健	産創・テキスタイル	平成26年～平成29年
	教頭	平成30年～令和3年
	准校長	令和4年～令和6年
宇田 秀義	教頭	令和4年～令和6年
吉田 俊平	地歴公民	令和3年～令和6年
石橋 開陸	工業	令和2年～令和6年
佐々木輝幸	事務部長	令和4年～令和6年
	事務長	令和7年～令和7年

現職員全日制

担 当		名 前	赴任年
校 長		橋本 敏和	令和 7 年
教 頭		妻木 靖朗	令和 7 年
国 語	教 諭	浅井 郁子	令和 6 年
	教 諭	五十棲由佳子	平成27年
	教 諭	浦口 聖明	令和 4 年
	教 諭	中村 友亮	令和 7 年
地歴公民	教 諭	山入 淳	令和 6 年
	講 師	楠原 奏大	令和 6 年
	教 諭	津野 翔大	令和 7 年
数 学	教 諭	青木 洋人	令和 4 年
	教 諭	田中 翔大	令和 2 年
	講 師	根来 弘暁	令和 5 年
	教 諭	藤原 太起	令和 5 年
理 科	教 諭	高垣いづみ	平成31年
	講 師	新 健吾	令和 7 年
美 術	教 諭	古谷 明香	平成30年
保健体育	教 諭	紙谷 徹	令和 5 年
	講 師	大塚 雄太	令和 6 年
	教 諭	河合 良平	令和 4 年
	教 諭	北岸 伸浩	令和 6 年
	教 諭	古川 雅人	令和 6 年
家 庭	教 諭	岡崎 礼子	令和 2 年
	教 諭	前岡 睦美	令和 3 年
外国語	教 諭	根来 明美	平成21年
	講 師	小郷 和紗	令和 6 年
	教 諭	瀧本 洋一	平成23年
	教 諭	向井 那奈	令和 7 年
	教 諭	山本 暢俊	平成25年
養 護	養護教諭	富中美由紀	令和 6 年
産業 創造系	首 席	飯田 陽子	平成11年
	首 席	金丸 健太	平成29年
	教 諭	中嶋 幸蔵	令和 2 年
	教 諭	安藤 聡司	令和 3 年
	教 諭	北出 颯斗	平成30年
	教 諭	木村 梨恵	平成24年
	講 師	齊藤 雅允	令和 4 年
	教 諭	溝根 彰徳	令和 6 年
	教 諭	山際 直樹	平成31年
	教 諭	山沢衣里奈	平成29年
	教 諭	山本 友己	令和 2 年
	講 師	山口 昌志	令和 6 年

担 当		名 前	赴任年
機 械 系	教 諭	宮本 敬司	平成27年
	講 師	赤井 仁	平成 7 年
	教 諭	赤穂 遼	平成30年
	教 諭	東 一生	令和 2 年
	教 諭	茨木 保貴	平成26年
	教 諭	妹脊 匡哉	令和 7 年
	教 諭	浦 涉瑠	平成30年
	教 諭	岡本 円	令和 4 年
	講 師	笠松 正志	令和 5 年
	教 諭	坂本 勝重	平成24年
	教 諭	田中 直道	令和 3 年
	教 諭	辻岡 見一	令和 5 年
	教 諭	豊嶋 義隆	平成25年
	教 諭	橋本 憲介	令和 6 年
	教 諭	降幡圭一郎	令和 3 年
	教 諭	堀内 雅之	平成27年
	教 諭	堀川 晃平	令和 3 年
電 気 系	教 諭	安田 裕輝	令和 7 年
	首 席	片岡 祥	平成31年
	教 諭	愛須 悠史	令和 2 年
	教 諭	明渡 雅司	平成31年
	講 師	上田 幸雄	平成12年
	教 諭	浦田 義之	平成31年
	教 諭	蒲田 哲也	令和 7 年
	講 師	黒原 賢志	平成19年
	教 諭	上妻 定之	令和 4 年
	教 諭	武本 幸一	平成27年
家 庭	教 諭	西出 武志	令和 3 年
	教 諭	番匠 康貴	令和 6 年
	講 師	松浦 博	平成28年
	教 諭	山口 俊和	平成30年
	実習教員	益居 加代	令和 2 年
	事務部長	中村 靖信	令和 7 年
事 務	主 査	古賀 康文	令和 6 年
	主 事	東 祥吾	令和 5 年
	主 事	松田 萌花	令和 7 年
	主 事	上村 直	令和 7 年

担 当	名 前	赴任年
准校長	松野 良彦	令和7年
教 頭	川口 健成	令和7年
国 語	教 諭 目黒 友菜	令和4年
	教 諭 山中 辰也	令和5年
地歴公民	教 諭 咲花 美幸	令和7年
数 学	首 席 繁原 淳也	令和6年
理 科	教 諭 藤原 瑞穂	平成25年
保健体育	教 諭 藤本 岳	令和4年
	教 諭 河嶋 稜梓	令和5年
外国語(英)	教 諭 八木 夏木	平成28年
	教 諭 伯井 勇太	令和3年
外国語(韓)	教 諭 鄭 明鎬	平成29年

担 当	名 前	赴任年
家 庭 情 報	教 諭 村上 寿那	令和3年
	教 諭 池田 禎章	令和2年
工 業	教 諭 濱田 昌彦	平成26年
	教 諭 小寺 翔太	平成28年
	講 師 岡原 正直	令和4年
	教 諭 杉田 一郎	令和4年
	教 諭 竹原 悠馬	令和7年
	教 諭 重安 直樹	令和7年
養 護	養護教諭 山田友貴子	令和5年
実 習	実習教員 鶴 和浩	平成28年
事 務	事 務 月岡 一夫	令和6年
	事 務 堀口 克美	令和6年

■ 定時制職員写真



■ 全日制職員写真



創立100周年記念事業

■ てつにわ 鉄庭プロジェクト

本校創立100周年記念事業の一環として、株式会社北海鉄工所様よりご提案と材料提供、技術指導をいただき、校内に新たなランドスケープ『鉄庭（てつにわ）』を制作するプロジェクトを進めています。

この鉄庭は、自然素材と高度な三次元金属曲げ加工などの先端技術を融合させた、新しいかたちの庭園であり、これからの工業教育を象徴する空間となることを目指しています。

プロジェクトは、有志の生徒を募り活動を開始。2024年12月には、北海鉄工所様のご協力により工場見学を実施しました。見学では、実際の鉄庭作品のスライドショーや現物見学、さらに3月には熟練の職人による金属加工の実演も見せていただき、生徒たちにとって大きな学びとなりました。

提供いただいた金属の球体や半球体などの材料をもとに、校歌に着想を得た独自の庭の構成を考案し、制作を進めてきました。

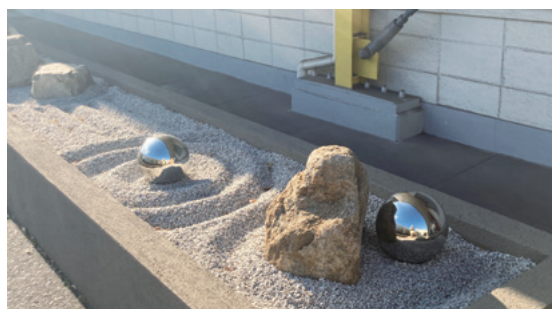
【コンセプト】

「茅渟の海をとりもどす」「グローバルな世界に向けた、これからの佐野工」

本校周辺の自然環境である「和泉の山並み」「茅渟の海」を金属加工により表現し、さらに、関西国際空港に離着陸する飛行機をモチーフにした立体作品も制作。

これらを通じて、「地域に根ざしながらも、世界に羽ばたく佐野工」の姿を形にします。現在、11月の100周年記念式典でのお披露目に向けて、制作はいよいよ大詰めを迎えています。

最後に、このような貴重な機会をご提供いただいた株式会社北海鉄工所様に、心より御礼申し上げます。



■ 記念品

食堂にエアコン設置

長年エアコンが無い状態が続いており、夏は暑く、冬は寒い中で食事をしていましたが、エアコンが設置されたことにより、快適な空間となりました。



100周年記念ロゴマーク

生成 AI に言語でイメージを伝え仕上がったデザインがロゴマークに採用されました。



100周年記念タオル

10年ごとに制作されている記念タオル。

今年は、3年1組の石橋晃羽君のデザインが採用されました。

縁起の良いカエルをモチーフに採用し、振り返る、100年を迎える、大躍進（跳ねる!）といった意味を込めました。



大同窓会記念エコバッグ（祝賀会で配布）

ロゴマークと記念タオルで採用されたカエルを組み合わせユニークなデザインに仕上がりました。



■ 宇宙チャレンジ

2023年9月、1年生全員で「田村淳の宇宙チャレンジ'24」に参加しました。「あなたなら、どんな働きをする人工衛星を打ち上げたいですか?」というテーマに対して、アイデアを出し合い応募したところ、本校1年生のアイデアが最終選考に残り、なんと「最優秀賞」を受賞しました。このアイデアをもとに、実際に人工衛星が製作されることが決定し、テレビ番組の取材で田村淳さんが来校するなど、大きな盛り上がりを見せました。

人工衛星の製作はJAXAの開発員でもある企業と連携し、本校も「創立100周年記念アルミプレート」の製作を担当しました。デザインは学年全員が関わり、レーザー加工で人工衛星に搭載されるプレートを完成させました。

さらに、2024年7月には鳥取県で行われた人工衛星の振動試験を見学し、宇宙開発の現場を体感することができました。ロケット発射は延期が続いていますが、2025年8月にアメリカ・フロリダから打ち上げ、ISS（国際宇宙ステーション）を経由して宇宙空間に放出されました。このプロジェクトを通じて、生徒たちは夢と現実がつながる体験を得ることができました。



創立100周年記念事業実行委員会

佐工会

会長 田脇 光浩

副会長 河原 茂三 副会長 深井 重行 副会長 射手矢 時信

PTA

会長 山本 真

学校

校長 橋本 敏和 准校長 松野 良彦(定時制)

教頭 妻木 靖朗 教頭 川口 健成(定時制)

事務部長 中村 靖信

教員 西出 武志 教員 木村 梨恵 教員 堀川 晃平 教員 番匠 康貴

編集後記

今、この編集後記を書く作業まで辿り着けたことに心の底から安堵しています。

記念誌をどのような形で残してゆくか（従来通りの紙媒体、データで良いのではないか、QRコードでの配信など検討される）、創立100周年記念事業実行委員会の方針がなかなか定まらず、執筆、編集作業が大幅に遅れたところからのスタートでした。

学校内外、様々な方々にご協力頂くと同時に、たくさんの無理をお願いしました。

この場を借りて、原稿を執筆してくださった皆様、また編集作業にご協力頂いた皆様、改めて深く御礼申し上げます。

この100周年記念事業に関わらせて頂いたことで、改めて強く感じたことがあります。それは、学校というものは、これまでの歴史や、現場で働く先生方、そして生徒たちによって日々形作られているのだということです。書いてみれば当たり前のことですが、とても大切なことを忘れそうになっていました。この「佐野工」が持つ世界観、雰囲気は紛れもなく、過去の「佐野工」からのバトンを繋いで今に至っているということを、記念誌の制作を通して、再確認することができました。

最後になりますが、なかなか進まない編集作業の中で励まし、支えてくださった出版樹々の井上光代さんに、この場を借りて心より敬意を表します。

この冊子が、今後の佐野工科高校のさらなる発展に少しでも寄与できることを願ってやみません。

令和7年(2025)11月

大阪府立佐野工科高等学校創立100周年記念事業実行委員会

記念誌担当 妻木靖朗 木村梨恵

大阪府立佐野工科高等学校 佐野工百年史

発行日 令和7年11月15日

発行 大阪府立佐野工科高等学校
〒598-0012

大阪府泉佐野市高松東1丁目3-50
TEL 072-462-2772

編集 大阪府立佐野工科高等学校
創立100周年記念事業実行委員会

制作 出版樹々／寿印刷株式会社
〒555-0021

大阪市西淀川区歌島1丁目4番4号
TEL 06-6476-2156(直通)
TEL 06-6471-3434(代表)

